レーザープリンタ用

ネットワーク設定ガイド

本機をネットワークプリンタとして使用するために必要となる情報を詳しく説明しています。また、各種トラブルの解決方法やお客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

本書は、エプソン製レーザープリンタ共通の説明書です。お使いの機種の仕様により、記載の一部が該当しないことがありますのでご了承ください。

NPD1417-00

マーク

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

! 注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品本体が損傷したり、製品本体やソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。必ず守ってお使いください。

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版

Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版

Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版

Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版

Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版

Microsoft® Windows® Server™ 2003 Enterprise Edition 日本語版

Microsoft® Windows® Server™ 2003 Standard Edition 日本語版

本書では、Windows オペレーティングシステムの各バージョンを「Windows 98」、「Windows Me」、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Server 2003」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 98/Me」のように Windows の表記を省略することがあります。

Mac OS の表記

本製品が対応している Mac OS のバージョンは次の通りです。
Mac OS 9.1 ～ 9.2.x
Mac OS X　v10.2、v10.3
本書中では、上記各オペレーティングシステムをまとめて、それぞれ「Mac OS 9」、「Mac OS X」と表記しています。また、これらの総称として「Mac OS」と表記しています。

掲載画面

- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.3 の画面を使用しています。
- 本書に掲載するソフトウェア / ユーティリティの表示画面は、実際の画面と一部異なる場合があります。

プリンタの機種名、イラスト、パネル表示

本書はエプソン製ネットワークプリンタの共通マニュアルです。そのため、掲載画面に表示される機種名を「LP-XXXX」などのように記載しています。また、イラストやパネルなどは、任意の製品を例にしています。お使いの製品に置き換えてお読みください。

もくじ

1 ご使用の前に

最初にお読みください。ネットワークインターフェイスの機能と動作環境を説明します。

動作環境

ネットワークインターフェイスの動作環境

本機のネットワークインターフェイスの動作環境は次の通りです。

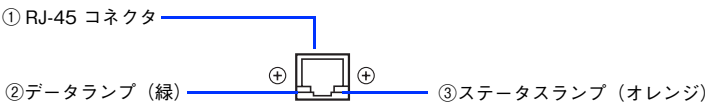
OS とバージョン	印刷方法
Windows 98	・TCP/IP（EpsonNet Print 使用） ・IPP（EpsonNet Internet Print 使用） ・MS Network
Windows Me	・TCP/IP（EpsonNet Print 使用） ・IPP ・MS Network
Windows 2000/XP/Server 2003	・TCP/IP（LPR、Standard TCP/IP Port または EpsonNet Print 使用） ・IPP ・MS Network
Mac OS 9.1 以降	・AppleTalk
Mac OS X v10.2 以降	・EPSON AppleTalk ・EPSON TCP/IP ・Rendezvous（Mac OS X v10.2.4 以降）

ダイヤルアップルータをご使用の環境に設置する場合、ネットワークインターフェイスには、必ずそのセグメントの設定に合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われてしまう可能性があります。

参考

- Windows XP/Server 2003 は NetBEUI プロトコルに正式に対応していませんが、Microsoft ネットワーク上の共有プリンタへの印刷は可能です。
  ☞ 本書 23 ページ「Windows 2000/XP/Server 2003」
- Mac OS 9.x のマルチユーザー環境には対応していません。

各部の名称と働き

本機の背面にあるネットワークインターフェイスの各部の名称と機能を説明します。

① RJ-45 コネクタ

Ethernet ケーブルを接続します。Ethernet ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。

②データランプ

データの受信状態を示します。

③ステータスランプ

ネットワークの通信速度を示します。

②データランプ（緑）	③ステータスランプ（オレンジ）	状態
点灯	点灯	100Base-Tx で接続されている状態
点滅	点灯	100Base-Tx でデータ受信中
点灯	消灯	10Base-T で接続されている状態
点滅	消灯	10Base-T でデータ受信中

EpsonNet ソフトウェアのご案内

ここでは、本機で使用できる各種ネットワーク関連のソフトウェアを紹介します。

EpsonNet ソフトウェアのインストールやダウンロードの方法は、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 11 ページ「EpsonNet ソフトウェアを入手するには」

印刷用ソフトウェア

● EpsonNet Print(直接印刷ツール)標準添付

Windows98 以上のコンピュータで TCP/IP（ティーシーピー / アイピー）での直接印刷ができます。

スプーラ画面にプリンタのステータスを表示するほか、IP アドレスの自動追従をしますので、ネットワークインターフェイスのアドレスが DHCP 機能により自動的に割り当てられている場合でも、ポートの設定を変更する必要がありません。

☞ 本書 72 ページ「EpsonNet Print の使い方」

IP アドレスを自動追従させるには、ネットワークインターフェイスの IP アドレス設定を［自動］または［Auto］に設定してください。

● EpsonNet Internet Print(IPP 印刷ツール)

Windows 98 からネットワークプリンタにインターネット印刷することができるツールです。TCP/IP プロトコルを使用します。インターネット印刷は、セグメントを越えて印刷する時に有効です。

入手方法は、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 11 ページ「EpsonNet ソフトウェアを入手するには」

Windows Me/2000/XP/Server 2003 では、OS 標準の IPP ポートモニタをご使用ください。

設定用ユーティリティ

● EpsonNet Config（Windows）標準添付

Windows から、ネットワークインターフェイスの各種アドレスや名称などを設定するためのツールです。
TCP/IP、MS Network、AppleTalk、SNMP などに関する設定ができます。
☞ 本書 35 ページ「EpsonNet Config（Windows）をインストールする」

● EpsonNet Config（Mac OS）標準添付

Mac OS から、ネットワークインターフェイスの各種アドレスや名称などを設定するためのツールです。
TCP/IP、AppleTalk、SNMP などに関する設定ができます。
☞ 本書 38 ページ「EpsonNet Config（Mac OS）をインストールする」

● EpsonNet Config（Web）標準添付

ネットワークインターフェイスに内蔵されているツールです。
ネットワーク上のコンピュータで、Web ブラウザから起動します。ネットワークインターフェイス設定（TCP/IP、MS Network、AppleTalk など）とプリンタ設定（消耗品の確認や給紙装置の設定など、各種の確認・設定）を行えます。
EpsonNet Config（Web）は、ネットワークインターフェイスおよびコンピュータで IP アドレスが設定されていないと使えません。初めて設定する時は EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）をお使いください。
☞ 本書 96 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

● EpsonNet EasyInstall（Windows）標準添付

対話形式で TCP/IP の設定や、プリンタドライバのインストール、印刷ポートの設定ができるツールです。
詳細は本機に付属の『セットアップガイド』（紙マニュアル）をご覧ください。

● EpsonNet EasyInstall（Mac OS）標準添付

対話形式で TCP/IP の設定ができるツールです。
コンピュータに『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』をセットして、各 OS ごとのインストーラを起動します。そのあと起動した画面の指示に従い、［ネットワーク製品のセットアップ］-［設定開始］の順にクリックすると EpsonNet EasyInstall が起動します。画面の指示に従って TCP/IP の設定をしてください。

管理ソフトウェア

これらのソフトウェアの入手方法については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 11 ページ「EpsonNet ソフトウェアを入手するには」

● EpsonNet LogBrowser V2(印刷枚数制限 / 印刷履歴管理機能ソフトウェア)標準添付

ネットワークプリンタの印刷ログの自動収集や、印刷枚数の制限をするソフトウェアです。
用紙使用量やプリンタの利用状況の把握と管理が簡単に行えます。

● EpsonNet WebManager(ネットワークプリンタ管理ソフトウェア)

ネットワークプリンタの状態把握やネットワークインターフェイスの各種設定のほか、印刷ジョブ情報の確認や消耗品の管理などの機能を持つ管理者用のソフトウェアです。

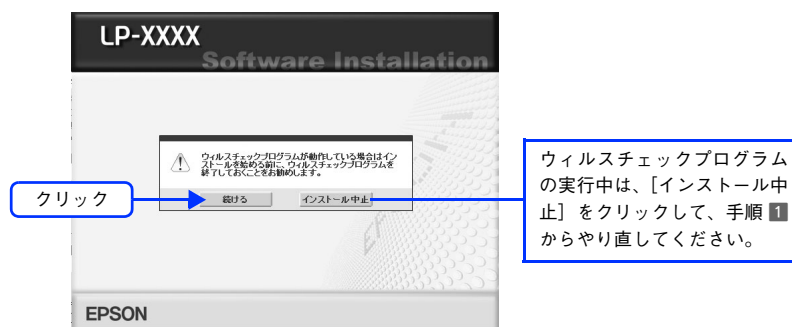
● EpsonNet InstallManager(プリンタドライバ導入支援ソフトウェア)

ネットワークプリンタのドライバインストールから印刷ポートの設定までを、自動的に実行するインストールパッケージが作成できるソフトウェアです。
管理者はグループごと、部署ごとに使用するプリンタドライバのパッケージを一括して作成でき、クライアント側のコンピュータでこのインストールパッケージを実行するだけで印刷環境が作成されるため、管理者のプリンタドライバ配布・インストール作業を大幅に軽減します。また、プリンタドライバだけでなく、「EPSON ステータスモニタ」も同時にパッケージ化できます。

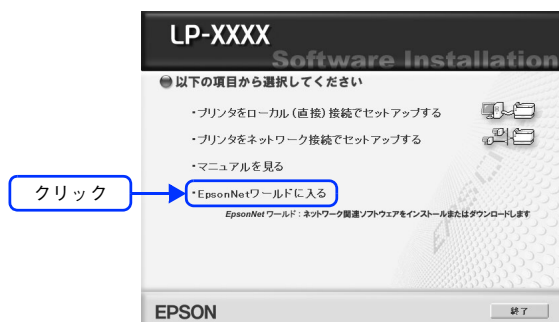
EpsonNet ソフトウェアを入手するには

1 **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

2 **コンピュータに『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』をセットします。**

3 **画面の内容を確認して、［続ける］をクリックします。**

4 **使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

5 **［EpsonNet ワールドに入る］をクリックします。**

お使いの機種や OS により表示される画面が多少異なります。

6 **画面の指示に従って、必要な EpsonNet ソフトウェアをインストールまたはダウンロードしてください。**

EpsonNet Internet Print（IPP 印刷ツール）を入手する場合は、［印刷ツール］タブをクリックし、画面の指示に従ってください。

一部の EpsonNet ソフトウェアはエプソンのホームページからダウンロードされます。
ウィルスチェックプログラムを終了または停止した場合は、セキュリティ確保のためウィルスチェックプログラムを再開してください。

以上でネットワークツールのダウンロードは終了です。

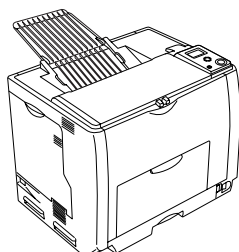
ネットワークツールの設定は、各ダウンロードサイトに掲載のマニュアルを入手し、内容を確認してから設定してください。

2 設定の前に

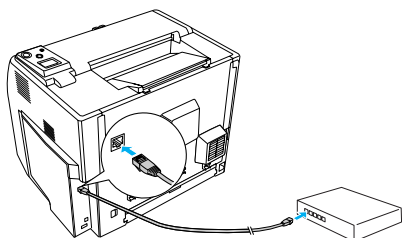
ネットワークプリンタの設定に不慣れな方は、この章をお読みください。
ネットワークプリンタ導入作業の概要や、印刷方法などを紹介しています。

ネットワークプリンタ導入作業の流れ

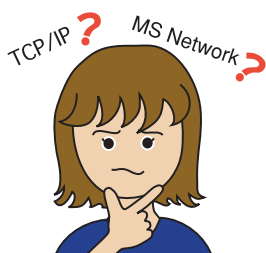
本機をネットワーク環境でお使いいただくための、作業の流れを説明します。

①本機をセットアップします

本機に用紙・トナーカートリッジ・感光体ユニットなどをセットし、使用可能な状態にセットアップします。

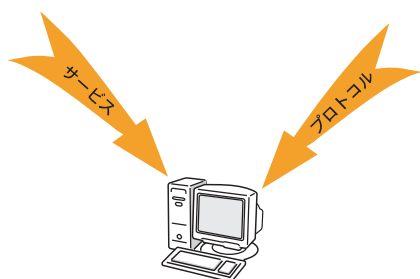
『セットアップガイド』（紙マニュアル）

②本機をネットワークに接続します

本機と HUB を Ethernet ケーブルで接続します。

『セットアップガイド』（紙マニュアル）

③ネットワーク環境に応じて、印刷方法を決めます

お使いのネットワークの形態や OS に応じて、印刷方法を決めます。

本書 15 ページ「印刷方法を決めます」

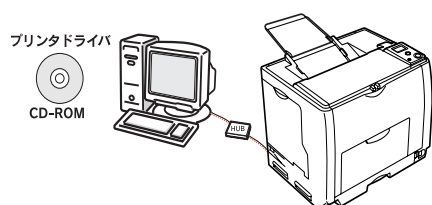
④コンピュータのネットワーク設定を確認します

本機を利用するコンピュータのネットワーク設定を確認し、必要に応じてネットワークプロトコルなどを追加します。

☞本書 19 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

⑤本機のネットワークインターフェイスを設定します

本機に付属の設定ユーティリティを使用して、各種アドレスまたは名称などを設定します。

☞本書 32 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

⑥印刷に必要なソフトウェアをインストールします

本機に付属の『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』から、印刷するコンピュータに必要なソフトウェアをインストールします。

☞本書 49 ページ「プリンタドライバのインストール」

Windows 98/Me で LPR 印刷（TCP/IP 直接印刷）する場合は、プリンタドライバのインストール前に EpsonNet Print をインストールしてください。

☞本書 72 ページ「EpsonNet Print の使い方」

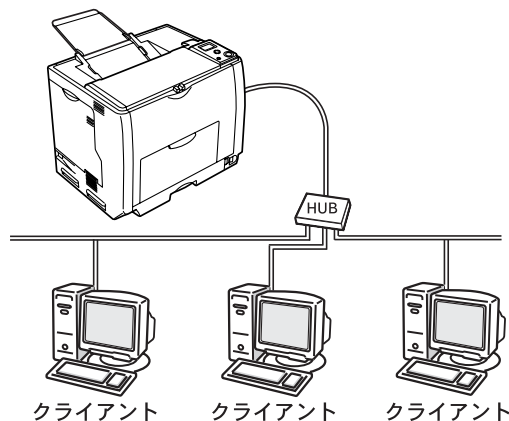
印刷方法を決めます

ネットワーク印刷プロトコルについてあまり詳しくない場合、またはネットワーク印刷方法をまだ決めていない場合は、次の説明を参考にして、印刷方法を決めてください。

Windows から印刷する

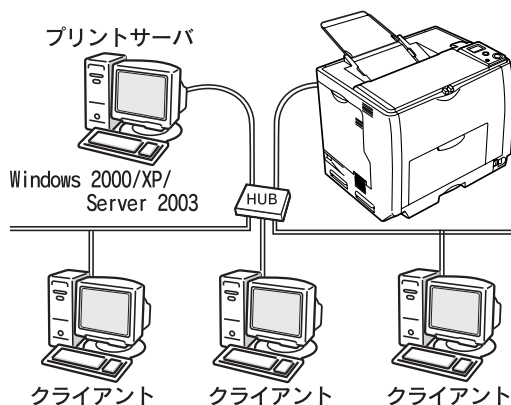
プリントサーバ（クライアントに印刷サービスを提供するコンピュータ）として稼働している Windows 2000/XP/Server 2003 の有無、印刷を実行するコンピュータの OS などに応じて印刷方法を決めます。

- ここでは、推奨する方法のみ紹介します。“すぐに印刷したい” という方は、お使いの環境に合わせて推奨する方法で印刷してください。
- 推奨している印刷方法以外の方法については、以下のページをご覧ください。
  本書 17 ページ「各印刷方法の概要と特長（Windows のみ）」

■ プリントサーバが設置されていない場合

印刷を実行するコンピュータの OS に応じて、次の印刷方法を推奨します。

クライアント OS	印刷方法
Windows 98 Windows Me	本機に付属のユーティリティ「EpsonNet Print」をインストールし、TCP/IP（ティーシーピー / アイピー）での直接印刷を行います。
Windows 2000 Windows XP Windows Server 2003	Windows 2000/XP/Server 2003 に標準搭載されている LPR 印刷機能を使って、TCP/IP での直接印刷を行います。

通常使用していないコンピュータがある場合は、そのコンピュータに Windows 2000/XP/Server 2003 をインストールし、LPR 印刷機能を使ったプリンタを共有設定することで、プリントサーバとして機能させることができます。
この場合クライアントは、OS を問わず共有プリンタに接続することになるため、複数の OS が混在している環境でも、クライアントの印刷設定を統一することができます。

Windows 2000/XP/Server 2003 をプリントサーバとして設置している場合

次の印刷方法を推奨します。

クライアント OS	印刷方法
Windows 98 Windows Me Windows 2000 Windows XP Windows Server 2003	プリントサーバ（Windows 2000/XP/Server 2003）が本機を LPR（TCP/IP）接続して共有します。 クライアント OS は、プリントサーバ上の共有された本機に接続して印刷します。

Mac OS から印刷する

Mac OS では、次のプロトコルを使用して印刷することができます。

クライアント OS	プロトコル	参照先
Mac OS 9	AppleTalk	☞本書 27 ページ「Mac OS 9」
Mac OS X	• EPSON AppleTalk • EPSON TCP/IP • Rendezvous （Mac OS X v10.2.4 以降）	☞本書 29 ページ「Mac OS X」

各印刷方法の概要と特長（Windowsのみ）

印刷方法の概要

■ TCP/IP での直接印刷

インターネットの標準プロトコル（言語）である TCP/IP（ティーシーピー / アイピー）を使用して、コンピュータから印刷データをプリンタに直接送って印刷します。TCP/IP の直接印刷には、次の二つの方法があります。

LPR（エルピーアール：Line Printer Remote の略）

Windows 2000/XP/Server 2003 に標準搭載されている印刷方法です。Windows 2000/XP/Server 2003 からネットワークプリンタに印刷する場合に最も一般的な方法です。ルータを越えての利用が可能です。

Windows 98/Me には標準搭載されていませんが、本機付属の印刷用ソフトウェア「EpsonNet Print」を使用することで、LPR での印刷が可能になります。

IPP（アイピーピー：Internet Printing Protocol の略）

Windows 2000/XP/Server 2003/Me に標準搭載されている印刷方法です。インターネット印刷とも呼ばれる方法で、プロキシサーバ（外部インターネットに代理接続するサーバ）を越えて印刷することができますが、同一セグメント（ルータを越えない範囲）内のプリンタに印刷する方法としては、一般的ではありません。

Windows 98 には標準搭載されていませんが、印刷用ソフトウェア「EpsonNet Internet Print」を使用することで、IPP での印刷が可能になります。

■ MS Network（Microsoft ネットワークでのプリンタ共有）

Microsoft ネットワーク（ワークグループ）上にプリンタが表示されます。ワークグループがすでに構成されている場合に、候補となる方法です。

TCP/IP ではコンピュータ 1 台ごとに各種アドレスの設定が必要ですが、MS Network（エムエスネットワーク）ではその必要がないため、設定が簡単です（ただし Windows XP/Server 2003 の場合は、各種アドレスの設定が必要です）。MS Network は、同一セグメント（ルータを越えない範囲）内のプリンタに印刷する場合に利用できます。ルータを越えての利用はできません。

！注意

- Windows 2000/XP/Server 2003 で IPP 接続したプリンタは共有設定できませんので、Windows 2000/XP/Server 2003 をプリントサーバとして使う場合、IPP 接続はしないでください。
- MS Network または IPP 印刷の場合、用紙やトナー残量などの状態が確認できるユーティリティ「EPSON ステータスモニタ」は使用できませんのでご注意ください。

各印刷方法の長所と短所

各印刷方法の長所と短所は次の通りです。印刷方法を決める際の参考にしてください。

LPR(TCP/IP)

長所	• プリントサーバ（コンピュータ）が不要です（Windows 2000/XP/Server 2003 では、LPR 接続したコンピュータをプリントサーバとして機能させることができます）。 • Windows 2000/XP/Server 2003 では、特別な印刷ツールは必要ありません。 • EPSON ステータスモニタを使って、用紙 / トナー残量などのプリンタ状態をコンピュータ上で確認することができます。 • Windows 2000/XP/Server 2003 では、イベントビューアを使用して印刷ログ（記録）を取ることができます。 • ルータを越えて利用することができます。
短所	TCP/IP の設定が必要です（TCP/IP 環境では、プリンタを使う以前に必要）。Windows 98/Me では、印刷を実行するそれぞれのコンピュータに EpsonNet Print をインストールする必要があります。

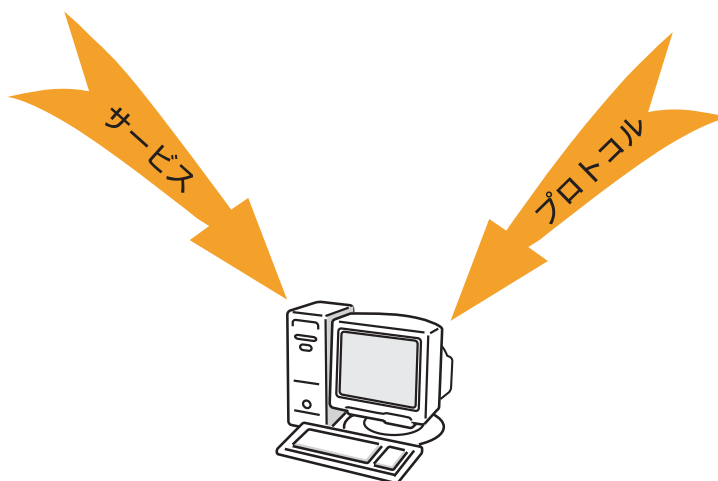
IPP(TCP/IP)

長所	• プリントサーバ（コンピュータ）が不要です。 • プロキシサーバを越えての印刷（インターネット上のプリンタへの印刷）が可能です。
短所	• EPSON ステータスモニタは使用できません。 • TCP/IP や DNS などの設定が必要です（TCP/IP 環境では、プリンタを使う以前に必要）。 • ルータやプロキシサーバに対して、Port631 を利用可能にするための設定が必要です。 • Windows 98 では、印刷を実行するコンピュータ 1 台ごとに EpsonNet Internet Print をインストールする必要があります。 • Windows 98、Windows 2000/XP/Server 2003、Windows Me でそれぞれ印刷設定が異なり、1 台ごとに設定する手間がかかります（複数の OS が混在している環境では、設定を統一できません）。 • Windows 2000/XP/Server 2003 で IPP 接続したプリンタは共有設定できません。

MS Network

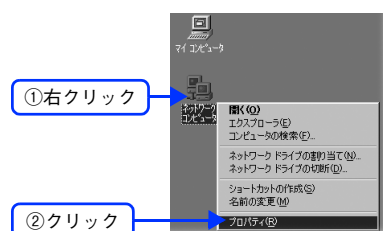
長所	• 設定が簡単です（アドレス不要。ただし Windows XP/Server 2003 を除く）。 • プリントサーバ（コンピュータ）が不要です。 • 特別な印刷ツールは必要ありません。 • 数種類の Windows 系 OS が混在している環境でも、各 OS で印刷方法をほぼ統一できます。
短所	• EPSON ステータスモニタは使用できません。 • ルータを越えて利用することはできません。 • ネットワークプリンタの検索に時間がかかり、印刷が通常よりも遅くなる場合があります。 • Windows XP/Server 2003 では、各種アドレスの設定が必要です。

3 コンピュータのネットワーク設定

コンピュータからネットワークインターフェイスの設定や印刷を行うには、あらかじめコンピュータでネットワークに関する各種設定をしておく必要があります。ここでは、その手順を説明します。

Windows 98/Me

TCP/IP、NetBEUI、Microsoft ネットワーク各プロトコルを組み込み、TCP/IP のアドレスを設定します。すでに各プロトコルが利用可能な場合は、次のネットワークインターフェイスの設定へ進みます。
☞ 本書 32 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

設定時に Windows 98/Me の CD-ROM を要求されることがあります。

1 **［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**
Windows Me の場合は、［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 **下表を参照し、［ネットワークの設定］画面に必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。**

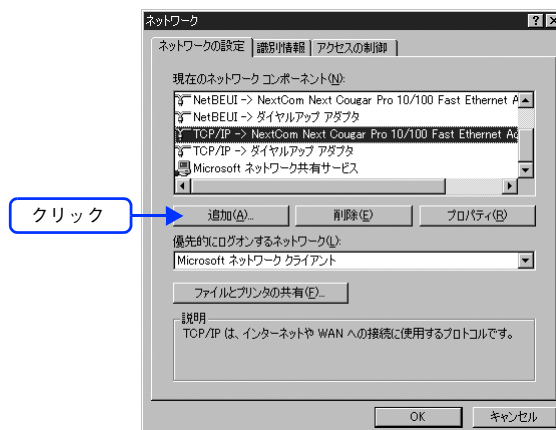
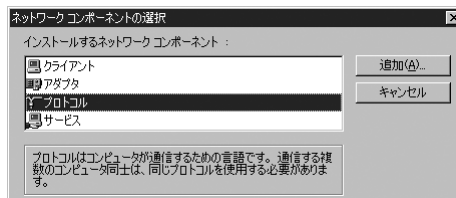
本機に付属のユーティリティを使用してネットワークインターフェイスを設定する場合

ユーティリティで設定する項目	必要なコンポーネント
TCP/IP AppleTalk SNMP（IP トラップ）	TCP/IP
MS Network	NetBEUI

ネットワークプリンタに印刷する場合

印刷方法	必要なコンポーネント
LPR 印刷 IPP 印刷	TCP/IP
Microsoft ネットワーク共有印刷	• NetBEUI • Microsoft ネットワーククライアント

- 必要なコンポーネントが組み込まれていた場合は、以下のページへ進みます。
  TCP/IP の場合：本書 22 ページ「アドレスの設定（LPR または IPP 印刷のみ）」
  NetBEUI、MS ネットワーククライアントの場合：本書 32 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」
- 必要なコンポーネントが組み込まれていなかった場合は、手順 3 へ進みます。

3 必要なコンポーネントが組み込まれていない場合は、［追加］をクリックします。

4 下表を参照し、必要なコンポーネントをインストールします。

コンポーネント	インストール手順
TCP/IP	①［プロトコル］を選択し、［追加］をクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［TCP/IP］をクリックして、［OK］をクリックします。 ③手順 5 に進んでアドレスを設定します。
NetBEUI	①［プロトコル］を選択して［追加］をクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［NetBEUI］を選択し、［OK］をクリックします。
Microsoft ネットワーククライアント	①［クライアント］を選択して［追加］をクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワーククライアントで［Microsoft ネットワーククライアント］を選択し、［OK］をクリックします。設定が終了したら、［OK］をクリックして画面を閉じます。 ③この後は、手順 7 に進みます。

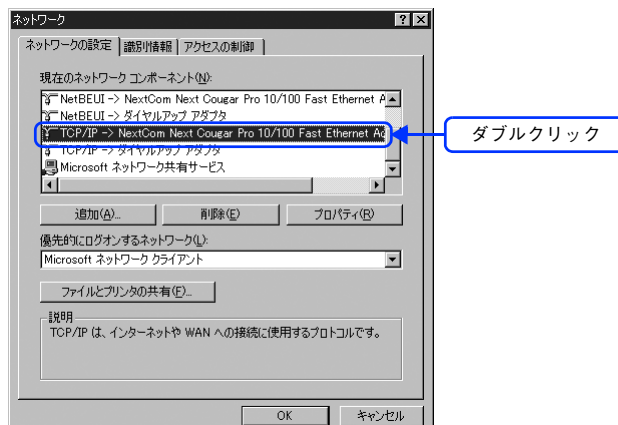
以上でコンポーネントのインストールは終了です。

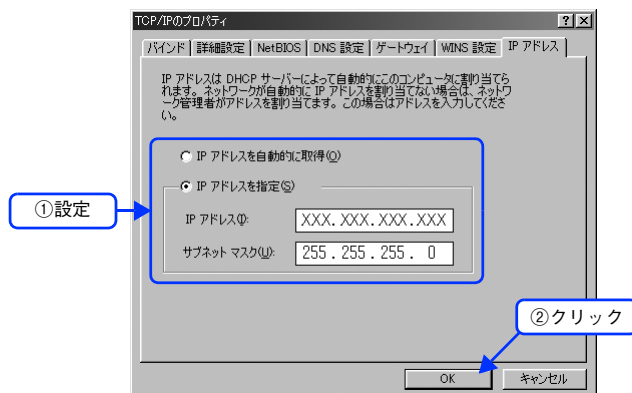
TCP/IP をインストールした場合は、コンピュータにアドレスを設定します。手順 5 へ進みます。
☞ 本書 22 ページ「アドレスの設定（LPR または IPP 印刷のみ）」

NetBEUI または Microsoft ネットワーククライアントをインストールした場合は、プリンタのネットワークインターフェイスを設定します。以下のページへ進みます。
☞ 本書 32 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

アドレスの設定（LPR または IPP 印刷のみ）

LPR または IPP 印刷を行う場合は、IP アドレスなどの各種アドレスをコンピュータに設定する必要があります。各種アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
各種アドレスがわからないときは、以下をご覧ください。
☞ 本書 139 ページ「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

5 **各種アドレスを設定します。追加した［TCP/IP］をダブルクリックします。**

6 **各種アドレスを設定し、［OK］をクリックします。**

☞ 本書 111 ページ「設定する IP アドレスがわからない」
☞ 本書 140 ページ「IP アドレスは何番に設定する？」

7 **コンピュータを再起動します。**

以上でコンピュータのネットワーク設定は終了です。

次にネットワークインターフェイスを設定します。
☞ 本書 32 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

Windows 2000/XP/Server 2003

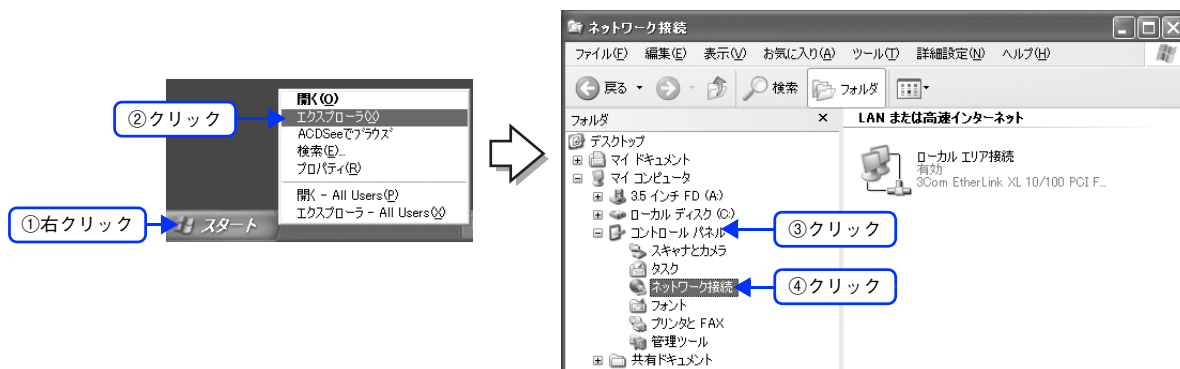
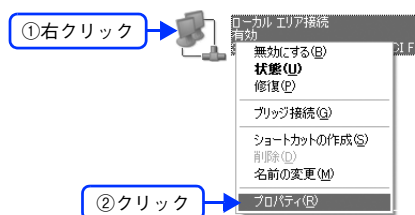
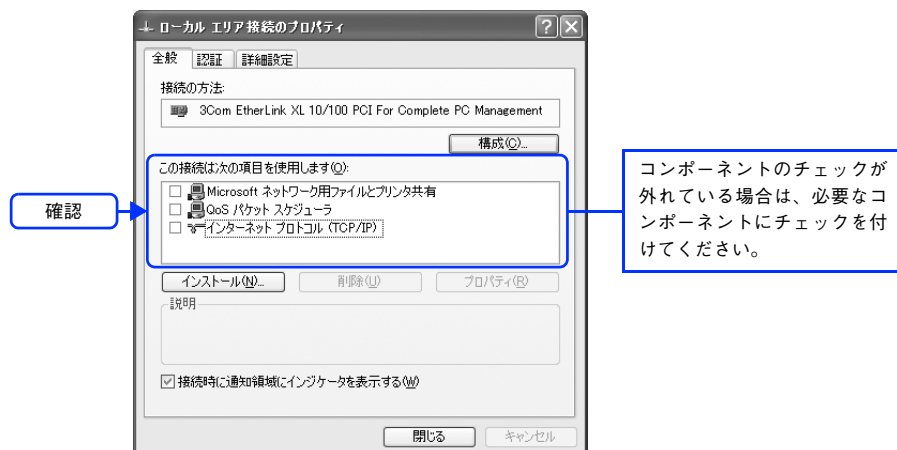
TCP/IP、NetBEUI、Microsoft ネットワーク各プロトコルを組み込み、TCP/IP のアドレスを設定します。すでに各プロトコルが利用可能な場合は、次のネットワークインターフェイスの設定へ進みます。

本書 32 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

- 設定時に Windows 2000/XP/Server 2003 の CD-ROM を要求されることがあります。
- Windows XP/Server 2003 では NetBEUI プロトコルを使用しての印刷はサポートされていませんが、Microsoft ネットワーク上の共有プリンタへの印刷は可能です（TCP/IP を組み込み IP アドレスを設定しておく必要があります）。

1 ［スタート］を右クリックして、［エクスプローラ］をクリックし、表示された画面で［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］の順にクリックします。

Windows Server 2003 の場合は、［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］の順にクリックします。

Windows 2000 の場合は、［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

3 下表を参照し、必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。

本機に付属のユーティリティを使用してネットワークインターフェイスを設定する場合

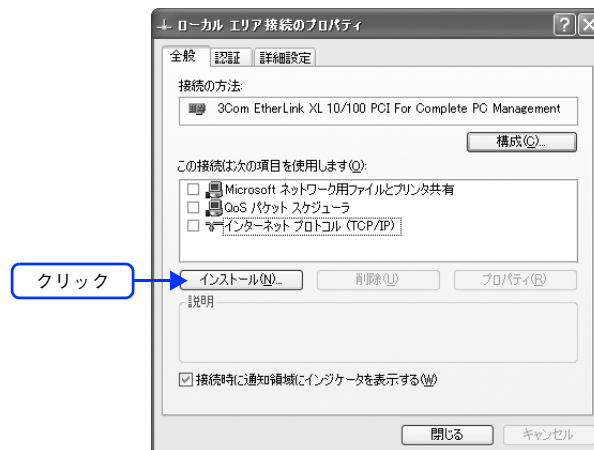
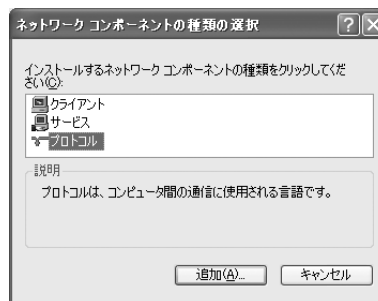
ユーティリティで設定する項目	必要なコンポーネント
TCP/IP AppleTalk SNMP（IP トラップ）	インターネットプロトコル（TCP/IP）
MS Network	NetBEUI プロトコル（Windows XP/Server 2003 は NetBEUI に対応していません。TCP/IP が必要です。）

ネットワークプリンタに印刷する場合

印刷方法	必要なコンポーネント
LPR 印刷 IPP 印刷	インターネットプロトコル（TCP/IP）
Microsoft ネットワーク共有印刷	• NetBEUIプロトコル（Windows XP/Server 2003はNetBEUIに対応していません。TCP/IP が必要です。） • Microsoft ネットワーク用クライアント

- 必要なコンポーネントが組み込まれていた場合は、チェックボックスをチェックして以下のページへ進みます。
  TCP/IP の場合：
  ☞ 本書 26 ページ「アドレスの設定（LPR または IPP 印刷のみ）」
  NetBEUI、MS ネットワーククライアントの場合：
  ☞ 本書 32 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

- 必要なコンポーネントが組み込まれていなかった場合は、手順 4 へ進みます。

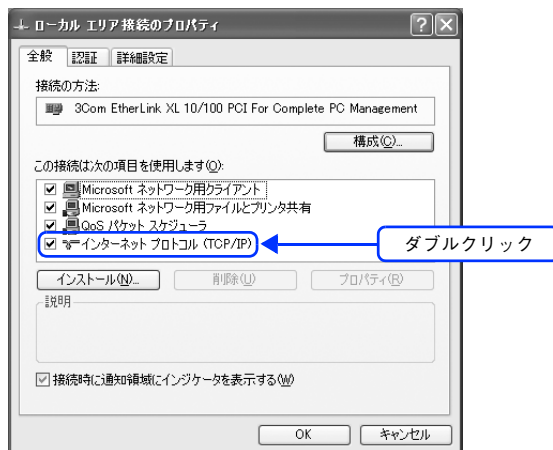
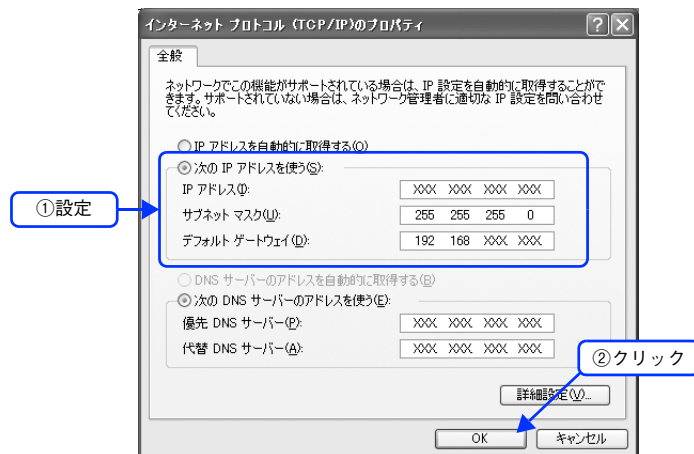
4 ［インストール］をクリックします。

5 下表を参照し、必要なコンポーネントをインストールします。

コンポーネント	インストール手順
インターネットプロトコル（TCP/IP） （Windows 2000 のみ）：	①［プロトコル］をダブルクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をダブルクリックします。 ② 手順 6 に進んでアドレスを設定します。
NetBEUI プロトコル（Windows 2000 のみ）：	［プロトコル］をダブルクリックし、［NetBEUI プロトコル］をダブルクリックします。
Microsoft ネットワーク用クライアント：	①［クライアント］をダブルクリックし、［Microsoft ネットワーク用クライアント］をダブルクリックします。 ②インストールしたら、［OK］をクリックし、手順 8 に進みます。

以上でコンポーネントのインストールは終了です。
TCP/IP をインストールした場合は、コンピュータにアドレスを設定します。手順 6 へ進みます。
本書 26 ページ「アドレスの設定（LPR または IPP 印刷のみ）」

NetBEUI または Microsoft ネットワーククライアントをインストールした場合は、プリンタのネットワークインターフェイスを設定します。以下のページへ進みます。
本書 32 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

アドレスの設定（LPR または IPP 印刷のみ）

LPR または IPP 印刷を行う場合は、IP アドレスなどの各種アドレスをコンピュータに設定する必要があります。各種アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
各種アドレスがわからないときは、以下をご覧ください。
☞ 本書 139 ページ「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

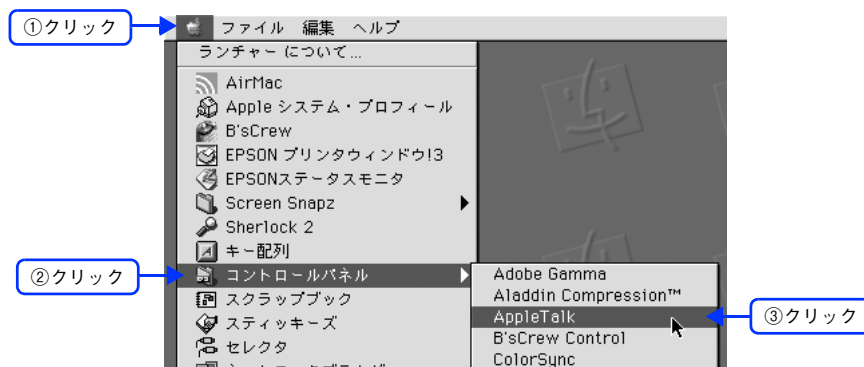
6 **追加した［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をダブルクリックします。**

7 **各種アドレスを設定し、［OK］をクリックします。**
☞ 本書 111 ページ「設定する IP アドレスがわからない」
☞ 本書 140 ページ「IP アドレスは何番に設定する？」

8 **コンピュータを再起動します。**

以上でコンピュータのネットワーク設定は終了です。

次にネットワークインターフェイスを設定してください。
☞ 本書 32 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

Mac OS 9

AppleTalk を設定する

1 ［コントロールパネル］－［AppleTalk］を選択します。

2 ［経由先：］ドロップダウンリストから［Ethernet］を選択します。

［AppleTalk］印刷をする場合や EpsonNet Config（Mac OS 9）でネットワークインターフェイスを設定する場合は、この設定だけでご利用いただけます。

次にネットワークインターフェイスを設定してください。
本書 32 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

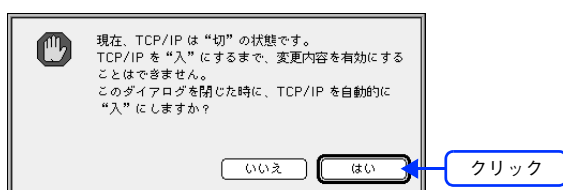
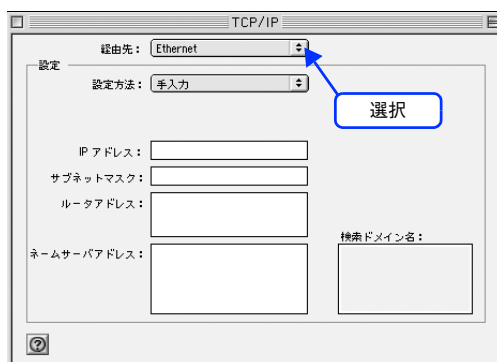
［アップル］メニューにある［セレクタ］の［AppleTalk］が［切］になっていると、［入］にするようメッセージが表示されます。このときは［はい］をクリックして、AppleTalk を［入］にしてください。

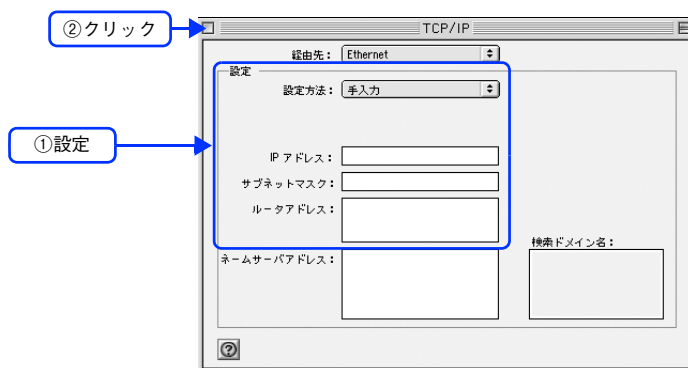
IP アドレスを設定する

EpsonNet Config（Web）または EpsonNet WebManage を使用したい場合は、コンピュータに IP アドレスを設定してください。

LPR または IPP 印刷を行う場合は、IP アドレスなどの各種アドレスをコンピュータに設定する必要があります。各種アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
各種アドレスがわからないときは、以下をご覧ください。
☞ 本書 139 ページ「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

1 **アップルメニューの［コントロールパネル］-［TCP/IP］を選択します。**

2 **次の画面が表示されたら［はい］をクリックしてください。**

3 **［経由先：］ドロップダウンリストから［Ethernet］を選択します。**

4 **各種アドレスを設定します。**

アドレスを設定したら、ダイアログ左上のクローズボックスをクリックします。

以上で Mac OS 9 のネットワーク設定は終了です。

次にネットワークインターフェイスを設定してください。
☞ 本書 32 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

Mac OS X

Mac OS X では、次のプロトコルを使用した印刷が可能です。

- EPSON AppleTalk：Mac OS X v10.2 以降で使用できます。
- EPSON TCP/IP：Mac OS X v10.2 以降で使用できます。
- Rendezvous：Mac OS X v10.2.4 以降で使用できます。

- プロトコルの設定を行うには管理者の権限を持つユーザーでログインする必要があります。
- EpsonNet Config（Web）、EpsonNet WebManager を使うには、コンピュータとネットワークインターフェイスに、それぞれ IP アドレスなどの設定が必要です。
  本書 30 ページ「TCP/IP を設定する」

AppleTalk を設定する

EPSON AppleTalk で印刷するときには、この設定を行ってください。

1 ［システム環境設定］の［ネットワーク］－［AppleTalk］タブをクリックします。

［AppleTalk］タブが見当たらないときは、［場所：］が［自動］になっていることを確認し、［ネットワーク］画面の［表示：］ドロップダウンリストで［内蔵 Ethernet］が選択されているかを確認してください。
なお、ドロップダウンリストの項目は、OS のバージョンによって異なる場合があります。

2 ［AppleTalk］タブで［AppleTalk 使用］にチェックを付け、［今すぐ適用］をクリックします。

［AppleTalk］印刷をする場合や EpsonNet Config（Mac OS X）でネットワークインターフェイス を設定する場合は、この設定だけでご利用いただけます。
［EPSON TCP/IP］で印刷をしない場合は、以下のページへ進んでください。
本書 32 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

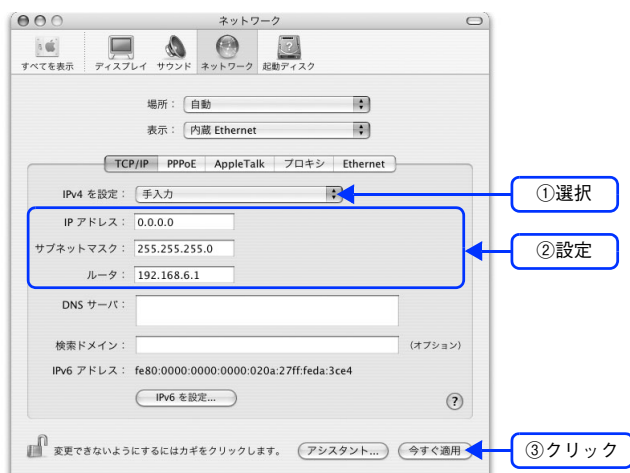
TCP/IP を設定する

LPR または IPP 印刷を行う場合は、IP アドレスなどの各種アドレスをコンピュータに設定する必要があります。各種アドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
各種アドレスがわからないときは、以下をご覧ください。
☞ 本書 139 ページ「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

1 ［システム環境設定］の［ネットワーク］-［TCP/IP］タブをクリックします。

2 ［ネットワーク］画面の［表示：］ドロップダウンリストで［内蔵 Ethernet］を選択します。

3 ［TCP/IP］タブで必要事項を設定します。設定終了後、［今すぐ適用］をクリックします。

① ［設定：］または［IPv4 を設定：］ドロップダウンリストで［手入力］を選択します。
② 各アドレスを入力します。

以上で Mac OS X のネットワーク設定は終了です。

次にネットワークインターフェイスを設定してください。
☞ 本書 32 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

Rendezvous 機能を使用する

Mac OS X の Rendezvous を使用して印刷する場合は、DHCP または APIPA などで IP アドレスを取得する必要があります（前ページ「TCP/IP の設定」を参照）。

Rendezvous で印刷するには、本機の操作パネルまたは本機に付属のユーティリティを使用してネットワークインターフェイスの「Rendezvous 機能」を有効にする必要があります。
詳細は以下のページをご覧ください。
☞ 本書 105 ページ「Rendezvous の設定」
操作パネルからの設定方法については、『ユーザーズガイド』（PDF マニュアル）をご覧ください。

4 ネットワークインターフェイスの設定

コンピュータのプロトコルを設定したら、ネットワークインターフェイスの設定をします。
ここでは設定ユーティリティを使った設定方法を説明します。

設定方法の概要

本機に付属の設定ユーティリティを使用してネットワークインターフェイスの各種設定を行い、本機をネットワークプリンタとして印刷可能な状態にセットアップします。
本機の操作パネルでネットワークインターフェイスの TCP/IP 設定ができます。操作パネルからの設定方法については、『ユーザーズガイド』（PDF マニュアル）をご覧ください。

Windows から設定する

本機に付属の設定ユーティリティ「EpsonNet Config（Windows)」をお使いください。
本書 35 ページ「EpsonNet Config（Windows）をインストールする」
EpsonNet Config（Windows）では、TCP/IP・MS Network・AppleTalk・SNMP などの設定ができます。

IP アドレスは ARP/PING コマンドで設定することもできます。
ただし、ARP/PING コマンドでは IP アドレスしか設定できません。サブネットマスクやゲートウェイアドレスを設定する場合は、EpsonNet Config（Windows）を使用してください。
本書 131 ページ「ARP/PING コマンドでの IP アドレス設定」

Mac OS から設定する

本機に付属の設定ユーティリティ「EpsonNet Config（Mac OS)」をお使いください。
本書 38 ページ「EpsonNet Config（Mac OS）をインストールする」
EpsonNet Config（Mac OS）では、AppleTalk・TCP/IP・SNMP などの設定ができます。

EpsonNet Configのインストールと起動

本機のネットワークインターフェイスの設定には、必ず本機に付属の EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）をお使いください。

動作環境

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）は、次の環境で動作します。

- IBM PC/AT 互換機、PC9801 シリーズまたは Apple 社 Macintosh シリーズ
- 対象 OS：Windows 98/Me/2000 Server/2000 Professional/XP Home Edition/Professional/Server 2003/
  Mac OS 9.1 以降 /Mac OS X v10.2 以降
- ハードディスクの空き容量：15MB 以上
- 画面表示：SVGA （800 × 600）以上

EpsonNet Config(Windows)をインストールする

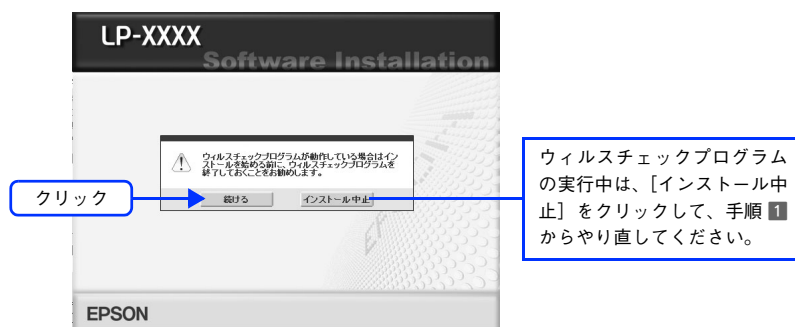
EpsonNet Config（Windows）のインストールと起動方法を説明します。

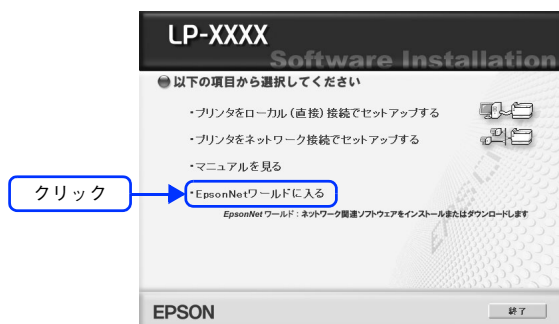
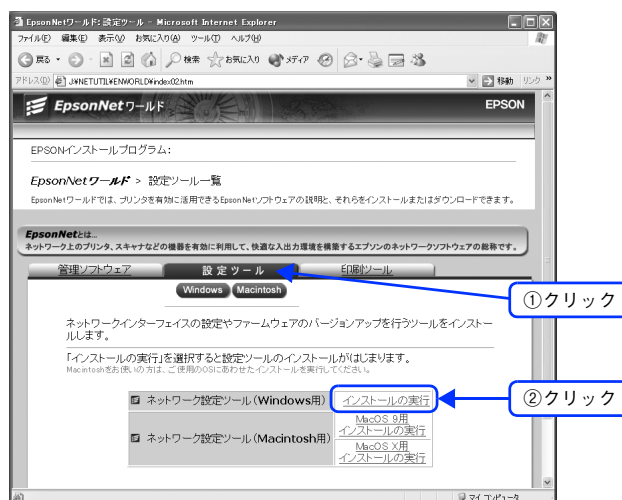
- Windows 2000/XP/Server 2003 に EpsonNet Config（Windows）をインストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログオンする必要があります。
- 本文中の「EPSON プリンタソフトウェア CD- ROM」の画面は、実際の表示と異なる場合があります。

インストール

1 ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。

2 コンピュータに『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』をセットします。

3 画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。

4 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認して［同意する］をクリックします。

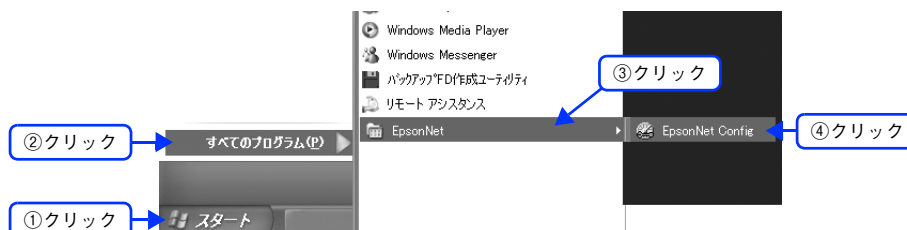
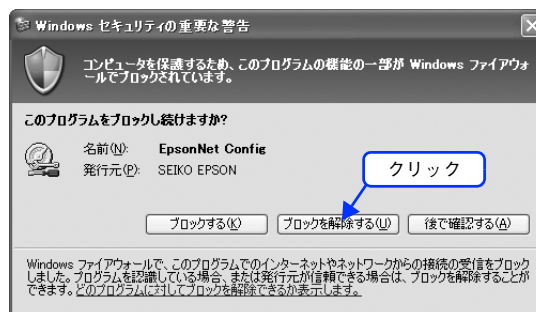
5 ［EpsonNet ワールドに入る］をクリックします。

6 ［設定ツール］タブをクリックし、［ネットワーク設定ツール（Windows 用）］の［インストールの実行］をクリックします。

お使いのコンピュータによっては［ファイルのダウンロード - セキュリティの警告］ダイアログが表示されることがあります。ダイアログが表示されたときは次の手順に従ってください。
①［実行］または［開く］をクリックします。
② さらに画面が表示されたときは［実行する］をクリックします。

7 この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

以上で EpsonNet Config のインストールは終了です。
ウィルスチェックプログラムを終了または停止した場合は、セキュリティ確保のためウィルスチェックプログラムを再開してください。

起動

1 本機の電源がオンになっていることを確認してください。

2 ［スタート］-［すべてのプログラム］（または［プログラム］）-［EpsonNet］-［EpsonNet Config］の順にクリックして起動します。

次の画面が表示されたときは、［ブロックを解除する］をクリックしてください。［ブロックする］をクリックしたときは、EpsonNet Config（Windows）を Windows ファイアウォールに登録してください。
☞ 本書 137 ページ「Windows ファイアウォールの例外アプリケーションへの登録方法」

以下のページに進んで、ネットワークインターフェイスの設定をしてください。
☞ 本書 41 ページ「ネットワークインターフェイス設定」

EpsonNet Config(Mac OS)をインストールする

EpsonNet Config（Mac OS）のインストールと起動方法を説明します。

- Mac OS X に EpsonNet Config（Mac OS X）をインストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログインする必要があります。
- Mac OS X 独自のファイルフォーマット「UNIX ファイルシステム」には対応していません。

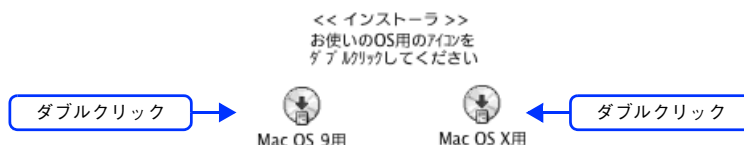
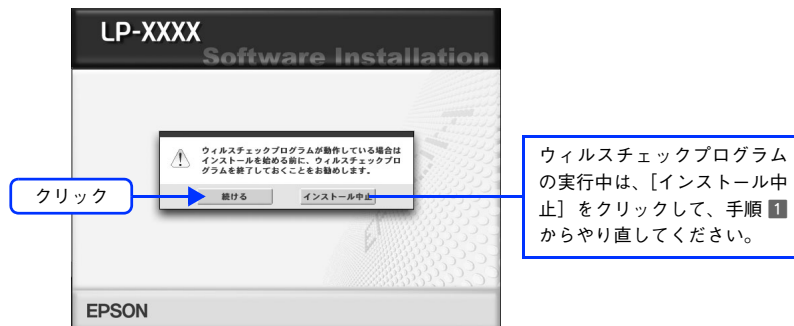
インストール

1 ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。

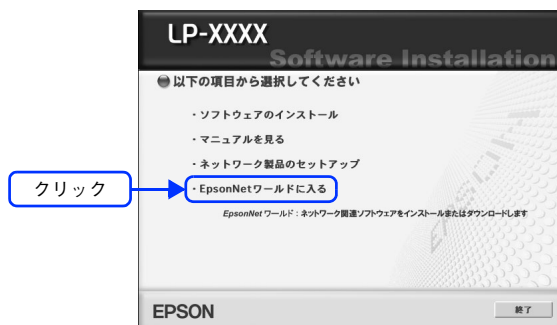
2 コンピュータに『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』をセットします。

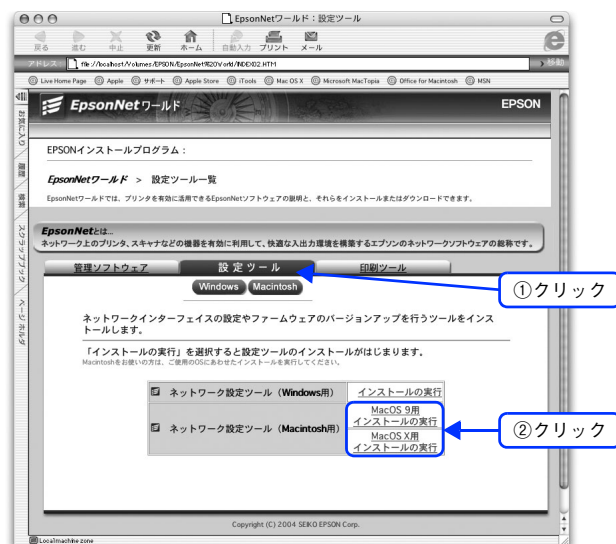
3 デスクトップの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

4 お使いの OS のアイコンをダブルクリックします。

Mac OS 9 と Mac OS X では、それぞれインストールする EpsonNet Config が異なります。各 Mac OS 用の EpsonNet Config をインストールしてください。

5 画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。

6 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認して［同意する］をクリックします。

7 ［EpsonNet ワールドに入る］をクリックします。

お使いの OS により表示される画面が多少異なります。

8 ［設定ツール］タブをクリックし、［ネットワーク設定ツール（Macintosh 用）］の［Mac OS X 用インストールの実行］をクリックします。

Mac OS 9.1 以降の場合は、［設定ツール］タブをクリックし、［ネットワーク設定ツール（Macintosh 用）］の［Mac OS 9 用インストールの実行］をクリックします。

9 この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

インストール終了後は、［再起動］をクリックします。

以上で EpsonNet Config のインストールは終了です。
ウィルスチェックプログラムを終了または停止した場合は、セキュリティ確保のためウィルスチェックプログラムを再開してください。

起動

1 **本機の電源がオンになっていることを確認してください。**

2 **［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックした後、［アプリケーション］フォルダをダブルクリックします。**

Mac OS 9.1 以降の場合は、［Applications（Mac OS 9)］フォルダをダブルクリックします。

［Macintosh HD］の名前を変更しているときは、Mac OS を起動しているハードディスクアイコンをダブルクリックしてください。

3 **［EpsonNet］フォルダをダブルクリックします。**

4 **［EpsonNet Config］フォルダをダブルクリックします。**

5 **［EpsonNet Config］アイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動します。**

以下のページに進んで、ネットワークインターフェイスの設定をしてください。
本書 41 ページ「ネットワークインターフェイス設定」

ネットワークインターフェイス設定

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）を使って、ネットワークインターフェイスを設定します。EpsonNet Config（Windows）の画面を例に説明します。EpsonNet Config（Mac OS）の場合も手順は同様です。

- EpsonNet Config （Windows）/（Mac OS）で表示される画面や設定できる項目は、お使いの機種と異なる場合があります。
- 各設定画面とメニューバーの詳細説明については、各 EpsonNet Config のヘルプをご覧ください。

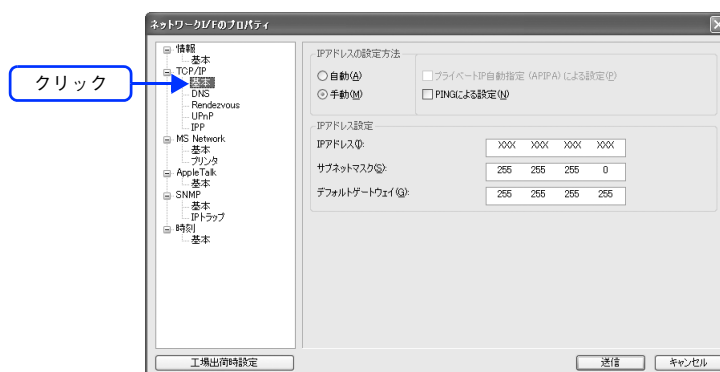
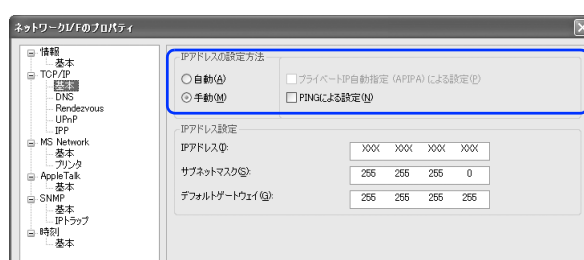
1 **画面のリストで、本機のモデル名をクリックして選択します。**

- ネットワークインターフェイスの IP アドレスが工場出荷時設定（192.168.192.168）のままになっていると、モデル名が表示されないことがあります。このようなときは、MAC アドレスで判別してください。また、本機が複数台あるときも MAC アドレスで判断します。MAC アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。
  本書 123 ページ「ネットワークステータスシート」
- お使いのコンピュータのローカルネットワーク外に本機がある場合は、[ツール] メニューの [オプション] - [TCP/IP] でアドレスを指定すると表示されます。
- お使いの Mac OS が所属するゾーンの外に本機がある場合は、[ツール] メニューの [オプション] - [Apple Talk] でゾーンを指定すると表示されます。
- IP アドレスが工場出荷時設定以外に設定されている場合、[ブラウザの起動] をクリックすると、EpsonNet Config（Web）が起動します。
  本書 96 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

2 **[設定開始] をクリックします。**

ここでは、TCP/IP 情報を設定する場合を例に説明します。
Windows XP/Server 2003 で Microsoft ネットワーク上の共有プリンタへ印刷する場合も、TCP/IP 情報を設定してください。

3 ［TCP/IP］-［基本］をクリックします。

次の画面が表示されます。

4 ［IP アドレスの設定方法］項目を選択します。

設定項目	設定内容
自動	DHCPまたはBOOTPサーバからIPアドレスを自動取得するときに選択します。デバイスの電源を入れるたびにネットワークインターフェイスに割り振られるIP アドレスが変更されます。 DHCP または BOOTP サーバのない環境では使用できません。設定に関しては各サーバの取扱説明書をご覧ください。
手動	［IP アドレス設定］項目で IP アドレスを設定するときに選択します。
プライベート IP 自動指定（APIPA）による設定	チェックすると、DHCP サーバが存在しないときや応答がないときに、IP アドレスが APIPA （Automatic Private IP Addressing）によって自動設定されます。169.254.0.1 ～ 169.254.255.254 の範囲で設定されます。 IP アドレスの設定方法が手動の場合、この項目はグレー表示され設定できません。
PING による設定	IP アドレスを ARP/PING コマンドから設定するときにチェックを付けてください。 EpsonNet WebManager を使う場合は、チェックを外してください。

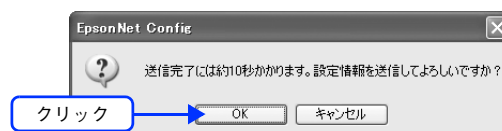
!注意

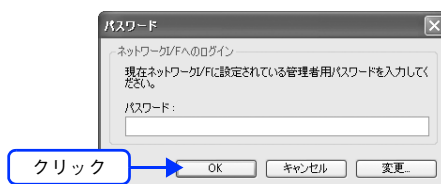
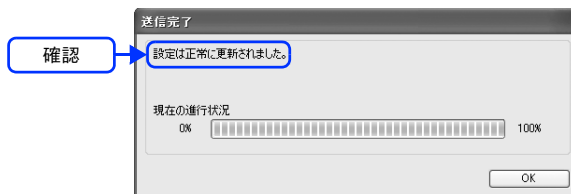
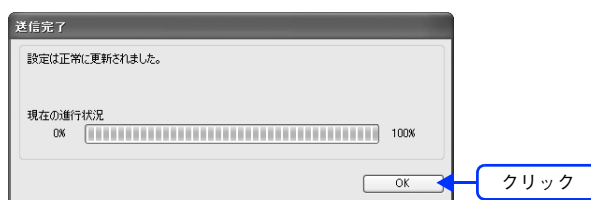
- ［自動］を選択すると、本機の電源を入れるたびにプリンタドライバ上でプリンタポートの設定変更をしなくてはなりません。そのため、TCP/IP 印刷する場合は［手動］を選択して IP アドレスを設定することをお勧めします。
  ［自動］で利用したいときは、本機を含む各プリンタの電源を入れる順番を決めておくか、電源を常時入れておくことで、ポート変更の手間を省くことができます。
- ダイヤルアップ環境では、以下のページにある注意をご覧の上、設定してください。
  本書 46 ページ「ダイヤルアップルータ使用時の注意」

5 ［IP アドレス設定］項目で各種アドレスを設定します。

設定項目	設定内容
IP アドレス	ネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力します。IP アドレスが分からない場合は以下のページをご覧ください。 ☞本書 111 ページ「設定する IP アドレスがわからない」 ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。 初期値は［192.168.192.168］ですが、製品の仕様上、初期の状態のままでは使用できません。この IP アドレスを使用する場合は、初期値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 初期値は［255.255.255.0］です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。 初期値は［255.255.255.255］です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。

6 手順 4 ～ 5 の設定をしたら、［送信］をクリックします。

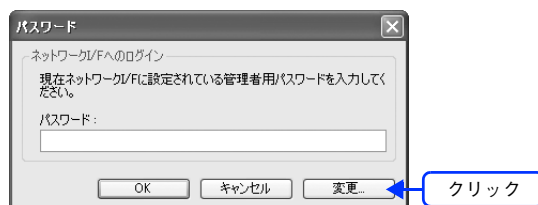
7 表示された画面で［OK］をクリックします。

8 初めて設定する場合は、パスワードが設定されていませんので［OK］をクリックします。

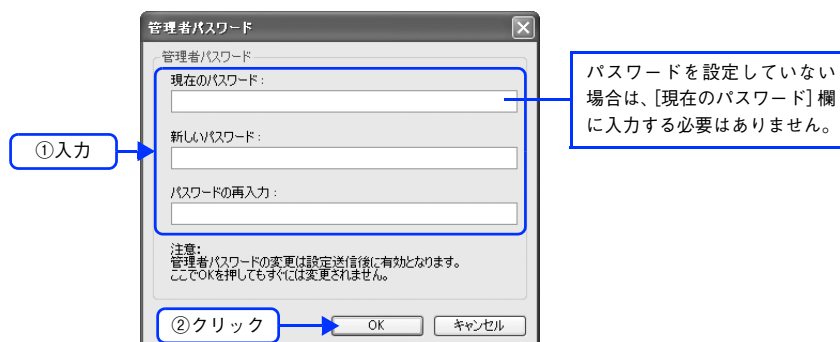
パスワードをすでに設定している場合は、［パスワード］欄にパスワードを入力して［OK］をクリックしてください。
パスワードを設定する場合は、以下ページをご覧ください。

！注意 「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワークインターフェイスに情報を送っていますので、本機の電源を切ったり、印刷データを送信したりしないでください。

9 ［OK］をクリックします。

10 設定が有効になるまで最大で約3分かかりますので、その間は本機の電源を切らないでください。3分ほどしたら、［表示］メニューの［最新の情報に更新］をクリックして、設定値を確認してください。

以上でネットワークインターフェイスの設定は終了です。

■ パスワード

パスワードは、ネットワークインターフェイスの設定を保護するためのものです。［ネットワーク I/F のプロパティ］ダイアログで［送信］をクリックしたり、［工場出荷時設定］をクリックすると［パスワード］画面が表示されます。

1 初めてパスワードを設定する場合や、パスワードを変更する場合は、［変更］をクリックします。

2 各パスワードを半角英数 20 文字以内で入力して、［OK］をクリックします。

大文字・小文字は区別されます。

3 前ページの手順 8 に戻り、［OK］をクリックします。

新しいパスワードは、［OK］をクリックし、設定送信した後に有効になります。

- パスワードは、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）と EpsonNet Config（Web）で共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。
- パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワークインターフェイスを工場出荷時の設定に戻す必要があります。
  本書 127 ページ「ネットワークインターフェイスの工場出荷時設定への戻し方」

5 ダイヤルアップルータ使用時の注意

ここでは、ダイヤルアップルータを使用・設定する場合の注意点を説明します。

DHCP 機能使用時の注意

DHCP 機能でネットワークインターフェイスに IP アドレスを設定すると、本機の電源を入れるたびにプリンタポートの設定を変更しなければなりません。

そこで、ネットワークインターフェイスには次のいずれかの方法で固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。

方法 1：
ネットワークインターフェイスに、スコープ（クライアントに割り当てる IP アドレスの範囲）の範囲外である IP アドレスを手動で設定する。
IP アドレスの設定は、EpsonNet Config（Windows）/ （Mac OS）と EpsonNet Config（Web）で行えます。
☞ 本書 34 ページ「EpsonNet Config のインストールと起動」
☞ 本書 96 ページ「EpsonNet Config（Web）の使い方」

本機の操作パネルからも IP アドレスを設定することができます。設定方法については『ユーザーズガイド』（PDF マニュアル）をご覧ください。

方法 2：
ダイヤルアップルータ DHCP 機能のバインドを使用して、ネットワークインターフェイスを特定する。

方法 3：
ダイヤルアップルータ DHCP 機能の除外アドレスを設定する。

- Microsoft ネットワーク共有印刷の場合は、上記のような設定が不要のため、簡単な設定で印刷できます。
- DHCP 機能のスコープ範囲、バインド、除外アドレス設定方法などはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧ください。
- ダイヤルアップルータをご使用の環境に設置する場合、ネットワークインターフェイスには必ずそのセグメントの設定に合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われてしまう可能性があります。

Web ブラウザの設定に関する注意

Web ブラウザでプロキシサーバを使用する設定にしていると、EpsonNet Config（Web）は使用できません。EpsonNet Config（Web）を使う場合は、次の手順に従ってプロキシサーバを使用しない設定にしてください。

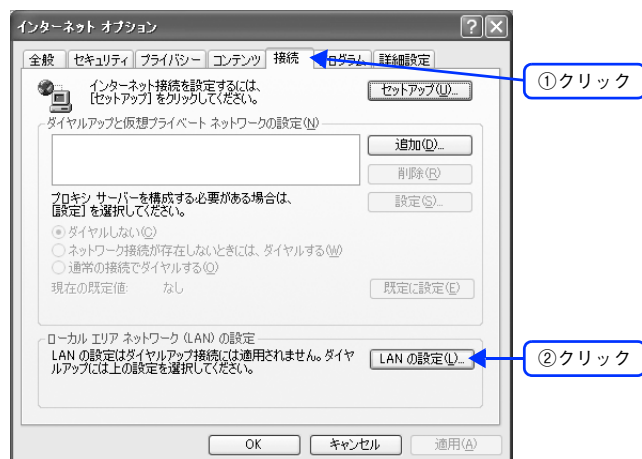
ここでは Windows XP 版の Internet Explorer 6.0 を例に説明します。

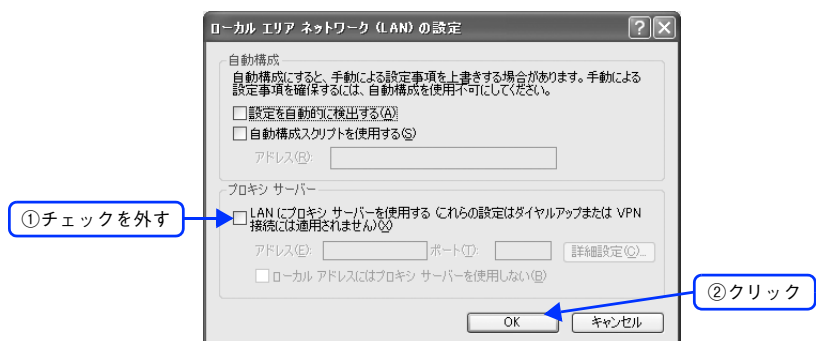
1 **Internet Explorer を起動します。**

2 **［ツール］メニューの［インターネットオプション］をクリックします。**

Internet Explorer 4.0 の場合は、［表示］メニューの［インターネットオプション］をクリックします。

3 **［接続］タブをクリックして、［LAN の設定］をクリックします。**

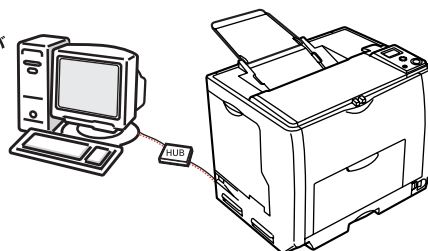
Internet Explorer 4.0 の場合は、［接続］タブをクリックしたら手順 4 へ進みます。

4 **［LAN にプロキシサーバーを使用する］にチェックが付いている場合はチェックを外します。**

Internet Explorer 5.xの場合は、［プロキシサーバーを使用する］にチェックが付いていたら、チェックを外します。
Internet Explorer 4.0 の場合は、［プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセス］にチェックが付いていたら、チェックを外します。

以上で設定は終了です。

6 プリンタドライバのインストール

ネットワークに接続した本機に印刷するには、プリンタドライバのインストールとポートの設定が必要です。
ここではインストールと設定の手順をご利用の OS 別に説明します。

Windows のプリンタドライバを自動配信する機能を利用すると、プリンタドライバのインストール作業が簡略できます。詳しくは、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 118 ページ「プリンタドライバの自動インストール」

Windows 98/Me

印刷方法に応じて以下のページを参照し、プリンタドライバをセットアップしてください。
☞ 本書 50 ページ「LPR 印刷でセットアップする」
☞ 本書 50 ページ「IPP 印刷でセットアップする（Windows 98）」
☞ 本書 50 ページ「IPP 印刷でセットアップする（Windows Me）」
☞ 本書 52 ページ「Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタ印刷でセットアップする」

LPR 印刷でセットアップする

Windows 98/Me は TCP/IP での LPR 印刷システムを持たないため、標準での TCP/IP 印刷はできませんが、本機付属のユーティリティ EpsonNet Print を使って、本機への TCP/IP（LPR）直接印刷ができます。

この場合は EpsonNet Print をインストールしてから、プリンタドライバをインストールします。以下のページをご覧ください。
☞ 本書 72 ページ「EpsonNet Print の使い方」

IPP 印刷でセットアップする（Windows 98）

Windows 98 で IPP 印刷するには、IPP 印刷ツール「EpsonNet Internet Print」と IPP 印刷ツールの取扱説明書をエプソンのホームページからダウンロードする必要があります。

ソフトウェアの入手方法は、以下のページをご覧ください。
☞ 本書 11 ページ「EpsonNet ソフトウェアを入手するには」

ダウンロード後は、IPP 印刷ツールの取扱説明書を確認して設定してください。

IPP 印刷でセットアップする（Windows Me）

ここでは Windows Me で IPP 印刷をする手順を説明します。

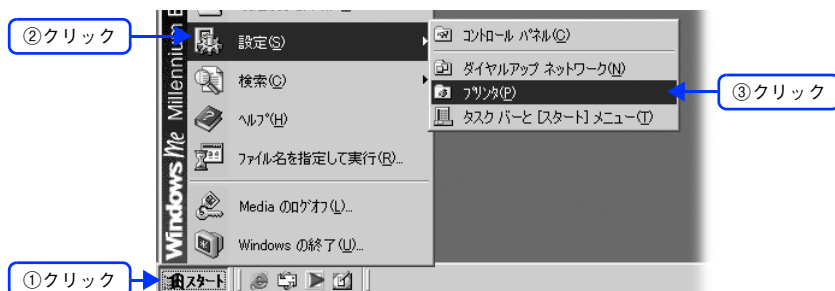
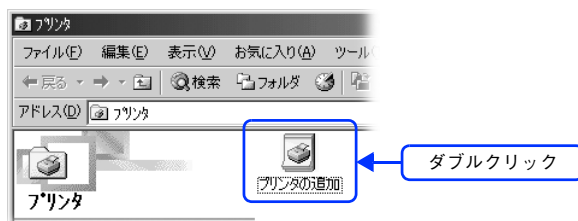
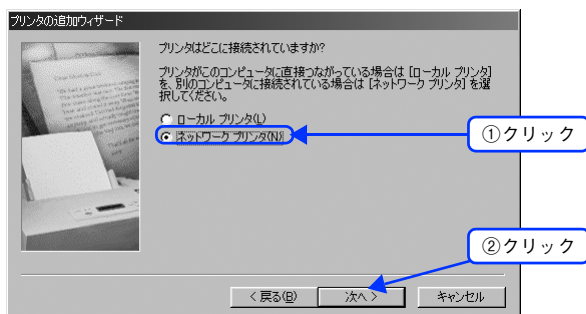
Windows 98 で IPP 印刷するには、以下のページをご覧ください。
☞ 本書 50 ページ「IPP 印刷でセットアップする（Windows 98）」

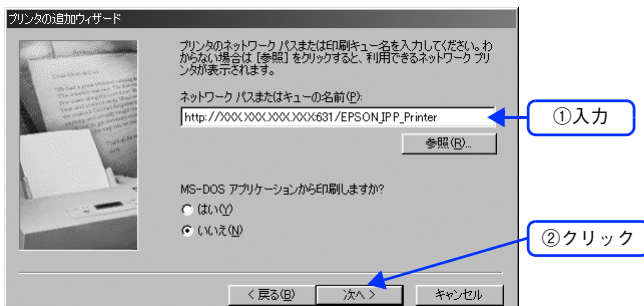
■ IPP クライアントのインストール

1 **コンピュータに、Windows Me の CD- ROM をセットします。**

2 **CD-ROM ドライブにある［add- ons］-［ipp］フォルダの［wpnpins］をダブルクリックします。後は、画面の指示に従ってインストールしてください。**

プリンタの追加

1 ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、画面が表示されたら［次へ］をクリックします。

3 ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］をクリックします。

4 ［ネットワークパスまたはキューの名前］に次の書式で入力し、［次へ］をクリックします。

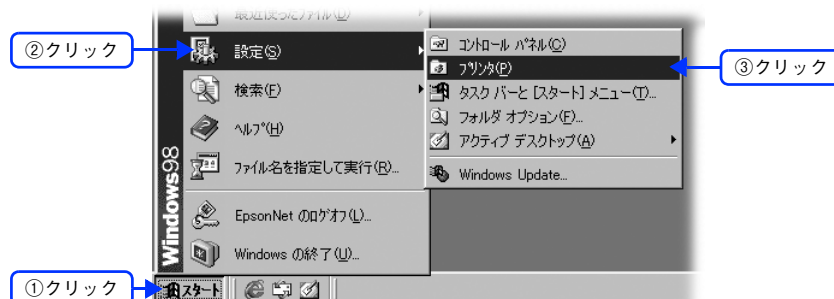
書式）http:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス：631/EPSON_IPP_Printer

> **参考**
> 上記の EPSON_IPP_Printer は初期値です。ネットワークインターフェイスの設定値は、ネットワークステータスシートで確認できます。
> ☞ 本書 123 ページ「ネットワークステータスシートを印刷する」

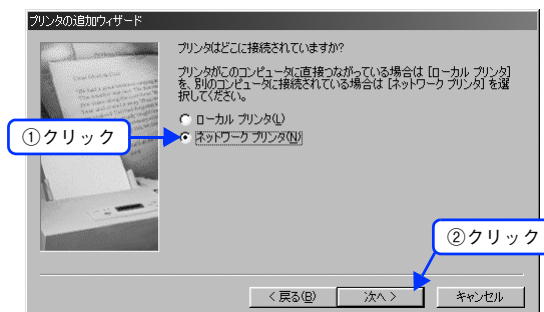
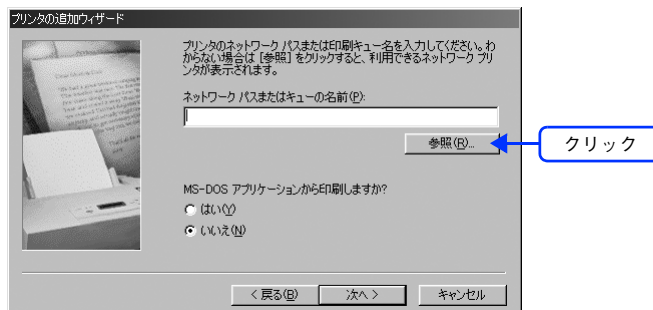
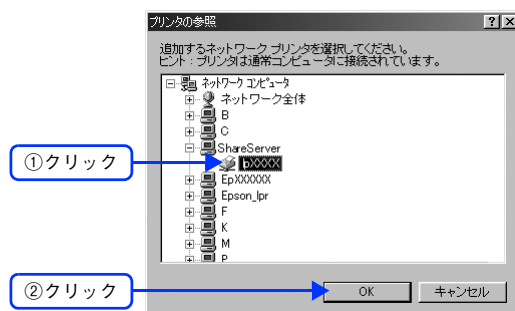
5 この後は以下のページに進んでください。

☞ 本書 54 ページ「プリンタドライバをインストールする」

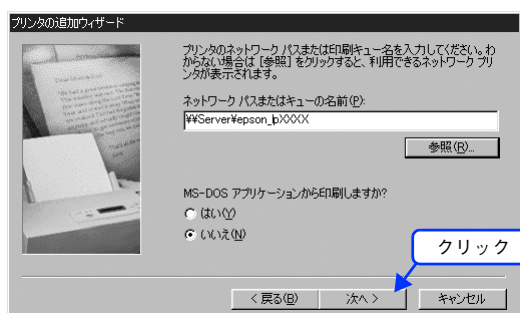
Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタ印刷でセットアップする

Windows 98 の画面で説明します。

1 ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、画面が表示されたら［次へ］をクリックします。

3 ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］をクリックします。

4 ［参照］をクリックします。

5 表示されるリストから本機を選択して、［OK］をクリックします。

ネットワークプリンタは次のように表示されます。

- Windows 2000/XP/Server 2003 で共有されている場合
  ドメイン・ワークグループ・サーバ名などをダブルクリックすると、その下に表示されます。
- Microsoft ネットワーク共有印刷をする場合
  ワークグループ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
  参照できない場合は、［キャンセル］をクリックし、手順 4 の画面で次のように入力します。
  ￥￥（ネットワークインターフェイス のプリントサーバ名）￥（ネットワークインターフェイス の共有名）
  これらの名前は、ネットワークステータスシートで確認できます。
  本書 123 ページ「ネットワークステータスシートを印刷する」

6 ［プリンタの追加ウィザード］画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。

7 この後は次ページに進んでください。

本書 54 ページ「プリンタドライバをインストールする」

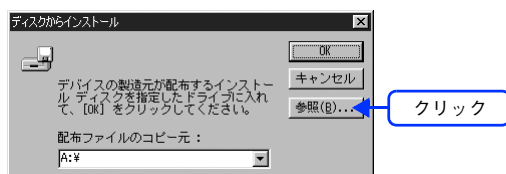
プリンタドライバをインストールする

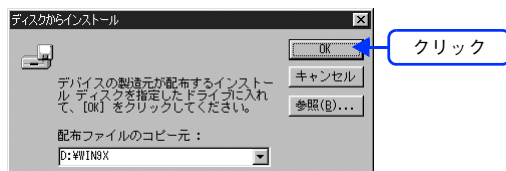
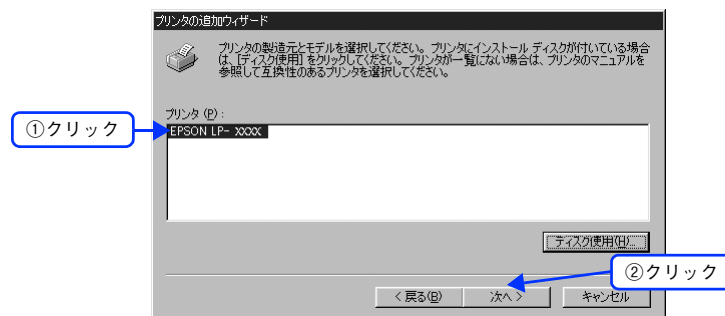
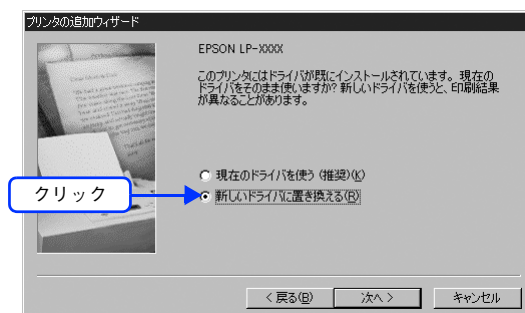
1 本機付属の『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットします。

2 画面が表示されたら、［インストール中止］をクリックして画面を閉じます。

3 ［プリンタの追加ウィザード］画面で［ディスク使用］をクリックします。

共有プリンタを接続しているコンピュータに、Windows 98/Me 用のプリンタドライバがインストールされている場合は、次の画面は表示されません。この後は、画面の指示に従って設定してください。

4 ［ディスクからインストール］画面が表示されたら、［参照］をクリックします。

5 CD-ROM ドライブ内のお使いの OS 名のフォルダをダブルクリックし、［OK］をクリックします。

6 ［ディスクからインストール］画面に戻りますので、［OK］をクリックします。

7 プリンタの一覧から本機を選択し、［次へ］をクリックします。

下の画面が表示された場合は、必ず［新しいドライバに置き換える］を選択してください。

8 ［完了］をクリックします。

この後は、画面の指示に従ってセットアップを進めてください。
以上でインストールは終了です。

Windows Me 標準の IPP 印刷では、印刷実行時に本機でエラーが発生していると、印刷されないことがあります。このようなときは、エラー原因を取り除いてから再度印刷してください。

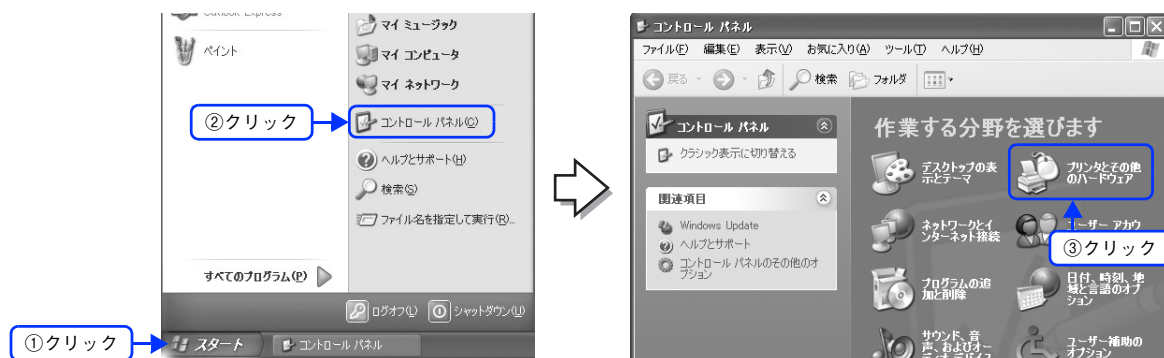
Windows 2000/XP/Server 2003

印刷方法に応じて以下のページを参照し、セットアップしてください。
☞ 本書 56 ページ「LPR 印刷でセットアップする」
☞ 本書 59 ページ「IPP 印刷でセットアップする」
☞ 本書 61 ページ「Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタ印刷でセットアップする」

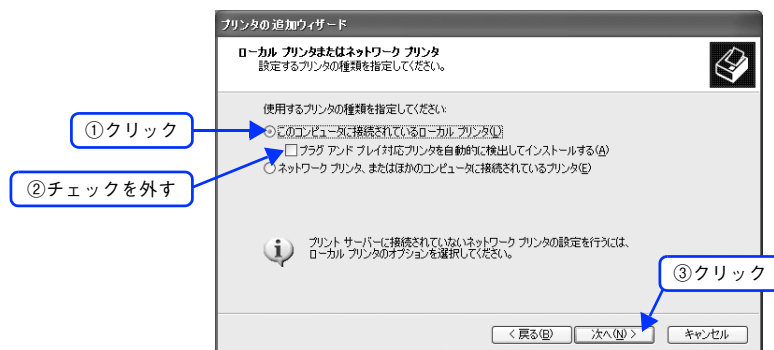
EpsonNet Print を使用する場合は手順が異なりますので、以下のページをご覧ください。
☞ 本書 72 ページ「EpsonNet Print の使い方」

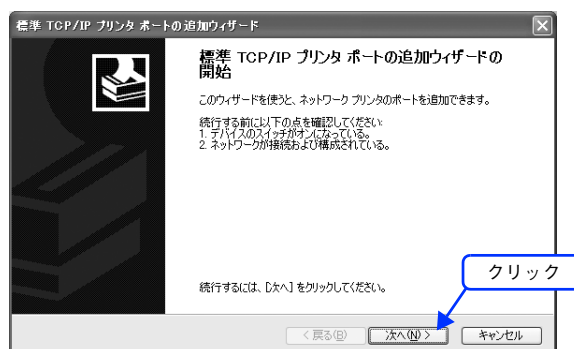
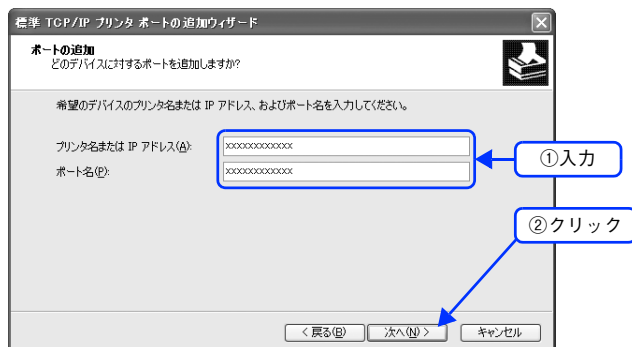
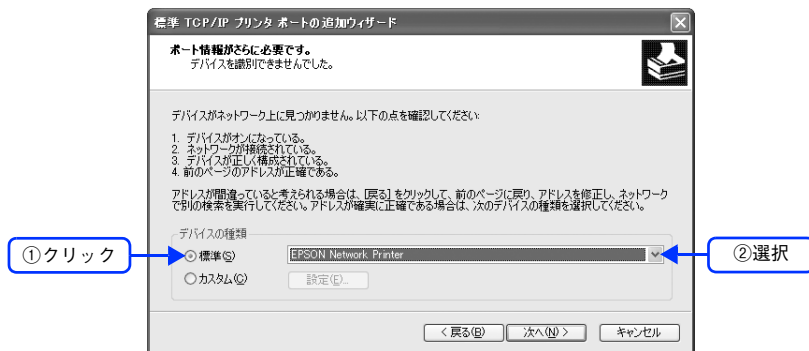
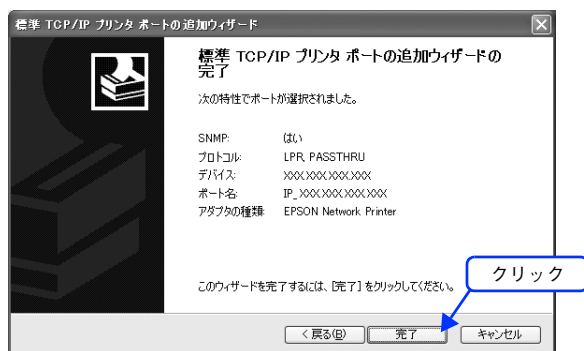
LPR 印刷でセットアップする

ここでは、Windows XP の画面を例に説明します。

1 **［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows 2000 の場合は、［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 **［プリンタを追加する］をクリックして、表示される画面で［次へ］をクリックします。**
Windows 2000/Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］をクリックします。

3 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択します。［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外し、［次へ］をクリックします。

Windows 2000 の場合は、［ローカルプリンタ］を選択します。［プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外し、［次へ］をクリックします。

4 ［新しいポートの作成］を選択します。［Standard TCP/IP Port］を選択し、［次へ］をクリックします。

5 ［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されたら、［次へ］をクリックします。

6 ［プリンタ名または IP アドレス］項目にネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

何らかの理由で本機が正しく検出できなかったときに下の画面が表示されます。このようなときは、［標準］を選択し、［EPSON Network Printer］を選択します。

7 ［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了］画面が表示されたら、［完了］をクリックします。

8 この後は以下のページに進んで、プリンタドライバをインストールします。

☞ 本書 63 ページ「プリンタドライバをインストールする」

IPP 印刷でセットアップする

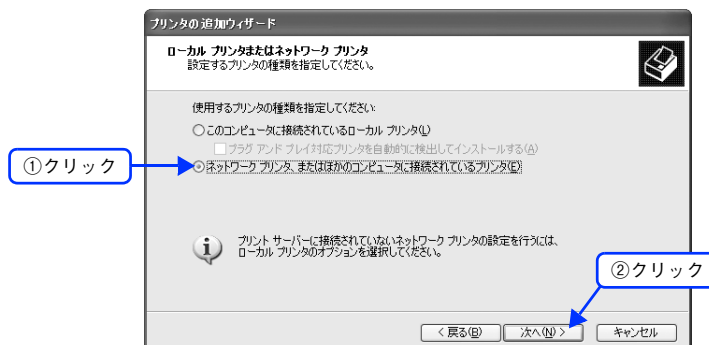
1 **［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**

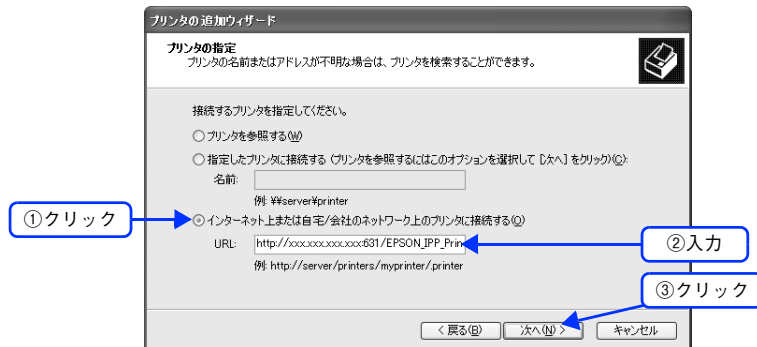
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows 2000 の場合は、［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 **［プリンタを追加する］をクリックして、表示される画面で［次へ］をクリックします。**

Windows 2000/Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］をクリックします。

3 **［ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。**

Windows 2000 の場合は、［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

4 **［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択します。ネットワークインターフェイスの URL を次の書式で入力し、［次へ］をクリックします。**

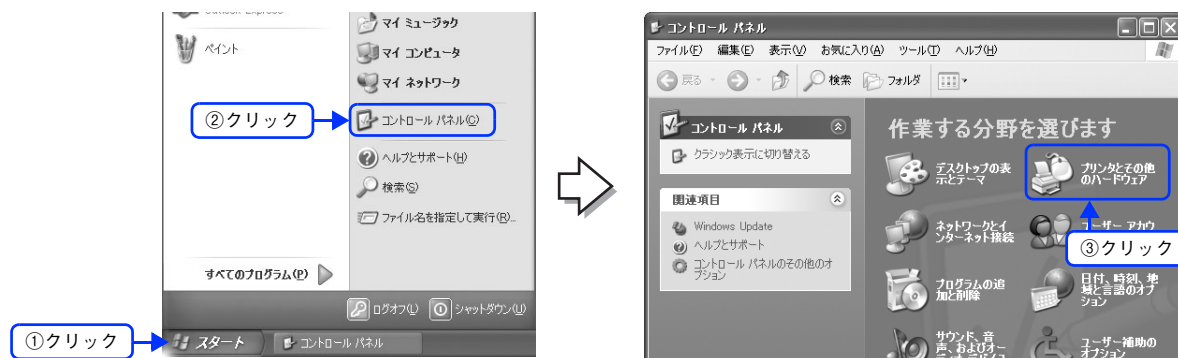
Windows 2000 の場合は、［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択します。ネットワークインターフェイスの URL を次の書式で入力し、［次へ］をクリックします。
書式）http:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス：631/EPSON_IPP_Printer

上記の EPSON_IPP_Printer は初期値です。ネットワークインターフェイスの設定値は、ネットワークステータスシートで確認できます。
本書 123 ページ「ネットワークステータスシートを印刷する」

5 **この後は以下のページに進んで、プリンタドライバをインストールします。**

本書 63 ページ「プリンタドライバをインストールする」

Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタ印刷でセットアップする

1 **［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**

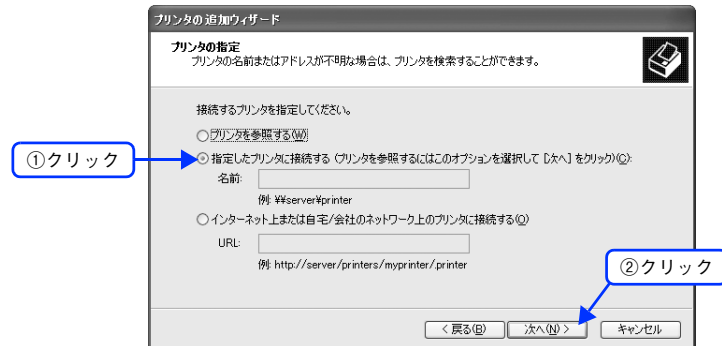
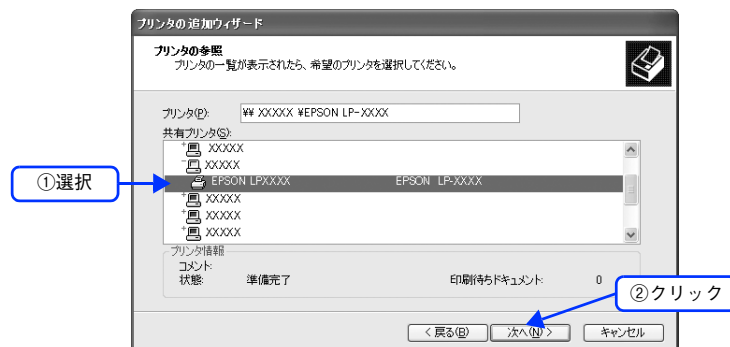
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows 2000 の場合は、［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 **［プリンタを追加する］をクリックして、表示される画面で［次へ］をクリックします。**

Windows 2000/Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］をクリックします。

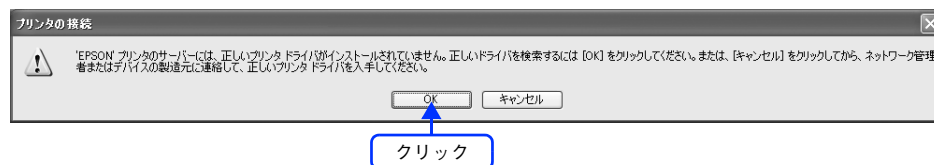
3 **［ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。**

Windows 2000 の場合は、［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

4 ［プリンタを参照する］または［指定したプリンタに接続する］を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows 2000 の場合は、［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］を選択し、［次へ］をクリックします。

5 表示されるリストから本機を選択して、［次へ］をクリックします。

ネットワークプリンタは次のように表示されます。

- Windows 2000/XP/Server 2003 で共有されている場合
  ドメイン・ワークグループ・サーバ名などをダブルクリックすると、その下に表示されます。
- Microsoft ネットワーク共有印刷をする場合
  ワークグループ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
  参照できない場合は、［プリンタ］欄に次のように入力します。
  ¥¥（ネットワークインターフェイスのプリントサーバ名）¥（ネットワークインターフェイス の共有名）
  これらの名前は、ネットワークステータスシートで確認してください。
  本書 123 ページ「ネットワークステータスシートを印刷する」

6 次の画面が表示された場合は、［OK］をクリックします。

上の画面が表示されなかった場合は、プリンタドライバのインストールは必要ありません。画面の指示に従って設定してください。

7 この後は次ページに進んで、プリンタドライバをインストールします。

本書 63 ページ「プリンタドライバをインストールする」

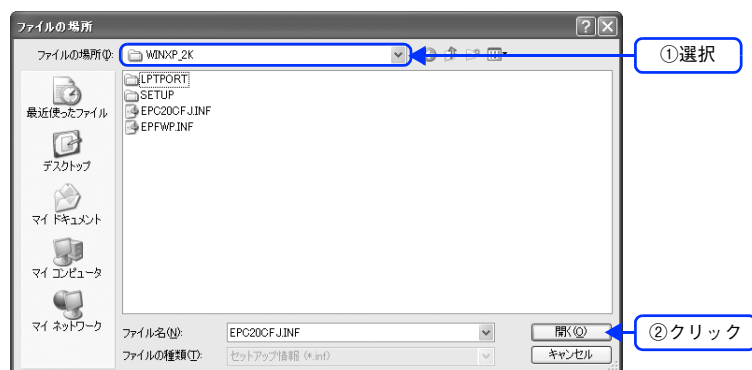
プリンタドライバをインストールする

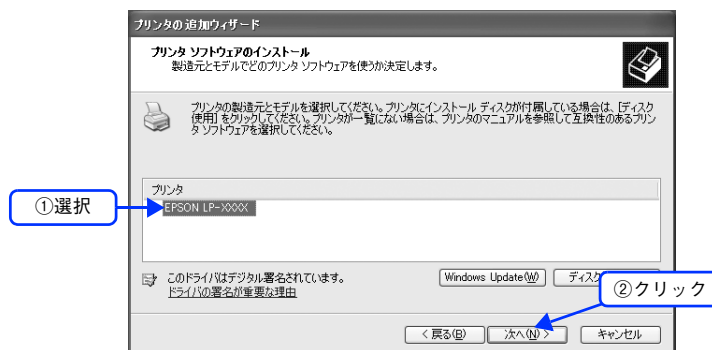
1 コンピュータに、本機付属の『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』をセットします。

2 画面が表示されたら、［インストール中止］をクリックして画面を閉じてください。

3 ［プリンタの追加ウィザード］画面で［ディスク使用］をクリックします。

4 ［フロッピーディスクからインストール］画面が表示されたら、［参照］をクリックします。

5 CD-ROM ドライブの［WINXP_2K］フォルダを選択して、［開く］をクリックます。

6 ［フロッピーディスクからインストール］画面に戻りますので、［OK］をクリックします。

7 プリンタの一覧から本機を選択し、［次へ］または［OK］をクリックします。

8 この後は、画面の指示に従って設定してください。

［デジタル署名が見つかりませんでした］という画面が表示されたときは、［はい］をクリックしてください。

本機をネットワーク共有する場合は、この後で設定する共有名をクライアントに知らせてください。クライアントが本機を利用するときに必要です。

以上でインストールは終了です。

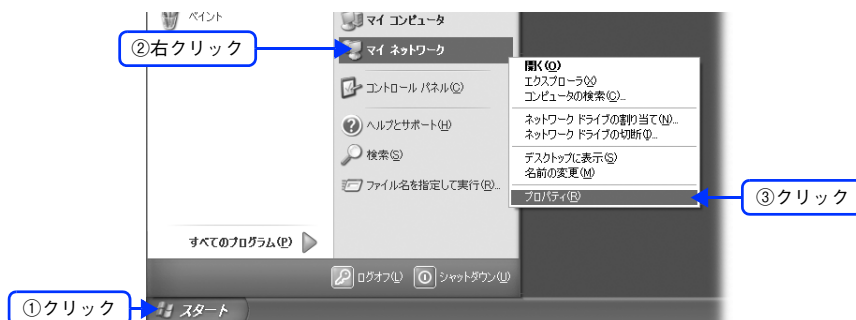
Windows 2000/XP/Server 2003 で Microsoft ネットワーク共有印刷する場合は、以下のページに進んでください。

☞ 本書 64 ページ「NET USE コマンドを実行する（MS Network）」

NET USE コマンドを実行する（MS Network）

Windows 2000/XP/Server 2003 で、MS Network を使って接続する場合は、NET USE コマンドを実行することをお勧めします。

1 ［スタート］をクリックして、［マイネットワーク］を右クリックし［プロパティ］をクリックします。

Windows Server 2003 の場合は、［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］の順にクリックします。
Windows 2000 の場合は、［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

2 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

3 表示された画面で、［Microsoft ネットワーク用クライアント］があることを確認します。

［Microsoft ネットワーク用クライアント］がない場合は、［インストール］をクリックして追加してください。

4 コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。

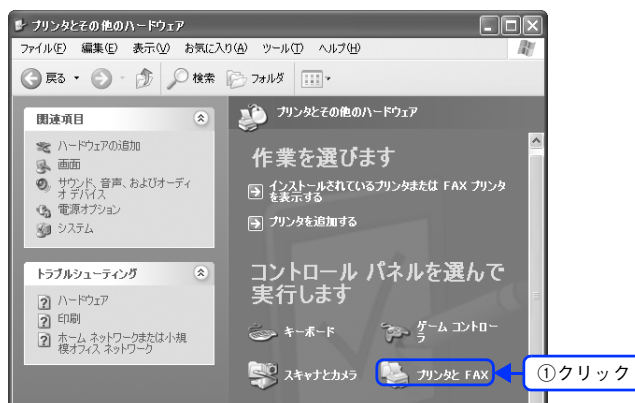
書式）NET_USE_ プリンタポート :_￥￥ネットワークインターフェイスのプリントサーバ名
￥ネットワークインターフェイスの共有名（_ は半角スペース）
例）LPT1 に設定する場合
C:￥>NET_USE_LPT1:_￥￥EPxxxxxx￥EPSON

ポートが正しく設定されたか確認します。この後は次のページに進んでください。
☞ 本書 65 ページ「ポートを確認する（MS Network）」

ポートを確認する（MS Network）

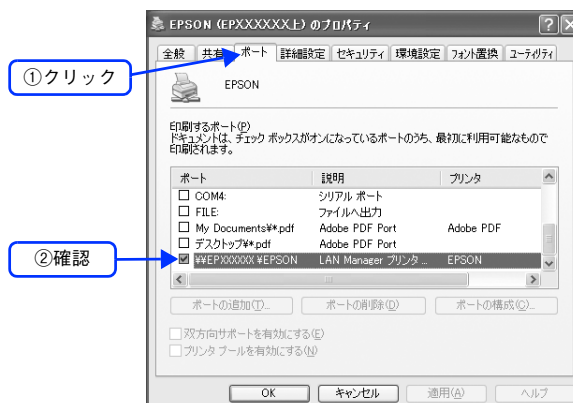
1 ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］の順にクリックします。

Windows Server 2003 の場合は、［スタート］-［プリンタと FAX］の順にクリックして、手順 **3** へ進みます。
Windows 2000 の場合は、［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックして、手順 **3** へ進みます。

2 ［プリンタと FAX］をクリックします。

3 本機のプリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

4 ［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートが正しく設定されているか確認します。

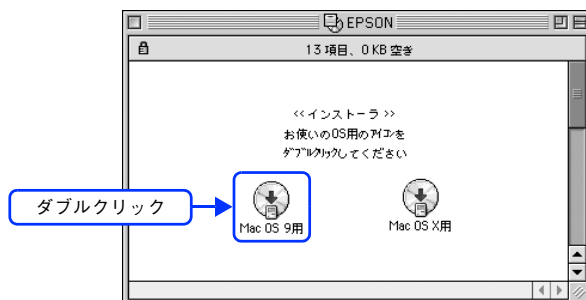
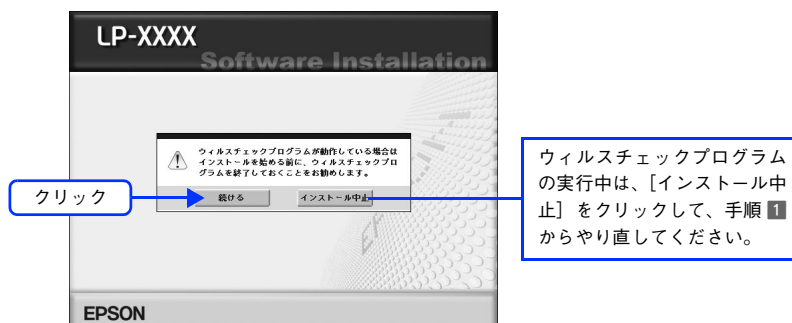
ここでのポートは、NET USE コマンドで実行したものです。

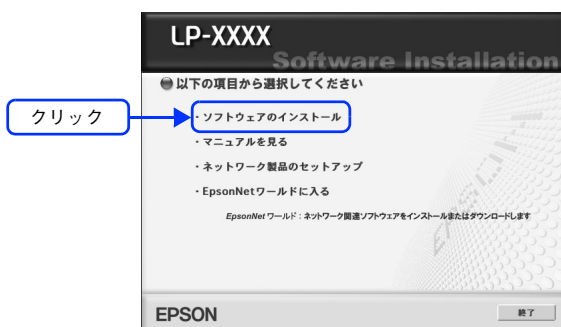
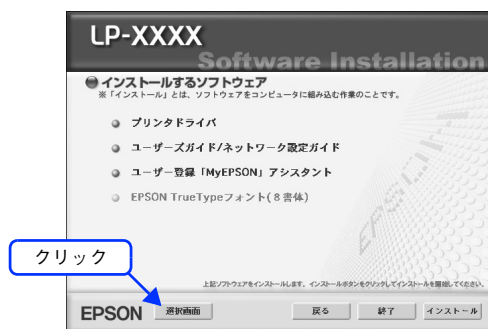
☞ 本書 64 ページ「NET USE コマンドを実行する（MS Network）」

以上で設定は終了です。

Mac OS 9.1 以降

プリンタドライバのインストール

1 本機付属の『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットします。

2 ［Mac OS 9 用］をダブルクリックします。

3 画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。

4 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認して［同意する］をクリックします。

5 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

6 ［選択画面］をクリックします。

7 ［プリンタドライバ］を選択して、［インストール］をクリックします。

8 この後は、画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

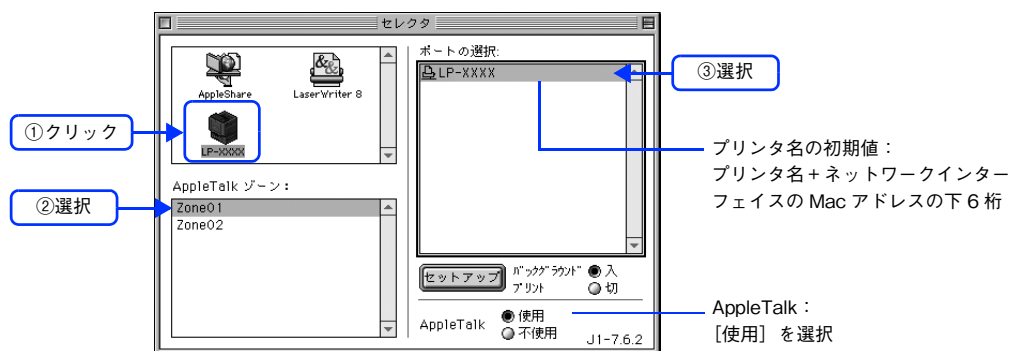
以上でインストールは終了です。

プリンタの選択

1 コンピュータを起動します。

2 ［アップル］メニューから［セレクタ］選択します。

3 本機のプリンタアイコンをクリックして、［Apple Talk ゾーン］と［ポートの選択］を選択します。

ネットワーク環境によっては、［Apple Talk ゾーン］は表示されません。

4 選択が終了したら、ダイアログ左上のクローズボックスをクリックします。

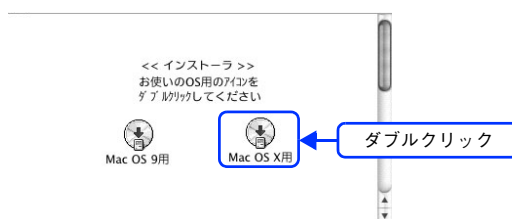
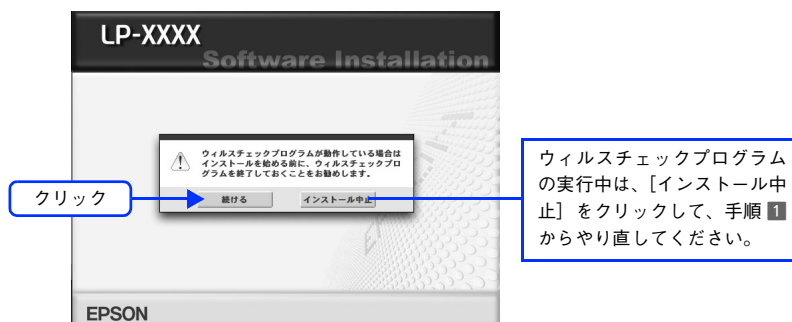
以上でインストールと設定は終了です。

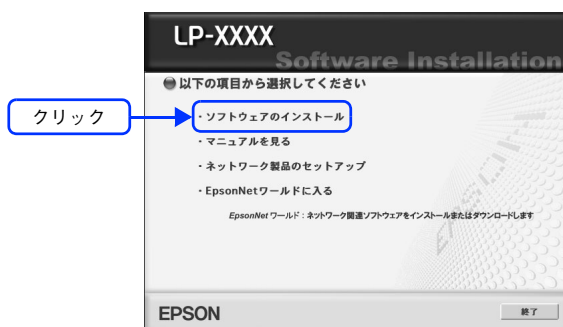
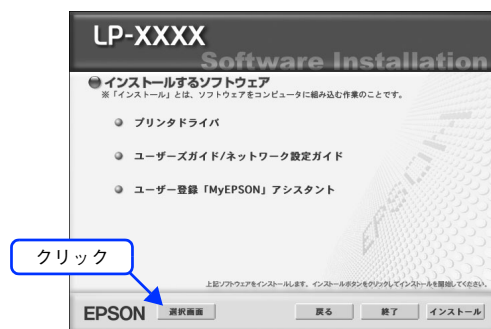
Mac OS X v10.2-v10.3

プリンタドライバをインストールした後に、プリンタをセットアップします。印刷プロトコルは、EPSON AppleTalk、EPSON TCP/IP、Rendezvous（Mac OS X v10.2.4 以降）の中から選択することができます。

■ プリンタドライバのインストール

1 本機付属の『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットします。

2 ［Mac OS X 用］をダブルクリックします。

3 画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。

4 使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認し［同意する］をクリックします。

5 ［ソフトウェアのインストール］をクリックします。

6 [選択画面] をクリックします。

7 [プリンタドライバ] を選択して、[インストール] をクリックします。

8 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

以上でインストールは終了です。

プリンタの追加

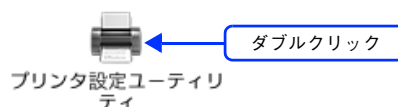
1 **本機の電源がオンになっていることを確認します。**

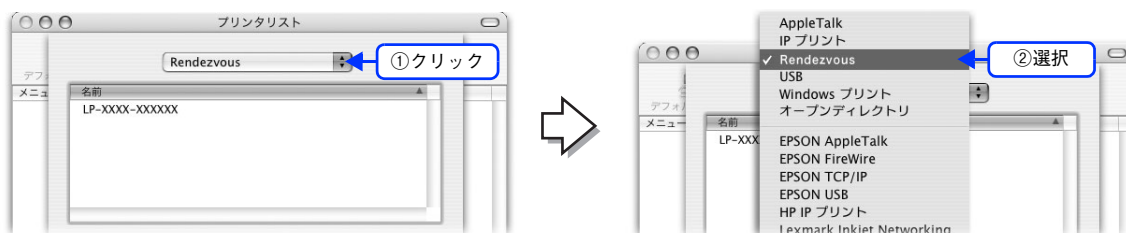
2 **［Macintosh HD］アイコンをダブルクリックします。**

［Macintosh HD］の名前を変更しているときは、Mac OS X を起動しているハードディスクアイコンをダブルクリックしてください。

3 **［アプリケーション］フォルダをクリックして、［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。**

4 **［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックします。**

Mac OS X v10.2 の場合は、［プリントセンター］アイコンをダブルクリックします。

5 **［プリンタリスト］またはメッセージ画面で［追加］をクリックします。**

6 **［プリンタリスト］画面のドロップダウンリストから、目的の印刷プロトコルを選択します。**

印刷プロトコル	選択する項目
TCP/IP	EPSON TCP/IP
AppleTalk	EPSON AppleTalk
Rendezvous	Rendezvous

- ［EPSON AppleTalk］での印刷は、コンピュータの［AppleTalk］が有効になっている必要があります。
  ☞本書 29 ページ「AppleTalk を設定する」
- ［EPSON TCP/IP］での印刷は、コンピュータとネットワークインターフェイスに IP アドレスなどの情報が設定されている必要があります。
  ☞本書 30 ページ「TCP/IP を設定する」
- Mac OS X v10.2.4 以降で可能な［Rendezvous］での印刷は、ネットワークインターフェイスの Rendezvous 機能が有効になっており、コンピュータとネットワークインターフェイスは DHCP や APIPA 機能で IP アドレスを自動で取得している必要があります。
  ☞本書 31 ページ「Rendezvous 機能を使用する」

7　本機を選択して、［追加］をクリックします。

以上で設定は終了です。

7 EpsonNet Printの使い方

EpsonNet Print の使い方を説明します。

EpsonNet Printの概要

EpsonNet Print は、ネットワークに接続した EPSON プリンタに、Windows から TCP/IP 直接印刷をする時に使うユーティリティです。次のような特長があります。

IP アドレスの自動追従（Ver.2.0 以降で対応）

ネットワークインターフェイスが、サーバやルータの DHCP 機能を使って IP アドレスを取得しているとき、その後 IP アドレスが変わっても、EpsonNet Print が IP アドレスを自動追従します。

- 製品に添付されているユーティリティのバージョンは「EpsonNet Print のインストール」の手順 9 で確認できます。
  最新版はエプソンのホームページ（h ttp://www.i-love-epson.co.jp/epsonnet）から入手することができます。
- IP アドレスを自動追従させるためには、ネットワークインターフェイスの IP アドレス設定を［自動］または［Auto］に設定してください。

Windows 98/Me での LPR 印刷

LPR 印刷を標準サポートしていない Windows に EpsonNet Print をインストールすることで、プリントサーバを経由せずに LPR による直接印刷ができるようになります。

ルータを超えた LPR プリント

ルータを越えた場所にあるプリンタ（別セグメントのプリンタ）を LPR プリンタとして使用することができます。

印刷速度の選択

印刷データの送信プロトコル（LPD/EPSON 拡張 LPD/RAW）を使い分けることで、印刷の速さを 3 段階から選ぶことができます。

ステータスの表示

Windows のスプーラ画面の上部に、本機のステータスを表示することができます。

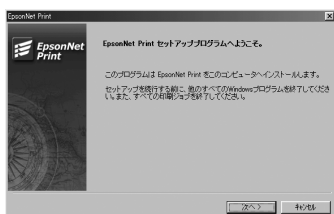
システム条件

- IBM PC/AT 互換機
- CPU：Pentium II 400MHz 以上
- ハードディスクの空き容量：20MB 以上
- 内蔵メモリ容量：RAM 64MB 以上
- 画面表示：SVGA （800 × 600）以上
- 対象 OS：Windows 98/Me/2000（サービスパック 4 以降）/XP（サービスパック 1 以降）/Windows Server 2003

- 旧印刷ツールのEpsonNet Direct PrintのVersion1.0またはVersion2.xと、同じコンピュータにインストールすることはできません。
  EpsonNet Direct Print の Version1.0 をお使いの場合は、EpsonNet Print をインストールする前に、EpsonNet Direct Print の Version1.0 をアンインストール（削除）してください。
  EpsonNet Direct Print の Version2.x をお使いの場合は、EpsonNet Print をインストールすると、警告のメッセージが表示されます。画面の指示に従って EpsonNet Direct Print Version2.x をアンインストール（削除）してください。
- Windows 2000/XP/Server 2003は、EpsonNet Printをインストールしなくても、Windows標準LPRを使用して LPR 印刷することができます。ただし、IP アドレスの自動追従やステータスの表示など本ユーティリティ固有の機能は、使用することはできません。

セットアップの流れ

EpsonNet Print をお使いいただくための、作業の流れを説明します。

1 EpsonNet Print のインストール

コンピュータに EpsonNet Print をインストールします。
本書 75 ページ「EpsonNet Print のインストール」

2 コンピュータの設定

Windows 98/Me の場合

本機のプリンタドライバを任意のポート（LPT1 など）を選択しインストールします。
プリンタドライバのインストール完了後、プリンタのプロパティを開いて、プリンタポートの設定を、EpsonNet Print のインストールで作成されたポート「EpsonNet Print Port」に変更します。

①プリンタドライバのインストール
本書 79 ページ「プリンタドライバのインストール」
②プリンタポートの作成と設定変更
本書 81 ページ「プリンタポートの作成と設定変更」

EpsonNet Print は、本機を使用するすべてのコンピュータ（Windows 98/Me）にインストールしてください。

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

「EpsonNet Print Port」を作成してから、本機のプリンタドライバをインストールします。

①プリンタポートの作成
本書 85 ページ「プリンタポートの作成」
②プリンタドライバのインストール
本書 56 ページ「Windows 2000/XP/Server 2003」

本機を共有する手順については、本機に付属の『ユーザーズガイド』（PDF）を参照してください。

3 EpsonNet Print の設定

必要に応じて EpsonNet Print から印刷データを送信する方法などの設定を行います。
本書 94 ページ「印刷方式を変更する」

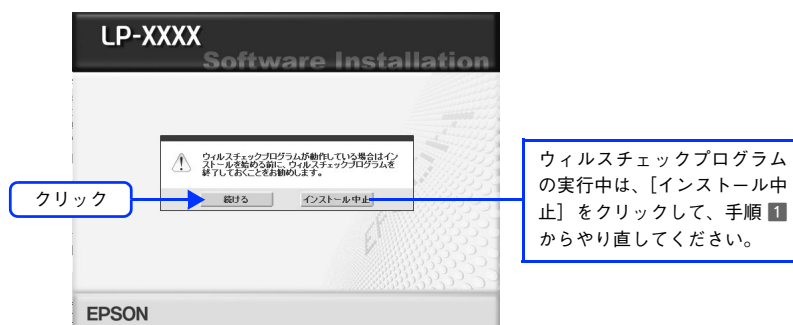
EpsonNet Printのインストール

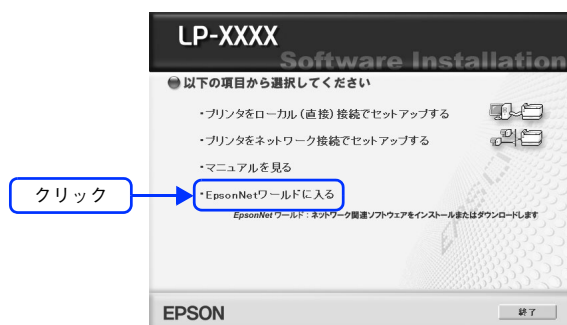
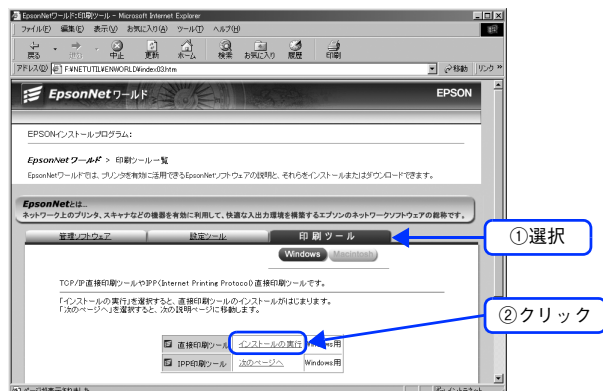
EpsonNet Print のインストール方法を Windows 98 の画面で説明します。
EpsonNet Print をインストールすると新しいプリンタポート（EpsonNet Print Port）が作成され、このポートを使うことで Windows 98 など標準で LPR ポートを持たない Windows でもネットワーク直接印刷ができるようになります。

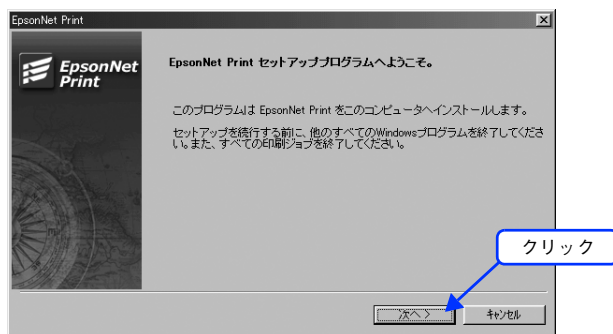
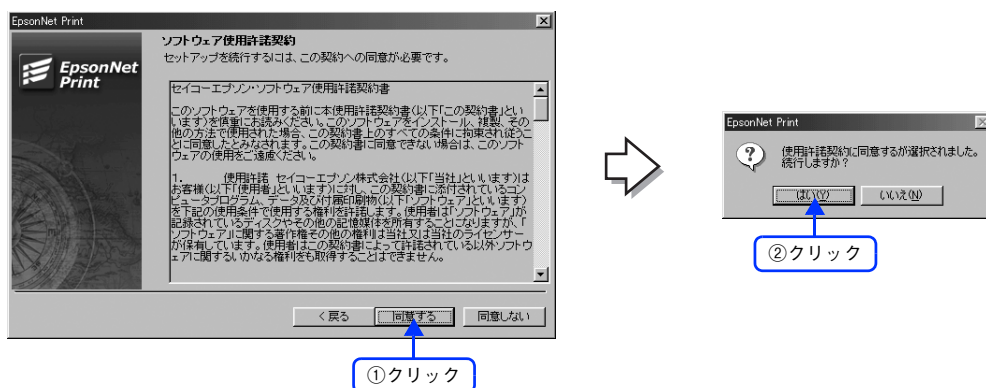
- Windows 2000/XP/Server 2003 にインストールするには、管理者の権限を持つユーザでログオンしてください。
- Windows 98/Me の場合は、本機を使用するすべてのコンピュータ（Windows 98/Me）に EpsonNet Print をインストールしてください。
- Windows 98/Me の場合は、『セットアップガイド』（紙マニュアル）の手順に従ってネットワークの設定が終了していれば、EpsonNet Print のインストールは不要です。

1 **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

2 **コンピュータに『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』をセットします。**

3 **画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。**

4 **使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認して［同意する］をクリックします。**

5 **［EpsonNet ワールドに入る］をクリックします。**

6 ［印刷ツール］タブをクリックし、［直接印刷ツール］の［インストールの実行］をクリックします。

お使いのコンピュータによっては［ファイルのダウンロード - セキュリティの警告］ダイアログが表示されることがあります。ダイアログが表示されたときは次の手順に従ってください。
① ［実行］または［開く］をクリックします。
② さらに画面が表示された場合は［実行する］をクリックします。

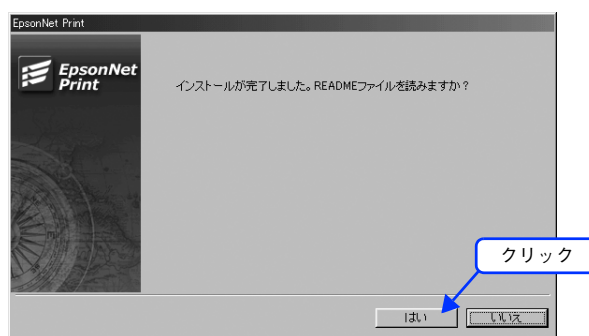
7 ［次へ］をクリックします。

8 ［ソフトウェア使用許諾契約］画面の内容を確認して、［同意する］をクリックします。確認画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

EpsonNet DirectPrint の Version 2.x がインストールされていると、インストールの続行を確認する画面が表示されます。［OK］をクリックすると、EpsonNet DirectPrint Version 2.x をアンインストールしてから、インストールを続行します。

9 ［アプリケーションのインストール］画面の内容を確認して、［インストール］をクリックします。

インストール画面が表示され、インストールが始まります。

- 旧バージョンの EpsonNet Print がインストールされていると、上書きインストールを確認する画面が表示されます。［OK］または［はい］をクリックしてください。
- 同じバージョンの EpsonNet Print がインストールされていると、インストールの終了を確認する画面が表示されます。［OK］をクリックしてください。

10 ［はい］をクリックします。

Read Me ファイルを読まない場合は、［いいえ］をクリックします。
EpsonNet DirectPrint をアンインストールしたときは、再起動が必要です。
ウィルスチェックプログラムを終了または停止した場合は、セキュリティ確保のためウィルスチェックプログラムを再開してください。

以上で EpsonNet Print のインストールは終了です。

この後は次ページに進んでください。

プリンタの接続と設定

EpsonNet Print のインストールが終了したら、LPR 印刷するための設定をします。

TCP/IP 設定を確認する

1 設定に使うコンピュータに、TCP/IP が正しく設定されていることを確認します。

☞ 本書 19 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

2 本機のネットワークインターフェイスに、工場出荷時設定（192.168.192.168）以外の IP アドレスが設定されていることを確認します。

IP アドレスはネットワークステータスシートを印刷すると確認できます。

☞ 本書 123 ページ「ネットワークステータスシート」

- IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者に値を確認してください。IP アドレスがわからない場合は以下のページをご覧ください。
  ☞ 本書 111 ページ「設定する IP アドレスがわからない」
- 工場出荷時、IP アドレスは［192.168.192.168］に設定されていますが、製品の仕様上、初期の状態のままでは使用できません。この IP アドレスを使用する場合は、初期値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。

参考

ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、本機の操作パネルや本機付属のユーティリティで設定する必要があります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスの設定方法については、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 41 ページ「ネットワークインターフェイス設定」

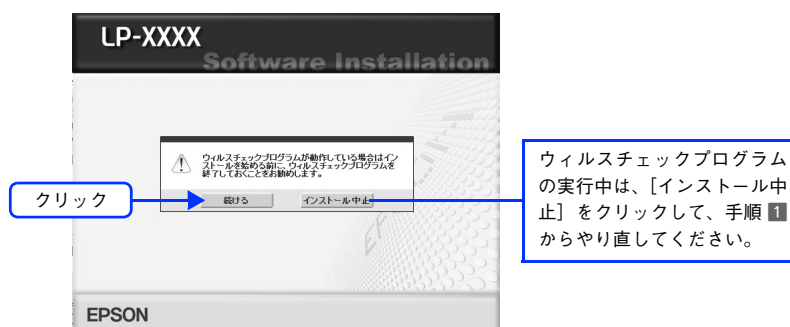
Windows 98/Me でセットアップする

■ プリンタドライバのインストール

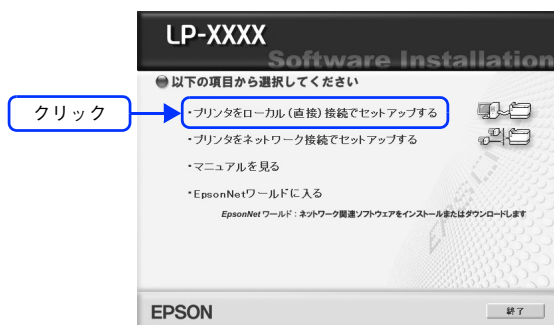
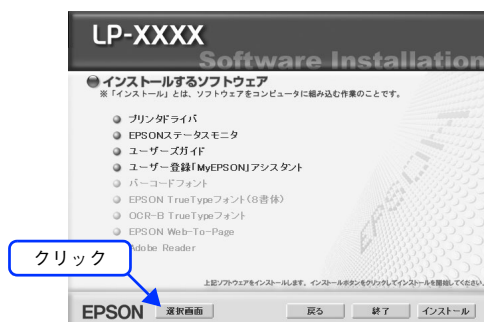
プリンタドライバをインストールした後、EpsonNet Print Port を作成します。Windows 98 の画面で説明します。

1 **ウィルスチェックプログラムが起動している場合は停止させます。**

2 **コンピュータに『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』をセットします。**

3 **画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。**

上の画面が自動的に表示されないときは、［マイコンピュータ］内の CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。

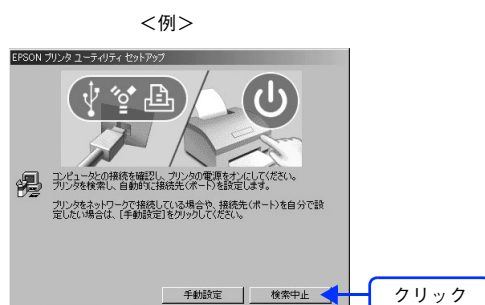
4 **使用許諾契約書の画面が表示された場合は、内容を確認し［同意する］をクリックします。**

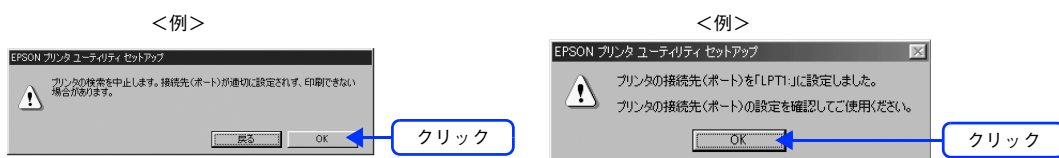
5 **［プリンタをローカル（直接）接続でセットアップする］をクリックします。**

6 **[選択画面] をクリックします。**

7 ［プリンタドライバ］を選択して、［インストール］をクリックします。

8 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

9 次のような画面が表示された場合は、［検索中止］または［キャンセル］をクリックしてください。

EpsonNet Print を使用する場合、プリンタポートの設定を手動で行うため、設定は不要です。

<例>

［検索中止］または［キャンセル］をクリックすると、次のような画面が表示されることがあります。［OK］をクリックしてください。

<例> <例>

10 ［終了］をクリックします。

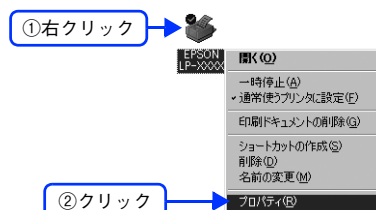
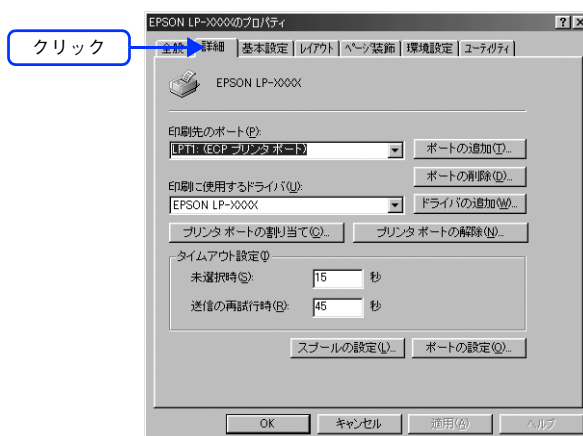
プリンタドライバのインストールが終了したら、LPR 印刷を行うためのプリンタポートの設定を変更します。
次ページに進みます。

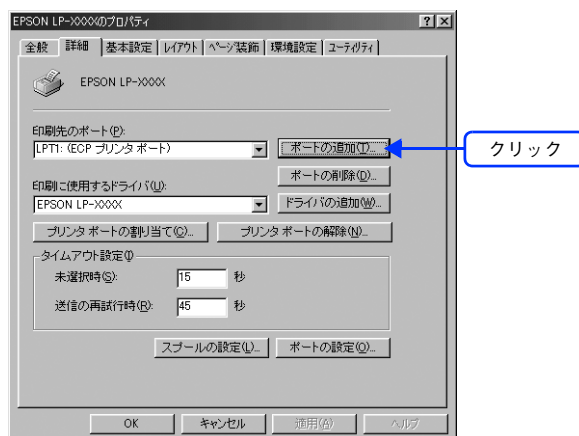
！注意 プリンタポートの設定を行わないと、EpsonNet Print で印刷することはできませんので、必ず設定してください。

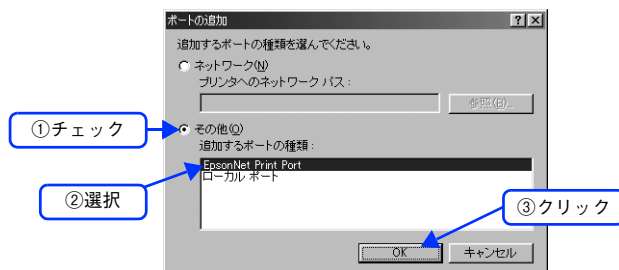
ウィルスチェックプログラムを終了または停止した場合は、セキュリティ確保のためウィルスチェックプログラムを再開してください。

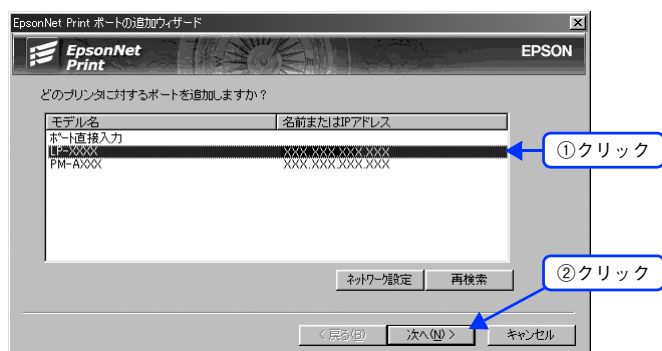
プリンタポートの作成と設定変更

1 ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 インストールされた本機を右クリックして、［プロパティ］を選択します。

3 表示された画面の［詳細］タブをクリックします。

4 ［ポートの追加］をクリックします。

［ポートの追加］画面が表示されます。

5 ［その他］をチェックし、［EpsonNet Print Port］を選択して、［OK］をクリックします。

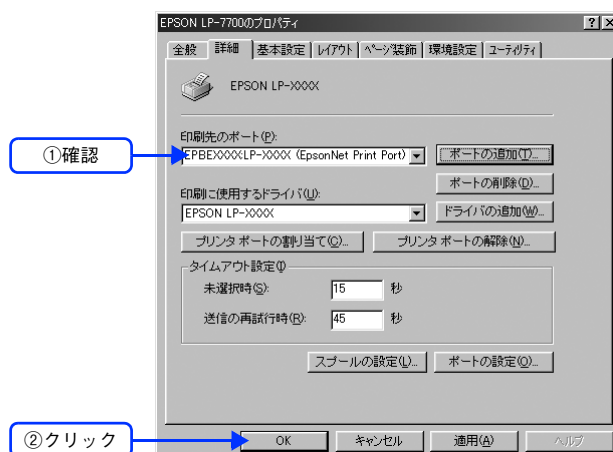
［EpsonNet Print ポートの追加ウィザード］画面が表示されます。

6 本機のモデル名をクリックして、［次へ］をクリックします。

本機のモデル名が表示されないときは、本機の電源がオンになっているか確認して［再検索］をクリックするか、［ポート直接入力］をクリックしてアドレスを指定してください。

- ［ポート直接入力］については、以下を参照してください。
  本書 93 ページ「ネットワークプリンタのアドレスを直接指定する」
- 別セグメントのネットワークプリンタを指定したいときは、［ネットワーク設定］をクリックして設定します。
  本書 91 ページ「ネットワークプリンタの探索方法を変更する」
- ［ネットワーク設定］をクリックして設定を変更したときやポートの追加作業中に本機の電源をオンにしたときは、［再検索］をクリックしてください。

7 画面の内容を確認して、［完了］をクリックします。

［ポートタイプ選択］一覧でポートタイプを選択することができます。通常は変更する必要はありません。
各項目の説明は、下表を参照してください。

項目名		内容
［ポートタイプ選択］		作成するポートのタイプを選択できます。ネットワークインターフェイスの設定に応じて、次の項目が選択できます。
	IP アドレス（自動）	使用するコンピュータとプリンタが同一セグメント内にあり、ネットワークインターフェイスの［IP アドレスの設定方法］が［自動］になっている場合に選択できます。 ネットワークインターフェイスの IP アドレスが変更されても、ポートと IP アドレスが自動的に関連付けられるため、IP アドレスが変わるたびに使用するコンピュータのポート名を変更する必要がありません。
	IP アドレス（固定）	ネットワークインターフェイスが固定アドレスのときに選択します。DHCP サーバなどにより各アドレスを自動で取得しているときは、選択しないでください。
	DNS 登録名	DNSサーバにネットワークインターフェイスのホスト名を登録しているときに選択できます。
	MS Network	Microsoft ネットワーク共有印刷（MS Network）で使用しているときに選択できます。
ポート名		［ポートタイプ選択］で選択した項目によって次のように表示します。 ［IP アドレス（自動）］　：ホスト名（ネットワークインターフェイス名 EPXXXXXX）：プリンタ名 ［IP アドレス（固定）］　：IP アドレス：プリンタ名 ［DNS 登録名］　：ホスト名（DNS 登録済み）：プリンタ名 ［MS Network］　：ホスト名（NetBIOS）：プリンタ名
モデル名		プリンタ名を表示します。
名前または IP アドレス		［ポートタイプ選択］リストで選択した項目によって次のように表示します。 ［IP アドレス（自動）］　：IP アドレス ［IP アドレス（固定）］　：IP アドレス ［DNS 登録名］　：ホスト名（DNS 登録済み） ［MS Network］　：ホスト名（NetBIOS）
プロトコル		使用プロトコル（拡張 LPR）を表示します。

8 印刷先のポートを確認して、［OK］をクリックします。

以上でプリンタポートの設定は終了です。

印刷方法を設定する場合は、以下のページに進んでください。

☞ 本書 94 ページ「印刷方式を変更する」

Windows 2000/XP/Server 2003 でセットアップする

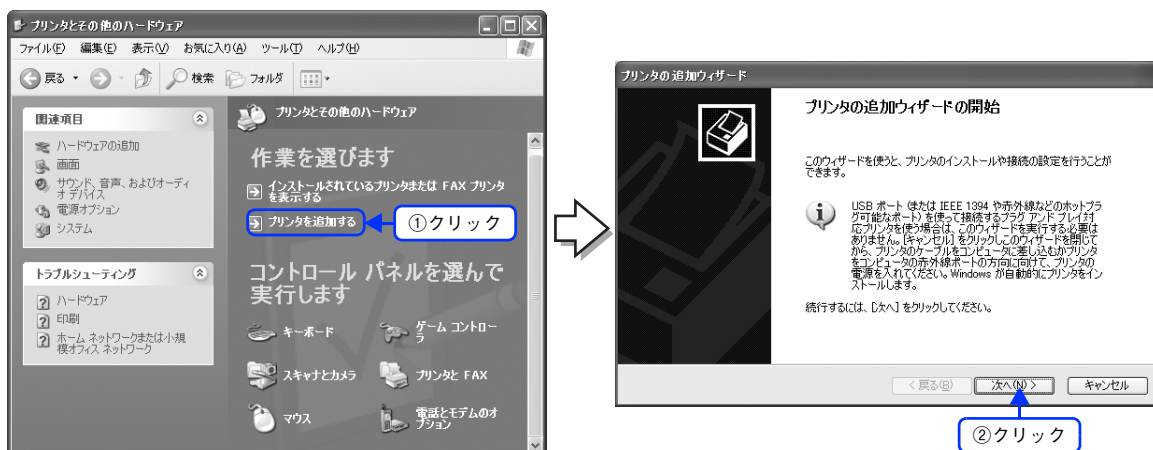
プリンタポート（EpsonNet Print Port）を作成した後、プリンタドライバをインストールします。Windows XP の画面で説明します。

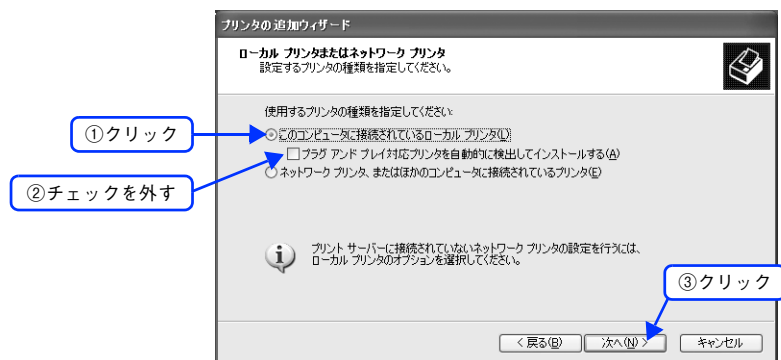
■ プリンタポートの作成

1 **［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。**

Windows Server 2003 の場合は、［スタート］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows 2000 の場合は、［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

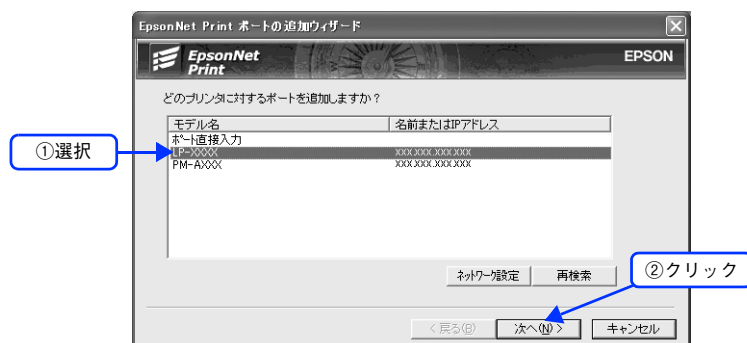
2 **［プリンタを追加する］をクリックして、表示される画面で［次へ］をクリックします。**

Windows 2000/Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］をクリックします。

3 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択し、［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリックします。

Windows 2000の場合は、［ローカルプリンタ］を選択し、「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外して、［次へ］をクリックします。

4 ［新しいポートの作成］を選択します。［EpsonNet Print Port］を選択して、［次へ］をクリックします。

お使いのWindowsによっては［Windowsセキュリティの重要な警告］ダイアログが表示されます。［ブロックを解除する］をクリックしてください。

5 本機のモデル名をクリックして、［次へ］をクリックします。

本機のモデル名が表示されないときは、本機の電源がオンになっているか確認して［再検索］をクリックするか、［ポート直接入力］をクリックしてアドレスを指定してください。

- ［ポート直接入力］については、以下を参照してください。
  ☞ 本書 93 ページ「ネットワークプリンタのアドレスを直接指定する」
- 別セグメントのネットワークプリンタを指定したいときは、［ネットワーク設定］をクリックして設定します。
  ☞ 本書 91 ページ「ネットワークプリンタの探索方法を変更する」
- ［ネットワーク設定］をクリックして設定を変更したときやポートの追加作業中に本機の電源をオンにしたときは、［再検索］をクリックしてください。
- 手順 5 で表示された［Windows セキュリティの重要な警告］ダイアログで［ブロックする］を選択した場合は、コンピュータと同じセグメントにあるネットワークアドレスのプリンタのみを表示します。異なるネットワークアドレスのプリンタを表示したいときは、［コントロールパネル］の［Windows ファイアウォール］で設定を変更してください。

6 画面の内容を確認して、［完了］をクリックします。

［ポートタイプ選択］一覧でポートタイプを選択することができます。通常は変更する必要はありません。
各項目の説明は、下表を参照してください。

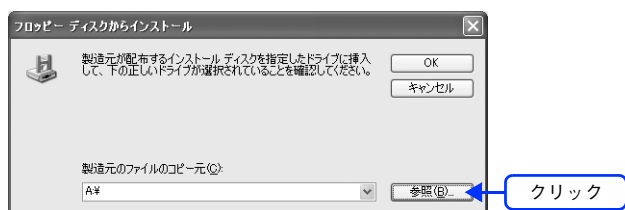
項目名		内容
［ポートタイプ選択］		作成するポートのタイプを選択できます。ネットワークインターフェイスの設定に応じて、次の項目が選択できます。
	IP アドレス（自動）	使用するコンピュータとプリンタが同一セグメント内にあり、ネットワークインターフェイスの［IP アドレスの設定方法］が［自動］になっている場合に選択できます。 ネットワークインターフェイスの IP アドレスが変更されても、ポートと IP アドレスが自動的に関連付けられるため、IP アドレスが変わるたびに使用するコンピュータのポート名を変更する必要がありません。
	IP アドレス（固定）	ネットワークインターフェイスが固定アドレスのときに選択します。DHCP サーバなどにより各アドレスを自動で取得しているときは、選択しないでください。
	DNS 登録名	DNSサーバにネットワークインターフェイスのホスト名を登録しているときに選択できます。
	MS Network	Microsoft ネットワーク共有印刷（MS Network）で使用しているときに選択できます。
ポート名		［ポートタイプ選択］リストで選択した項目によって次のように表示します。 ［IP アドレス（自動）］　：ホスト名（ネットワークインターフェイス名 EPXXXXXX）：プリンタ名 ［IP アドレス（固定）］　：IP アドレス：プリンタ名 ［DNS 登録名］　：ホスト名（DNS 登録済み）：プリンタ名 ［MS Network］　：ホスト名（NetBIOS）：プリンタ名
モデル名		プリンタ名を表示します。
名前または IP アドレス		［ポートタイプ選択］リストで選択した項目によって次のように表示します。 ［IP アドレス（自動）］　：IP アドレス ［IP アドレス（固定）］　：IP アドレス ［DNS 登録名］　：ホスト名（DNS 登録済み） ［MS Network］　：ホスト名（NetBIOS）
プロトコル		使用プロトコル（拡張 LPR）を表示します。

プリンタドライバのインストール

1. 本機に付属の『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットします。

2. 画面が表示されたら、［インストール中止］をクリックして画面を閉じてください。

3. ［プリンタの追加ウィザード］または［プリンタウィザード］画面で［ディスク使用］をクリックします。

4. ［フロッピーディスクからインストール］画面が表示されたら、［参照］をクリックします。

5. ［ WINXP_2K］フォルダを選択して、［開く］をクリックします。

OS 環境	選択するフォルダ名
Windows 2000/XP/Server 2003	WINXP_2K

6 ［フロッピーディスクからインストール］画面に戻りますので、［OK］をクリックします。

7 プリンタの一覧から本機のモデル名を選択し、［次へ］をクリックします。

8 この後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

［デジタル署名が見つかりませんでした］という画面が表示されたら、［続行］または［はい］をクリックしてください。

- 本機をネットワーク共有する場合は、この後で設定する共有名をクライアントコンピュータの使用者に知らせてください。クライアントコンピュータから本機を利用するときに必要です。
- EPSON ステータスモニタをインストールされる方は、次の手順に従ってください。
  ①本機付属の『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』をコンピュータにセットし、画面の指示に従って進めます。
  ②「プリンタをネットワーク接続でセットアップする」をクリックします。
  ③インストールするソフトウェアの確認画面が表示されたら、［選択画面］をクリックします。
  ④ソフトウェアの選択画面で、［EPSON ステータスモニタ］をチェックして、［インストール］をクリックします。
  ⑤この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

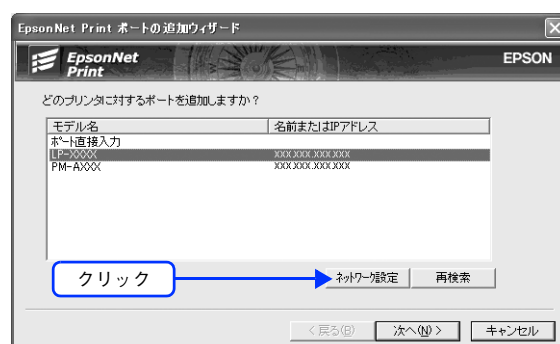
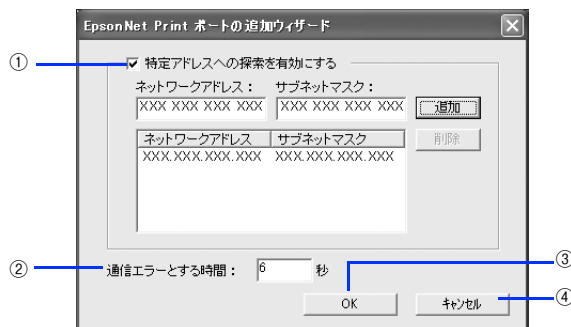
以上で Windows 2000/XP/Server 2003 での設定は終了です。

印刷方法を設定する場合は、以下のページに進んでください。
☞ 本書 94 ページ「印刷方式を変更する」

その他の機能

ネットワークプリンタの探索方法を変更する

画面の表示方法

［EpsonNet Print ポートの追加ウィザード］の［ネットワーク設定］をクリックすると表示されます。

項目の説明

	項目名	内容
①	特定のアドレスの探索を有効にする	チェックを付けると指定したセグメント内の EPSON プリンタを探索することができます。[ネットワークアドレス]と[サブネットマスク]を入力して、[追加]をクリックします。
	ネットワークアドレス	探索するセグメントの IP アドレスを入力します。 例）192.168.2.0
	サブネットマスク	探索するセグメントのネットワークアドレスのクラスに応じたサブネットマスクを入力します。 例）255.255.255.0
	[追加]	入力されたネットワークセグメント（ネットワークアドレスとサブネットマスク）を一覧に追加します。
	[削除]	一覧で選択された項目を削除します。
②	通信エラーとする時間	EPSON プリンタに対してパケットを発信してから、返信が届くまでの待機時間を 2 ～ 120（初期値は 6）までの間で設定します。ここで設定した時間を超えて返信がない場合はエラーとなります。
③	[OK]	設定を有効にして、画面を閉じます。
④	[キャンセル]	設定を取り消して、画面を閉じます。

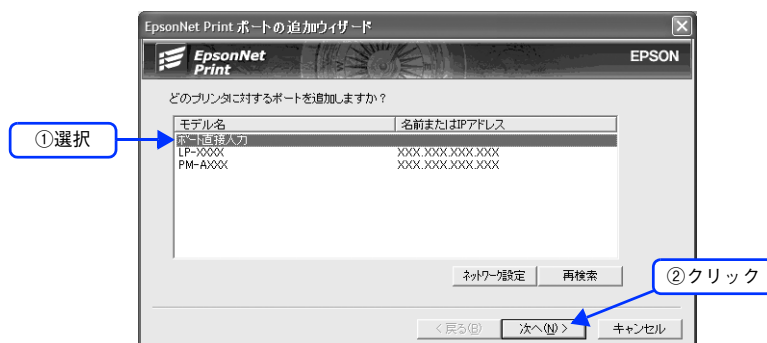
EpsonNet Print をインストールしたコンピュータがクラス B ネットワークアドレス（128.0.0.0 ～ 191.255.255.255）で設定されていると、クラス C ネットワークアドレス（192.0.0.0 ～ 223.255.255.255）で設定したネットワークプリンタが検索されないことがあります。このようなときはプリンタの IP アドレスを直接入力してポートを作成してください。

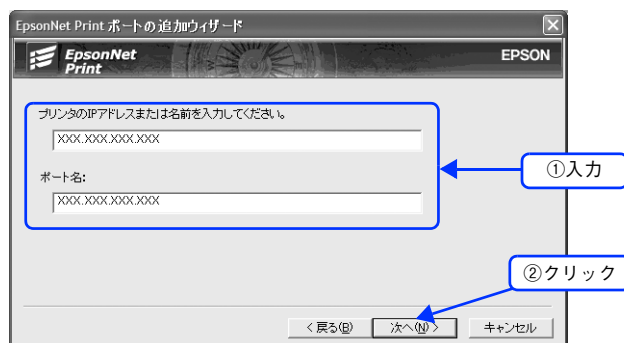
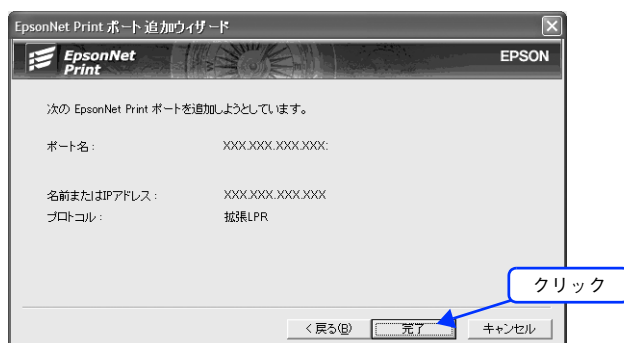
☞ 本書 93 ページ「ネットワークプリンタのアドレスを直接指定する」

ネットワークプリンタのアドレスを直接指定する

本機に固定アドレスを設定している場合や、ローカルエリアネットワークの事情でネットワークプリンタの検索でも本機が表示されない場合は、[ポート直接入力] を使用してポートを作成します。ここでは、Windows XP の画面で説明します。

アドレスを自動取得しているときは、この機能を使用しないでください。

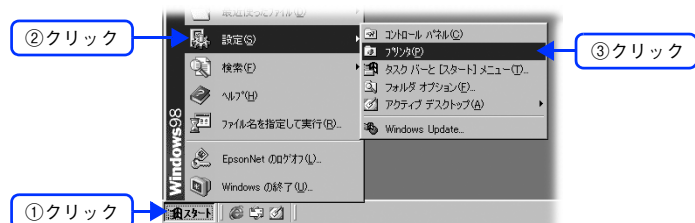
1 [ポート直接入力] を選択して、[次へ] をクリックします。

2 次の表を参考に、各項目を入力して [次へ] をクリックします。

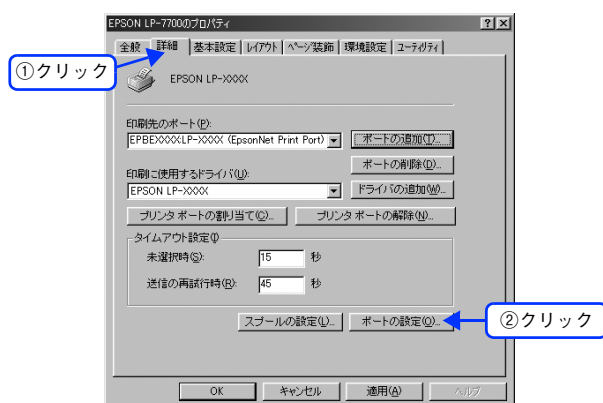
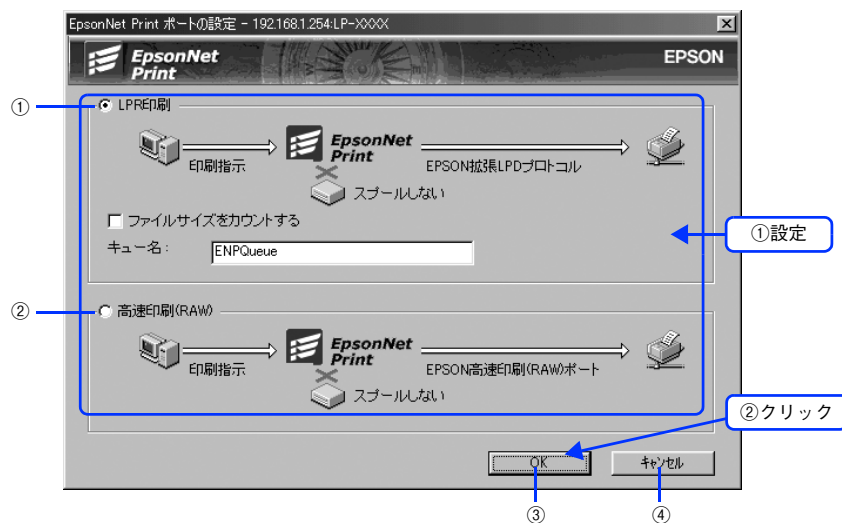
項目名	内容
プリンタのIPアドレスまたは名前を入力してください。	プリンタを指定するための IP アドレス／ホスト名／ FDQN のいずれかを、半角英数 127 文字以内で入力します。
ポート名：	[プリンタの IP アドレスまたは名前を入力してください。] に入力した文字列に「：」を付加し、自動的に表示します。

3 画面の内容を確認して、[完了] をクリックします。

以上で設定は終了です。

印刷方式を変更する

印刷データの送信方法などを設定することができます。Windows 98 の画面で説明します。

1 **［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。**

Windows XP の場合は、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。

2 **プリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。**

3 **プロパティの画面で、［詳細］タブにある［ポートの設定］（Windows 2000/XP/Server 2003 は、［ポート］タブの［ポートの構成］）をクリックします。**

4 印刷方式を選択して、［OK］をクリックします。

	項目名		内容
①	LPR 印刷		EPSON 拡張 LPD プロトコル（拡張印刷）を使用して、印刷データを直接プリンタに送信します。「ファイルサイズをカウントする」をチェックしたときより高速に印刷できます。
		ファイルサイズをカウントする	チェックすると、LPD プロトコルを使用して、印刷データをコンピュータに一旦スプールしてからプリンタに送信します。
		キュー名	印刷キューに名前を付けることができます。 通常は変更する必要はありません。
②	高速印刷（RAW）		最も高速に印刷したいときに選択します。 LPR 印刷で使用する LPD プロトコルを使わずに印刷します。
③	［OK］		設定を有効にして、画面を閉じます。
④	［キャンセル］		設定を取り消して、画面を閉じます。

以上で設定は終了です。

8 EpsonNet Config（Web）の使い方

EpsonNet Config（Web）の使い方を説明します。

EpsonNet Config(Web)の概要

EpsonNet Config（Web）は、Web ブラウザからネットワークインターフェイスおよびプリンタを設定するためのユーティリティです。また、本機の操作パネルで行う各種項目も、本ユーティリティ経由で設定できます。
コンピュータにブラウザがインストールされ、コンピュータとネットワークインターフェイス の IP アドレスが設定されていれば、お使いいただけます。

また、EpsonNet Config（Web）では、ネットワークインターフェイス の TCP/IP、AppleTalk、MS Network、SNMP、Time を設定できます。

動作環境

EpsonNet Config（Web）は、次の環境で動作します。

システム条件(コンピュータ)

下記の対象 Web ブラウザが動作する環境

対象 Web ブラウザ

- Internet Explorer Ver.4.01 以降
- Netscape Navigator Ver.4.05 以降（Windows）
- Netscape Navigator Ver.7.0 以降（Mac OS）
- Netscape Communicator 4.0 以降
- Apple Safari Ver.1.2 以降

!注意

- Web ブラウザには、［LAN を使用しての接続］ を設定してください。また、ネットワークインターフェイスの URL（IP アドレス）には、プロキシを使用しない設定をしてください。
本書 48 ページ「Web ブラウザの設定に関する注意」
- ダイヤルアップ環境でお使いの際に注意が必要です。以下のページをご覧ください。
本書 46 ページ「ダイヤルアップルータ使用時の注意」

ネットワークインターフェイス

IP アドレスが設定されていることが条件となります。
本書 32 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

ネットワークインターフェイス設定

EpsonNet Config（Web）を使って、ネットワークインターフェイスの TCP/IP を設定する方法を説明します。TCP/IP 以外のネットワーク設定やプリンタ設定については、EpsonNet Config（Web）のヘルプをご覧ください。

EpsonNet Config（Web）のインストールは不要です。ただし、次の設定が終了している必要があります。

①設定に使うコンピュータへの TCP/IP 設定
☞ 本書 19 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

②設定に使うコンピュータへの Web ブラウザのインストール
☞ 本書 97 ページ「対象 Web ブラウザ」

③ネットワークインターフェイスへの IP アドレス設定
☞ 本書 41 ページ「ネットワークインターフェイス設定」

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）と EpsonNet Config（Web）から、同時に同じネットワークインターフェイスに対して設定をしないでください。

参考　お使いの Web ブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよび OS の 取扱説明書を参照してください。

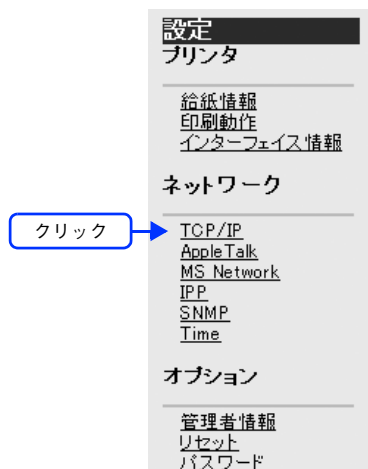
1 **次の方法で EpsonNet Config（Web）を起動します。**

Web ブラウザから起動する場合：
Web ブラウザを起動してネットワークインターフェイスの IP アドレスをアドレスバーに入力し、[Enter] または [return] キーを押します。
このとき、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）は起動しないでください。

書式）http:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス /
例）http://192.168.100.201/

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）から起動する場合：
EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）のリスト画面から、本機を選択して［ブラウザの起動］をクリックします。

2 画面が表示されたら、メニューから設定する項目をクリックします。

ここでは、TCP/IP 情報の設定を例に説明します。[設定]-[ネットワーク]メニューの[TCP/IP]をクリックします。

- TCP/IP 以外の情報を設定する場合は、設定する項目をクリックしてください。
- [情報] / [設定] メニューの、[プリンタ] の各種項目を表示させるには、Java Plug-in がインストールされている必要があります。表示されないときは、下記の URL から Plug-in をダウンロードしてください。
  http://www.i-love-epson.co.jp/products/solution/network/epsonnet/java/

3 IP アドレスや各種アドレスを設定します。

お使いの環境に合わせて、ネットワークインターフェイスを設定します。各項目の詳細については、以下をご覧ください。

☞ 本書 102 ページ「IP アドレス設定」
☞ 本書 103 ページ「DNS サーバのアドレス設定」
☞ 本書 104 ページ「ホスト名とドメイン名の設定」
☞ 本書 104 ページ「ユニバーサルプラグアンドプレイ設定」
☞ 本書 105 ページ「Rendezvous の設定」
☞ 本書 107 ページ「インデックス」
☞ 本書 108 ページ「メニュー」

IPアドレス設定	
IPアドレスの取得方法	Manual
IPアドレス	XXX.XXX.XXX.XX
サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XX
デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XX

プライベートIP自動指定(APIPA)による設定	Disable

PINGによる設定	Disable

DNSサーバのアドレス設定	
DNSサーバのアドレスを自動的に取得する	Disable
DNSサーバアドレス(使用順)	XXX.XXX.XXX.XX XXX.XXX.XXX.XX XXX.XXX.XXX.XX

ホスト名とドメイン名の設定	
ホスト名とドメイン名を自動的に取得する	Disable
ホスト名	LP-XXXX-XXXXXX
ドメイン名	
ネットワークI/FのアドレスをDNSに登録する	Disable
ネットワークI/FのアドレスをDNSサーバに直接登録する	Disable

ユニバーサルプラグアンドプレイ設定	
ユニバーサルプラグアンドプレイ機能を有効にする	Disable
デバイス名	LP-XXXX-XXXXXX

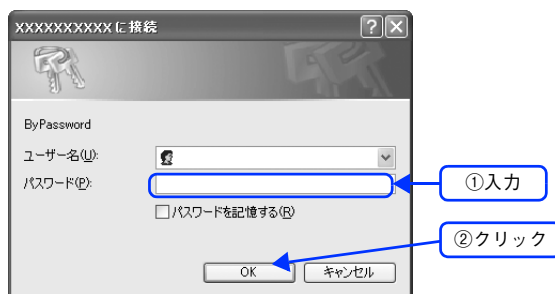
Rendezvousの設定	
Rendezvous機能を有効にする	Disable
Rendezvous 名	LP-XXXX-XXXXXX .local
Rendezvous プリンタ名	LP-XXXX-XXXXXX

送信

4 各項目を設定したら［送信］をクリックします。

Rendezvousの設定	
Rendezvous機能を有効にする	Disable
Rendezvous 名	LP-XXXX-XXXXXX .local
Rendezvous プリンタ名	LP-XXXX-XXXXXX

クリック → 送信

5 パスワードを入力して［OK］をクリックします。

パスワードを変更する場合は、［設定］-［オプション］-［パスワード］-［新パスワード］で行います。

！注意　「設定は正常に更新されました」と表示されるまでネットワークインターフェイスに情報を送っていますので、本機の電源を切ったり、印刷データを送信したりしないでください。

設定は正常に更新されました！

設定を有効にするためにはリセットの送信
またはプリンタの電源の再投入をしてください。

今すぐリセット

6 設定を有効にするため、［今すぐリセット］をクリックします。

以上でネットワークインターフェイスの設定は終了です。

IP アドレスを変更してここでリセットすると、今回設定した IP アドレスが有効になります。引き続き EpsonNet Config（Web）を使う場合は、EpsonNet Config（Web）の再読み込みが必要です。新しく設定したIPアドレスをWebブラウザのアドレスバーに入力して表示を更新し、EpsonNet Config（Web）の再読み込みをしてください。

各項目の説明

IP アドレス設定

IPアドレス設定	
① IPアドレスの取得方法	Manual
② IPアドレス	XXX.XXX.XXX.XX
③ サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XX
④ デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XX
⑤ プライベートIP自動指定(APIPA)による設定	Disable
⑥ PINGによる設定	Disable

① IP アドレスの取得方法

IP アドレスの取得方法を選択します。初期値では［Manual］が選択されています。

! 注意　ダイヤルアップ環境でお使いの際は注意が必要です。以下のページをご覧ください。
☞ 本書 46 ページ「ダイヤルアップルータ使用時の注意」

- ［Auto］を選択すると、本機の電源を入れるたびにプリンタドライバ上でプリンタポートの設定を変更しなくてはなりません。そのため、TCP/IP 印刷をする場合は、［Manual］を選択して IP アドレスを設定することをお勧めします。
- ［Auto］で利用したい場合は、本機を含む各プリンタの電源を入れる順番を決めておくか、電源を常時入れておくことで、ポート変更の手間を省くことができます。

項目	内容
Auto	DHCP や BOOTP サーバから IP アドレスを自動取得する場合に選択します。これらのサーバがない環境では使用できません。設定に関しては各サーバの取扱説明書をご覧ください。
Manual	②の［IP アドレス］欄で IP アドレスを設定する場合に選択します。

② IP アドレス

［IP アドレスの取得方法］で［Manual］を選択した場合は、ネットワークインターフェイスの IP アドレスを入力します。ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。

! 注意

- IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者に値を確認してください。IP アドレスがわからないときは、以下のページをご覧ください。
  ☞ 本書 111 ページ「設定する IP アドレスがわからない」
- 工場出荷時、IP アドレスは［192.168.192.168］に設定されていますが、製品の仕様上、初期の状態のままでは使用できません。この IP アドレスを使用したいときは、初期値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。

③サブネットマスク

サブネットマスクを入力します。初期値は［255.255.255.0］です。

④デフォルトゲートウェイ

ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。
初期値は［255.255.255.255］です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。

⑤プライベート IP 自動指定(APIPA)による設定

DHCP サーバで IP アドレスが取得できない場合に［169.254.1.1］～［169.254.254.254］の範囲で IP アドレスが自動的に割り当てられます。使用する場合は、［Enable］を選択してください。

ここで［Disable］が選択されていて、DHCP サーバなどから応答がないときの IP アドレスは初期値のままとなります。

⑥ PING による設定

PING による IP アドレスの設定をする場合に［Enable］を選択します。EpsonNet WebManager を使う場合は［Disable］を選択します。

PING による IP アドレスの設定方法については、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 131 ページ「ARP/PING コマンドでの IP アドレス設定」

DNS サーバのアドレス設定

① DNS サーバのアドレスを自動的に取得する

DNS サーバのアドレスを DHCP サーバから自動的に取得する場合に［Enable］を選択します。

② DNS サーバアドレス(使用順)

DNS サーバのアドレスを入力します。［DNS サーバのアドレスを自動的に取得する］で［Enable］を選択していても、DHCP サーバから応答がない場合に、ここで設定した DNS サーバのアドレスが使用されます。設定したアドレスは、上位から優先的に使用します。使用しないフィールドには無効なアドレス（255.255.255.255）を設定してください。

ホスト名とドメイン名の設定

ホスト名とドメイン名の設定	
① ホスト名とドメイン名を自動的に取得する	Disable
② ホスト名	LP-XXXX-XXXXXX
② ドメイン名	
③ ネットワークI/FのアドレスをDNSに登録する	Disable
④ ネットワークI/FのアドレスをDNSサーバに直接登録する	Disable

①ホスト名とドメイン名を自動的に取得する
ホスト名とドメイン名を DHCP サーバから自動的に取得する場合に［Enable］を選択します。

②ホスト名、ドメイン名
ネットワークインターフェイスを装着したホスト名およびドメイン名を設定します。［ホスト名とドメイン名を自動的に取得する］で［Enable］を選択していても DHCP サーバから応答がないときは、ここで設定したホスト名およびドメイン名が使用されます。

③ネットワーク I/F のアドレスを DNS に登録する
ダイナミック DNS をお使いの環境で、設定したホスト名とドメイン名を DHCP サーバにより DNS サーバに登録する場合に［Enable］を選択します。ネットワークインターフェイスの IP アドレスが DHCP によって変わっても、ホスト名はダイナミック DNS によって自動更新されます。DNS サーバのアドレスとネットワークインターフェイスのホスト名とドメイン名が自動取得であるか、手動で入力されていないと、設定できません。

④ネットワーク I/F のアドレスを DNS サーバに直接登録する
設定したホスト名とドメイン名を直接 DNS サーバへ登録する場合に［Enable］を選択します。［IP アドレスの取得方法］が［Auto］または［Manual］のどちらでも設定が可能です。

ユニバーサルプラグアンドプレイ設定

ユニバーサルプラグアンドプレイ設定	
① ユニバーサルプラグアンドプレイ機能を有効にする	Disable
② デバイス名	LP-XXXX-XXXXXX

①ユニバーサルプラグアンドプレイ機能を有効にする
Windows Me 以降の、ユニバーサルプラグアンドプレイに対応した Windows で使用できるユニバーサルプラグアンドプレイ機能を使用する場合に［Enable］を選択します。初期値は［Disable］です。

ユニバーサルプラグアンドプレイ機能については、以下のページをご覧ください。
本書 133 ページ「ユニバーサルプラグアンドプレイ機能」

②デバイス名
デバイス名を入力します。この名称は、ユニバーサルプラグアンドプレイ対応の Windows 上で使用されます。初期値は［プリンタ名＋ MAC アドレスの下 6 桁］です。

Rendezvous の設定

Rendezvous 機能は、Mac OS X v10.2.4 以降でご利用になれます。

① Rendezvous 機能を有効にする

Rendezvous を使って印刷する場合に［Enable］を選択します。

② Rendezvous 名

Rendezvous 名を入力します。初期値は、ホスト名が Rendezvous 名になります。

③ Rendezvous プリンタ名

Rendezvous プリンタ名を入力します。入力した名前が、プリンタを追加するときに表示されるプリンタ名になります。

Rendezvous 機能の設定

Mac OS X v10.2.4 以降で、IP アドレスの取得方法に DHCP/APIPA 機能を使うことで、ご利用になれる機能です。ただし、ネットワークインターフェイスの Rendezvous 機能は、初期値では無効となっており、あらかじめ EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）または EpsonNet Config（Web）を使用して、この機能を有効に設定しておく必要があります。

！注意　設定変更動作中は、本機の電源をオフにしたり、印刷データを送信したりしないでください。

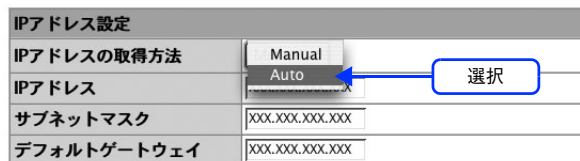
EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）による Rendezvous の設定方法については、各 EpsonNet Config のヘルプをご覧ください。

1 **コンピュータに IP アドレスを設定します。**

本書 19 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

2 **EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）を使用して、ネットワークインターフェイスに IP アドレスを設定します。**

本書 32 ページ「ネットワークインターフェイスの設定」

3 **EpsonNet Config （Web）を起動して、［設定］-［ネットワーク］メニューの［TCP/IP］をクリックします。**

本書 98 ページ「ネットワークインターフェイス設定」

4 **［TCP/IP］画面の［Rendezvous 機能を有効にする］から［Enable］を選択します。**

5 ［TCP/IP］画面の［IP アドレスの取得方法］から［Auto］を選択します。

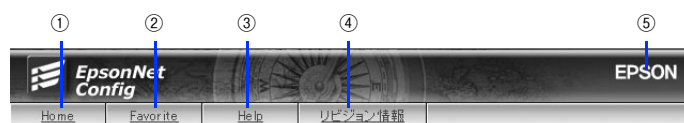
IPアドレス設定	
IPアドレスの取得方法	Manual / Auto ← 選択
IPアドレス	
サブネットマスク	xxx.xxx.xxx.xxx
デフォルトゲートウェイ	xxx.xxx.xxx.xxx

以上で Rendezvous 機能の設定は終了です。Rendezvous を使って印刷するには以下のページをご覧ください。

☞ 本書 68 ページ「Mac OS X v10.2-v10.3」

6 ［送信］をクリックして、設定を有効にします。

以上で設定は終了です。

インデックス

① Home

オープニング画面の［基本情報］が表示されます。

② Favorite

［管理者情報］で設定されたリンク先が表示されます。この項目名［Favorite］は［オプション］-［管理者情報］の［お気に入り名］で変更することができます。

③ Help

ヘルプが表示されます。

④リビジョン情報

リビジョン情報が表示されます。

⑤ EPSON

エプソンのホームページ「I Love EPSON」が別ウィンドウで表示されます。

メニュー

メニューには［情報］と［設定］の２つのメニューがあります。

- お使いの機種によっては、［情報］/［設定］-［プリンタ］メニューに表示されない画面や、各画面に表示されない項目があります。
- 各メニューの詳細については、EpsonNet Config （Web）のヘルプをご覧ください。

［情報］メニュー

プリンタとネットワークインターフェイスの設定状況を確認できます。

情報
プリンタ
デバイス情報
消耗品情報
確認
給紙情報
印刷動作
インターフェイス情報
ネットワーク
基本情報
TCP/IP
AppleTalk
MS Network
IPP
SNMP
Time

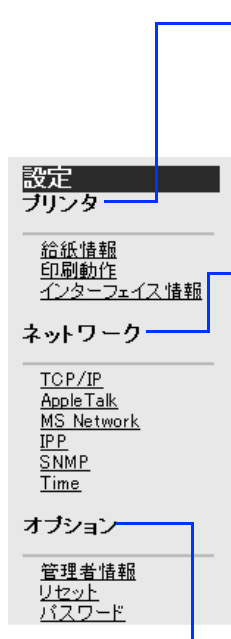
プリンタ

項目	内容
デバイス情報	ネットワークインターフェイスとプリンタの情報が表示されます。
消耗品情報	消耗品の使用状況が表示されます。
確認	各種ステータスシートの印刷により、プリンタとネットワークインターフェイスの設定状況を確認できます。
給紙情報	給紙装置の設定状況が表示されます。
印刷動作	プリンタの設定状況が表示されます。
インターフェイス情報	各種インターフェイスの設定状況が表示されます。

ネットワーク

項目	内容
基本情報	ネットワークインターフェイスの情報とプリンタの状態が表示されます。
TCP/IP	TCP/IP の設定状況が表示されます。
AppleTalk	AppleTalk の設定状況が表示されます。
MS Network	MS Network の設定状況が表示されます。
IPP	IPP の設定状況が表示されます。
SNMP	SNMP の設定状況が表示されます。
Time	タイムサーバの設定状況が表示されます。

[設定] メニュー

プリンタ、ネットワークインターフェイス、オプションの項目ごとに設定できます。

プリンタ

項目	内容
給紙情報	給紙装置を設定します。
印刷動作	印刷動作を設定します。
インターフェイス情報	各種インターフェイスを設定します。

ネットワーク

項目	内容
TCP/IP	TCP/IP を設定します。
AppleTalk	AppleTalk を設定します。
MS Network	MS Network を設定します。
IPP	IPP を設定します。
SNMP	SNMP を設定します。
Time	タイムサーバに関する設定をします。

オプション

項目	内容
管理者情報	管理者名と、インデックスの [Favorite] からリンクする任意の URL などを設定します。
リセット	本機を工場出荷時設定に戻します。
パスワード	ネットワークインターフェイスの設定を保護するために、パスワードを設定します。

9 困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法を説明します。

全 OS 共通

トラブル状態	対処方法
ネットワークインターフェイスの設定ができない / ネットワーク印刷ができない	**ネットワークステータスシートが印刷できるかどうか確認してください。** ネットワークステータスシートの印刷ができないときは、本機の操作パネルの設定で［ネットワーク設定］-［ネットワーク I/F］が、［使う］になっているか確認してください。 ネットワークステータスシートの印刷が可能なときは、ネットワークステータスシートに印刷されたネットワークの設定に誤りがないか確認してください。 ☞本書 123 ページ「ネットワークステータスシート」 **HUB 、ケーブルなどが正常か確認してください。まず HUB を見て、デバイスが接続されているポートのリンクランプが点灯 / 点滅しているか確認してください。** リンクランプが消灯しているときは、次のことを確認してください。 • 他のポートに接続して、データランプが点灯 / 点滅するかどうか • 使用しているケーブルが断線していないかどうか **TCP/IP で使用している場合は、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されているか確認してください。** 工場出荷時の値は ［192.168.192.168］ですが、製品の仕様上、工場出荷時の状態のままでは使用できません。この IP アドレスを使用するには、工場出荷時の値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。 **操作パネルの設定で［ネットワーク設定］-［ネットワーク I/F］が［使う］になっていますか？** 操作パネルの設定を確認してください。 設定の方法は、『ユーザーズガイド』（PDF）を参照してください。 ☞ユーザーズガイド「操作パネルによる設定」-「設定項目の説明」
設定する IP アドレスがわからない	**外部との接続（インターネットへの接続、電子メールなど）を行うには、JPNIC(http://www.nic.ad.jp/) に申請して IP アドレスを正式に取得していただく必要がありますので、ネットワーク管理者へご相談ください。** IP アドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスをご使用になることも可能です（RFC1918 で規定されています)。 プライベートアドレス： 10.0.0.1 ～ 10.255.255.254 172.16.0.1 ～ 172.31.255.254 192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

トラブル状態	対処方法
設定したIPアドレスが変わってしまう	**EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）の TCP/IP の設定で、［IP アドレスの設定方法］を［自動］に設定していないかを確認して固定アドレスを設定してください。** ［自動］を選択すると、本機の電源を入れるたびに、IP アドレスが変わってしまいます。 ［自動］で利用される場合は、本機を含む各プリンタの電源を入れる順番を決めていただくか、電源を常時オンにしておいてください。 ☞本書 41 ページ「ネットワークインターフェイス設定」 **TCP/IP の設定で、［PING による設定］のチェックが外れていることを確認してください。** チェックされていると、外部から ARP/PING コマンドで IP アドレスが変更されてしまう可能性があります。
印刷に時間がかかる / データの末尾が欠けた状態になる	**接続されている HUB の通信モードに合わせネットワークインターフェイスの通信モードを固定させてください。** ネットワークインターフェイスの［Link Speed］が、初期値設定（自動）で接続されている HUB の通信モード（全二重 / 半二重）が固定されていると、ネットワークインターフェイスと HUB の通信モードに不整合が起きます。その結果、印刷速度が異常に遅くなったり、またはタイムアウトにより末尾のデータが欠けた状態で出力されたりすることがあります。 『ユーザーズガイド』（PDF マニュアル）をご覧になり、接続されている HUB の通信モードに合わせたネットワークインターフェイスの［Link Speed］を設定してください。
ネットワークステータスシートが印刷できない	**操作パネルの設定で［ネットワーク設定］-［ネットワーク I/F］が［使う］になっていますか？** 操作パネルの設定を確認してください。 設定の方法は、『ユーザーズガイド』（PDF）を参照してください。 ☞ユーザーズガイド「操作パネルによる設定」-「設定項目の説明」

トラブル状態	対処方法
EpsonNet Config（Windows/Web）が起動できない 設定できない	**EpsonNet Config（Windows）のインストール後に、OS上でプロトコルやサービスの追加、削除すると、EpsonNet Config（Windows）が起動しなくなります。** EpsonNet Config（Windows）を削除し、再インストールしてください。 ☞本書 128 ページ「ユーティリティの削除方法」 ☞本書 35 ページ「EpsonNet Config（Windows）をインストールする」 **「ネットワークがインストールされていないため、EpsonNet Config（Windows）を使用することはできません」と表示されていませんか？** このメッセージは、次のようなときに表示されます。 • コンピュータに TCP/IP プロトコルが組み込まれていない場合 • コンピュータに TCP/IP プロトコルのみが組み込まれていて、コンピュータの IP アドレスが正しく設定されていない場合 • コンピュータに TCP/IP プロトコルのみが組み込まれていて、DHCP サーバから各種アドレスを取得する設定下で、DHCP サーバが応答しない場合 ［OK］をクリックすると EpsonNet Config（Windows）が起動することがありますが、TCP/IP の設定はできません。お使いのコンピュータのネットワーク設定を行ってください。 ☞本書 19 ページ「コンピュータのネットワーク設定」 **EpsonNet Config（Web）を実行するには、まず、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）、ARP/PING コマンドまたは本機の操作パネルからネットワークインターフェイスの IP アドレスを設定する必要があります。** 現在の設定は、ネットワークステータスシートの［IP Address］欄で確認できます。 ☞本書 33 ページ「設定方法の概要」 ☞本書 123 ページ「ネットワークステータスシート」
ARP/PING コマンドでネットワークインターフェイスのIPアドレスを設定できない	**ping コマンドを実行後、「Reply from （IP address): ...」のメッセージが確認できず、「Request Time Out」や「Reply from .....: Destination host unreachable」などのメッセージが表示されていませんか？** 接続しているネットワークケーブル、ネットワーク機器などのネットワーク環境を確認してください。なお、ARP/PING コマンドによる設定は、同一ネットワーク上でのみ行うことができます。

トラブル状態	対処方法
EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）の［モデル名］に何も表示されず、[IP アドレス］に［NONE］と表示される	**以下の 3 点を確認してください。** • ネットワークインターフェイスの IP アドレスが初期値のままだと、［モデル名］と［IP アドレス］が表示されないことがありますが、ネットワークインターフェイスの設定はできます。この場合、ネットワークインターフェイスは MAC アドレスで判別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートの［MAC Address］欄で確認できます。ネットワークインターフェイスの設定を行うと、正しく表示されるようになります。 本書 123 ページ「ネットワークステータスシート」 • EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）の［表示］メニューの［最新の情報に更新］を実行してください。 • EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）の［ツール］メニューの［オプション］-［タイムアウト］で、［通信エラーとする時間］を大きい値に設定してください。ただし、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）の動作が遅くなる（検索に時間がかかります）ため注意してください。

Windows

トラブル状態	対処方法
EpsonNet Print を使って印刷した時に、ダイヤルアップ接続ダイアログが表示される	**ダイヤルアップでインターネットに接続するように設定されていると、このメッセージが表示されることがあります。** キャンセルするとその後は正常に印刷されますが、Windows 起動後の最初の印刷時に、毎回メッセージが表示されます。 このメッセージが表示されないようにするには、LAN接続でインターネットに接続するよう設定するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。

Mac OS

トラブル状態	対処方法
セレクタに本機が表示されない（Mac OS 9）	**次のことを確認してください。** • コントロールパネルの［AppleTalk］で［Ethernet］が選択されているか • セレクタで AppleTalk が［使用］になっているか HUB、ケーブルなどのネットワーク機器も併せて確認してください。
［プリントセンター］または［プリンタ設定ユーティリティ］の［追加］画面でプロトコルを選択しても、本機が表示されない（Mac OS X）	**次のことを確認してください。** • プリンタドライバがインストールされているか確認してください。 • EPSON AppleTalk の場合 ［システム環境設定］の［ネットワーク］画面で［表示：］ドロップダウンリストから［内蔵 Ethernet］を選択し、［AppleTalk］タブで、［AppleTalk 使用］にチェックが付いているか • EPSON TCP/IP の場合 ［システム環境設定］の［ネットワーク］-［TCP/IP］タブで、各種アドレスが設定されているか ネットワークインターフェイスに初期値以外の正しい IP アドレスが設定されているか • Rendezvous の場合（Mac OS X v10.2.4 以降） EpsonNet Config（Web）の［設定］メニューの［ネットワーク］-［TCP/IP］で、［Rendezvous 機能を有効にする］が［Enable］に設定されているか

10 その他の便利な機能の紹介

ここでは、次の内容を紹介します。

プリンタドライバの自動インストール

プリンタドライバの自動インストール用ユーティリティには、次のものがあります。

次のユーティリティの詳細や入手方法については、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 11 ページ「EpsonNet ソフトウェアを入手するには」

■ EpsonNet InstallManager のプリンタドライバ自動インストール機能

ネットワークプリンタのドライバインストールから印刷ポートの設定までを、自動的に実行するインストールパッケージを作成できるソフトウェアです。

管理者はグループごと、部署ごとに使用するプリンタドライバのパッケージを一括して作成でき、クライアント側のコンピュータでこのインストールパッケージを実行するだけで印刷環境が作成されるため、管理者のプリンタドライバ配布・インストール作業を大幅に軽減します。また、プリンタドライバだけでなく、「EPSON ステータスモニタ」なども同時にパッケージ化できます。

ネットワークプリンタの状態確認

ここでは、ネットワークプリンタの状態を確認できるユーティリティを紹介します。

これらのユーティリティを活用すると、離れた場所にあるプリンタを自分のコンピュータから設定したり、トラブルを確認することができます。

次のユーティリティの入手方法については、以下のページをご覧ください。

☞ 本書 11 ページ「EpsonNet ソフトウェアを入手するには」

クライアント用ユーティリティ

EPSON ステータスモニタ

本機に付属しているユーティリティで、対象 OS はプリンタドライバと同様です。ネットワークプリンタの用紙やトナー・感光体ユニットの残量やエラー内容などが確認できます。

EPSON ステータスモニタの詳細については、『ユーザーズガイド』（PDF）をご覧ください。

MS Network または IPP 印刷をする場合、EPSON ステータスモニタは使用できません。

管理者用ユーティリティ

EpsonNet WebManager（ネットワークプリンタ管理ソフトウェア）

EpsonNet WebManager は、Web ブラウザベースのネットワークプリンタ管理ユーティリティです。ネットワークプリンタの状態を確認できるほか、ネットワークに関する各種設定が行えます。

プリンタの管理には業界標準の SNMP/MIB を使用していますので、MIB に対応している他社製プリンタの管理も可能です（プリンタメーカによっては、取得できない情報があります）。

EpsonNet LogBrowser V2（印刷枚数制限 / 印刷履歴管理ソフトウェア）

ネットワークプリンタの印刷ログの自動収集や、印刷枚数の制限をするソフトウェアです。
用紙使用量やプリンタの利用状況の把握と管理が簡単に行えます。

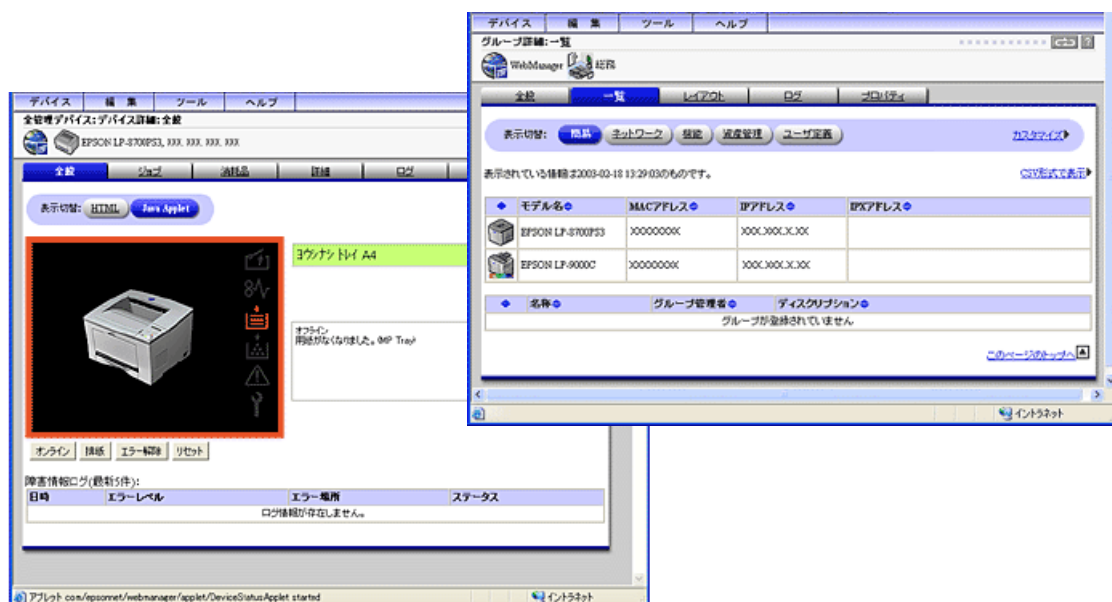
ネットワーク管理ツールのご案内

EPSON では、オフィスの中でさらに効果的・効率的に EPSON プリンタをお使いいただくためのネットワーク管理ツールを提供しています。また、印刷だけでなく、トータルなプリンタ管理を含めてご提案していますので、ぜひご活用ください。

ユーティリティの詳細や入手方法については、以下のページをご覧ください。

本書 11 ページ「EpsonNet ソフトウェアを入手するには」

EpsonNet WebManager（ネットワークプリンタ管理ソフトウェア）

EpsonNet WebManager は Web ブラウザベースのネットワークプリンタ管理ユーティリティです。次のようなネットワーク管理者の要望を解決します。

プリンタの一覧や配置が把握できます

ネットワーク上にプリンタが多数存在する場合、登録されているプリンタの一覧表が表示できるので、管理者は手元のブラウザでネットワーク上のプリンタを一括管理できます。また、プリンタに資産管理番号を付与して一覧表示することもできるため、資産管理に関する管理者の負担が軽減できます。

さらに、オフィスのレイアウト図にプリンタアイコンを配置して表示する機能によって、プリンタの二次元的な配置位置が表示できます。プリンタの場所と状態を同時に管理できますので、障害発生時の早期解決を支援します。

プリンタで発生している問題（障害発生状況）が把握できます

毎日 9 時、毎週月曜日など、指定した時間間隔で、管理しているプリンタで発生している障害の一覧情報を E-mail で受け取る（知る）ことができます。また、プリンタで発生している障害の内容は、プリンタの設置場所に行かなくても、手元のブラウザで知ることができます。

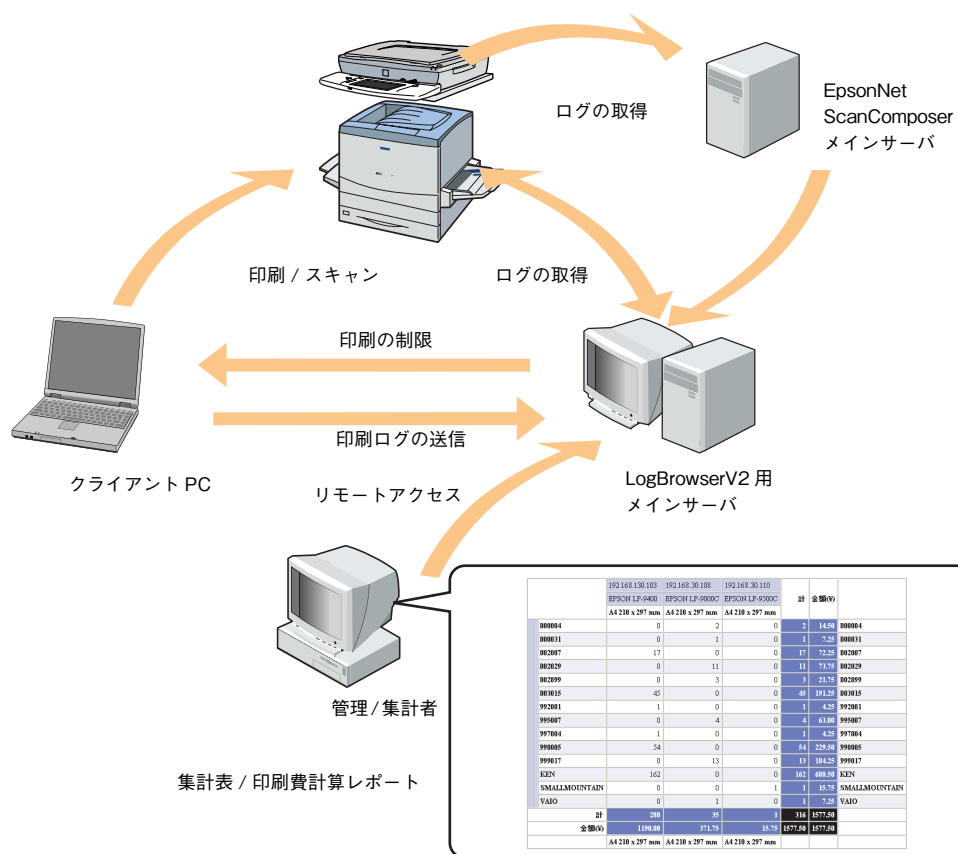
プリンタの稼動状況と消耗品の残量を知ることができます

プリンタの稼動状況や消耗品の残量推移の履歴（ログ）が記録できるため、これらの履歴情報から各プリンタの利用頻度を把握することができます。利用頻度に関する情報を活用すれば、消耗品の手配やプリンタの配置を最適化することができます。EpsonNet WebManager を使うことでプリンタをより有効に活用できるようになります。

EpsonNet LogBrowser（印刷枚数制限 / 印刷履歴管理ソフトウェア）

EpsonNet LogBrowserV2 は、社内 / 学校内ネットワーク上のプリンタとコピーシス テムとして接続したスキャナの利用状況や各クライアント PC の印刷実行状況を記録し、集計 / 出力することができるユーティリティです。

集計したログを活用することで、社内 / 学校内の無駄な印刷コストを削減し、効果的な印刷環境の構築に役立てることができます。

- ブラウザベースで機能するユーティリティです。サーバ以外のコンピュータから、集計、出力と各種設定が実行できます。
- 印刷枚数の上限などを設定して印刷を制限したり、ユーザーにメッセージを表示したりすることができます（印刷制限機能）。
- 管理者が用紙代など印刷にかかるコストを設定することにより、ユーザーごと、プリンタごとに、コストを集計 / 出力することができます。
- 管理者と通常のログ集計者に分けてログインすることができます。
- 印刷の記録（ログ）を定期的にファイル出力したり、出力ファイルを E-mail に添付して送信することができます。
- 集計したログを Excel などの表計算ソフトで表示させることができます。

	192.168.130.103 EPSON LP-9400 A4 210 x 297 mm	192.168.30.108 EPSON LP-9000C A4 210 x 297 mm	192.168.30.110 EPSON LP-9500C A4 210 x 297 mm	計	金額(¥)	
000004	0	2	0	2	14.50	000004
000031	0	1	0	1	7.25	000031
002007	17	0	0	17	72.25	002007
002029	0	11	0	11	73.75	002029
002899	0	3	0	3	21.75	002899
003015	45	0	0	45	191.25	003015
992001	1	0	0	1	4.25	992001
995007	0	4	0	4	63.00	995007
997004	1	0	0	1	4.25	997004
998005	54	0	0	54	229.50	998005
999017	0	13	0	13	184.25	999017
KEN	162	0	0	162	688.50	KEN
SMALLMOUNTAIN	0	0	1	1	15.75	SMALLMOUNTAIN
VAIO	0	1	0	1	7.25	VAIO
計	280	35	1	316	1577.50	
金額(¥)	1190.00	371.75	15.75	1577.50	1577.50	
	A4 210 x 297 mm	A4 210 x 297 mm	A4 210 x 297 mm			

11 付録

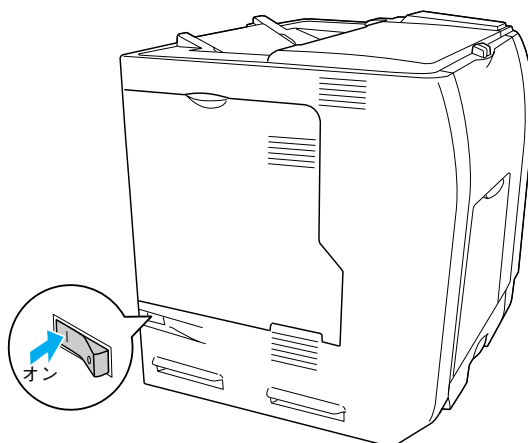
ネットワークステータスシート

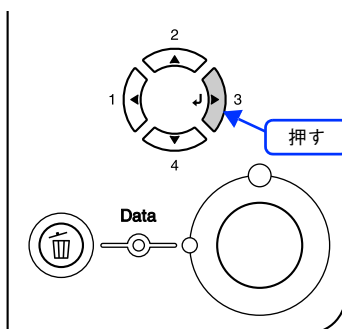
ネットワークステータスシートを印刷することで、ネットワークインターフェイスの設定状況が確認できます。ネットワークステータスシートにはMACアドレスや、設定したIPアドレスなどの情報が記載されています。

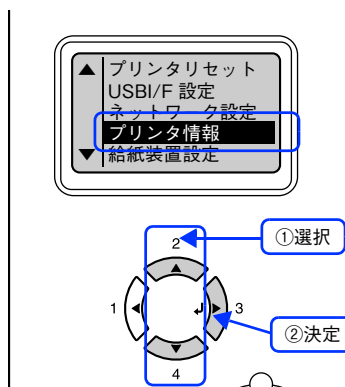
ネットワークステータスシートを印刷する

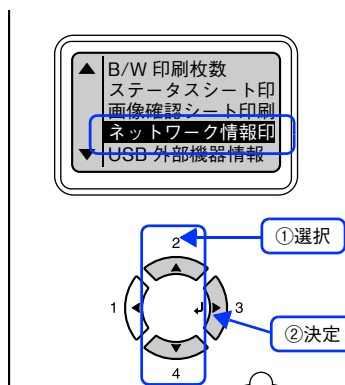
ネットワークステータスシートは、本機の操作パネルを使用して印刷します。

!注意	本機の電源をオンにすると、しばらくの間ネットワークインターフェイスは初期化動作を行います（初期化動作中は2つのランプが緑点灯 / オレンジ点灯になります）。初期化動作中にネットワークステータスシートの印刷を実行すると、ネットワークインターフェイスの状態が正しく印刷されないことがあります（IPアドレスの欄に（NONE）と印刷されるなど）。このようなときは、しばらく待ってから再度印刷を実行してください。

1 **本機の電源がオン（I）になっていることを確認します。**

2 **操作パネル上の［↲▶（3）］スイッチを押して、設定モードに入ります。**

設定モードに入ると、操作パネルに［プリンタ情報］などの設定メニューが表示されます。

3 ［プリンタ情報］を選択して、［ ↲▶（3）］ を押します。

［▲（2）］または［▼（4）］スイッチを押して選択し、［ ↲▶（3）］スイッチを押します。

4 ［ネットワーク情報印刷］を選択して、［ ↲▶（3）］を押します。データランプが点滅し、ネットワークステータスシートが印刷されます。

［▲（2）］または［▼（4）］スイッチを押して選択し、［ ↲▶（3）］スイッチを押します。ネットワークステータスシートの印刷には数秒かかります。

以上でネットワークステータスシートの印刷は終了です。

ネットワークステータスシートの印刷例（初期値）

（NONE）と表示される項目は、有効な値を設定すると、その値が表示されます。

<例>

```
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HH EPSON Network Status Sheet (1/2) HH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
<General Information>
Card Type                     EPSON Built-in 10Base-T/100Base-TX Print Server
MAC Address                   00:00:48:XX:XX:XX
Hardware                      XX.XX
Software                      XX.XX
Printer Model                 LP-XXXX
Time                          XXXX-XX-XX XX:XX:XX GMT+XX:XX

<Ethernet>
Network Status                100BASE-TX, Full Duplex

<TCP/IP>
Get IP Address                Manual
IP Address                    (NONE)
Subnet Mask                   (NONE)
Default Gateway               (NONE)
APIPA                         Disable
Set using PING                Enable
Acquisition way of DNS ADDR   Disable
DNS Server Address            (NONE)
                              (NONE)
                              (NONE)
Acquire Host/Domain name      Disable
Host Name                     LP-XXXX-XXXXXX
Domain Name                   (NONE)
Register the NW I/F to DNS    Disable
  Register directly to DNS    Disable
Universal Plug and Play       Disable
  Device Name                 (NONE)
Rendezvous                    Disable
  Rendezvous Name             (NONE)
  Rendezvous Printer Name     (NONE)
  Rendezvous Service          (NONE)

<Time>
Time Server                   Disable
Time Server IP Address        (NONE)
Synchronize Interval          (NONE)
Time Difference(GMT+/-HH:MM)  +XX:XX
Time Server Status            Invalid

HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH LP-XXXX HH
```

＜例＞

```
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HH EPSON Network Status Sheet (2/2) HH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
<AppleTalk(R)>                Enable
Printer Name                  LP-XXXX-XXXXXX
Zone Name                     *
Network Number Set            Auto
Network Number                XXXX
Node ID                       XX
Entity Type #1                EPSONPAGECJ1

<MS Network(R)>               Enable
Print Server Name             XXXXXXXX
Workgroup Name                WORKGROUP
Share Name                    EPSON

<IPP>
IPP URL                       http://xxx.xxx.xxx.xxx:631/EPSON_IPP_Printer
Printer Name                  EPSON_IPP_Printer
Location                      (NONE)

<SNMP>
Read Community                public
IP Trap 1                     Disable
IP Trap Address 1             (NONE)
IP Trap Community 1           (NONE)
IP Trap Port 1                (NONE)
IP Trap 2                     Disable
IP Trap Address 2             (NONE)
IP Trap Community 2           (NONE)
IP Trap Port 2                (NONE)
IP Trap 3                     Disable
IP Trap Address 3             (NONE)
IP Trap Community 3           (NONE)
IP Trap Port 3                (NONE)
IP Trap 4                     Disable
IP Trap Address 4             (NONE)
IP Trap Community 4           (NONE)
IP Trap Port 4                (NONE)

HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH LP-XXXX HH
```

ネットワークインターフェイスの工場出荷時設定への戻し方

次のようなときは、ネットワークインターフェイスを工場出荷時の状態に戻してください。

- ネットワークインターフェイスに誤った設定をしたとき
- ネットワークインターフェイスが誤動作をして、ネットワークインターフェイスが設定ユーティリティに表示されなくなったとき

1 **EpsonNet Config を起動します。**

☞ 本書 37 ページ「起動」

2 **画面のリストで、本機のモデル名をクリックして選択し、［設定開始］をクリックします。**

3 **［工場出荷時設定］をクリックします。**

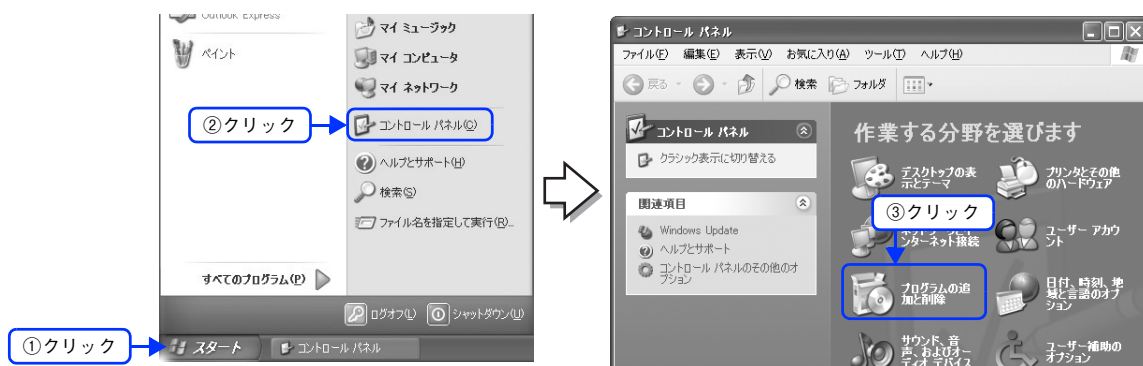
以上で設定は終了です。

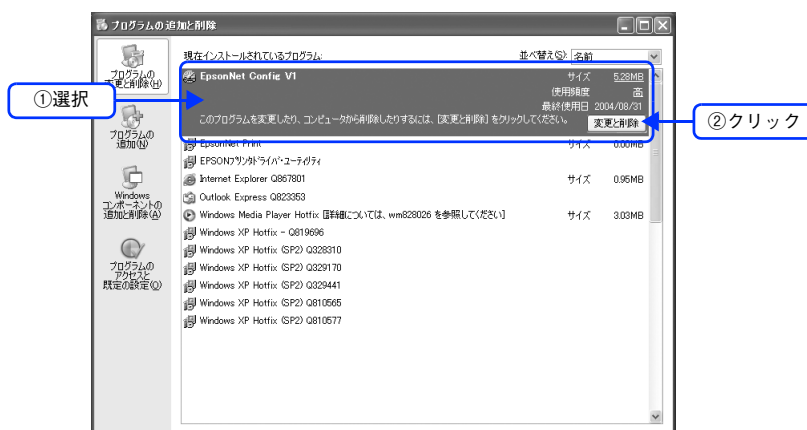
ユーティリティの削除方法

Windows 用ユーティリティを削除する

Windows 2000/XP/Server 2003 に EpsonNet Config（Windows）をアンインストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログインする必要があります。

1 **［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックして、［プログラムの追加と削除］をクリックします。**

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

2 **削除したいユーティリティを選択して、［変更と削除］をクリックします。**

Windows 98/Me の場合は、［追加と削除］をクリックします。
この後は、画面の指示に従ってください。

以上でユーティリティの削除は終了です。

Mac OS 用ユーティリティを削除する

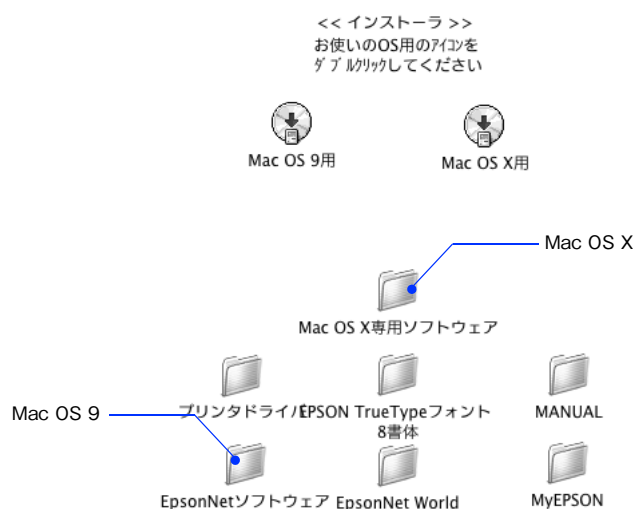
Mac OS X の場合、EpsonNet Config（Mac OS X）を削除するには管理者権限を持つユーザーでログインする必要があります。

EpsonNet Config（Mac OS）の削除方法を説明します。

1 **コンピュータに、本機付属の『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』をセットし、デスクトップの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。**

Mac OS 9.1 以降の場合は、コンピュータに CD-ROM をセットして次へ進みます。

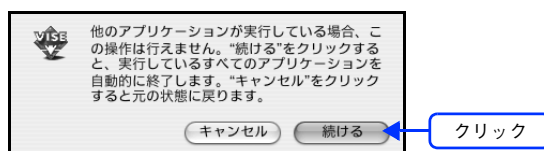
2 **[Mac OS X 専用ソフトウェア]フォルダをダブルクリックして開き、[EpsonNet ソフトウェア]フォルダをダブルクリックして、[EpsonNet Config]フォルダをダブルクリックします。**

Mac OS 9.1 以降の場合は、[EpsonNet ソフトウェア] - [EpsonNet Config] フォルダの順にダブルクリックします。

3 **アイコンをダブルクリックします。[認証] 画面が表示されたら、パスワードを入力してください。**

4 表示された画面で［続ける...］をクリックします。

5 ［ライセンス］画面の使用許諾内容を確認し、［同意］をクリックします。

6 画面上部のリストから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

7 ［続ける］をクリックします。

8 この後は、画面の指示に従ってアンインストールします。

9 ［終了］をクリックします。

以上でユーティリティの削除は終了です。

ARP/PING コマンドでの IP アドレス設定

ARP/PING コマンドから、工場出荷時状態のネットワークインターフェイスの IP アドレスを設定する手順を説明します。
ARP/PING コマンドは、次の条件の両方を満たしたときに使えます。

- 設定に使うコンピュータが、ネットワークインターフェイスと同じセグメントにあるとき
- Windows に TCP/IP が正常に組み込まれ、設定されているとき

操作パネルの設定で、[ネットワーク設定] ー [IP アドレス設定] を [PING] にしてください。[PING] が選択されていないと、ARP/PING コマンドからの IP アドレス設定はできません。
操作パネルからの設定方法については、『ユーザーズガイド』(PDF マニュアル) をご覧ください。

ネットワークインターフェイスの IP アドレスを 192.168.100.201(プライベートアドレス)に設定する場合を例に説明します。

1 ゲートウェイになるサーバやルータがあるときは、そのサーバやルータのアドレスを設定します。

ゲートウェイがないときは、自分自身のコンピュータの IP アドレスをゲートウェイアドレスに設定します。
本書 19 ページ「コンピュータのネットワーク設定」

2 ネットワークに接続した本機の電源をオンにし、コンピュータで [コマンドプロンプト] を起動します。

Windows 98/Me の場合は、[MS-DOS プロンプト] を起動してください。

3 同一セグメント内の動作中コンピュータ、またはルータやゲートウェイがあれば、それらに対して PING コマンドを実行します。設定に使用しているコンピュータ以外の機器に対して、PING コマンドを実行してください。

書式) ping_最寄りのコンピュータなどの IP アドレス(_は半角スペース)
例) IP アドレス 192.168.100.101 のコンピュータがある場合
C:¥>ping_192.168.100.101
PING コマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.101: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます(time などの値は変動します)。

4 arp コマンドを実行して、ネットワークインターフェイスに設定したい IP アドレスを、ネットワークインターフェイスの MAC アドレスと関連付けます。

- IP アドレスは、ほかのネットワーク機器やコンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。
- MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。
  本書 123 ページ「ネットワークステータスシート」

書式）　arp_-s_ ネットワークインターフェイスに設定したい IP アドレス _ ネットワークインターフェイスの MAC アドレス（_ は半角スペース）
例）　C:¥>arp_-s_192.168.100.201_00-00-48-93-00-00

5 ping コマンドを実行して、ネットワークインターフェイスの IP アドレスを設定します。

書式）ping_ 手順 4 でネットワークインターフェイスに設定した IP アドレス
（_ は半角スペース）
例）C:¥>ping_192.168.100.201
ping コマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.201: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます（time などの値は変動します）。
ここで表示された IP アドレスが 192.168.100.201 であることを確認します。

- ここで「timed out」などのメッセージが表示されたときは、IP アドレスが正しく登録されていません。再度 ping コマンドを実行するか、手順 3 から再度設定をしてください。
- pingコマンドでIPアドレスを設定すると、サブネットマスクはIPアドレスのクラスによって自動的に変更されます。ネットワーク環境に合わせてサブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイを変更するときは、EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）から設定してください。設定方法については、以下のページをご覧ください。
  本書 41 ページ「ネットワークインターフェイス設定」

6 ネットワークステータスシートを印刷します。

ネットワークステータスシートに、ネットワークインターフェイスに設定した IP アドレスが印刷されます。ここで IP アドレスが正しく設定できたことを確認します。
本書 123 ページ「ネットワークステータスシート」

以上でアドレスの設定は終了です。

ユニバーサルプラグアンドプレイ機能

ユニバーサルプラグアンドプレイは、プリンタをネットワークに接続しただけで、プリンタの情報を Windows 上から確認することのできる機能です。ユニバーサルプラグアンドプレイ機能が使用できる OS は、Windows Me 以降です。

ユニバーサルプラグアンドプレイを使用するときは、以下のページをご覧になり、コンポーネントのインストールとネットワークインターフェイスの設定をしてください。

☞ 本書 135 ページ「ユニバーサル プラグ アンド プレイのインストール」
☞ 本書 104 ページ「ユニバーサルプラグアンドプレイ設定」

■ ユニバーサルプラグアンドプレイ機能

デバイスアイコンの自動表示

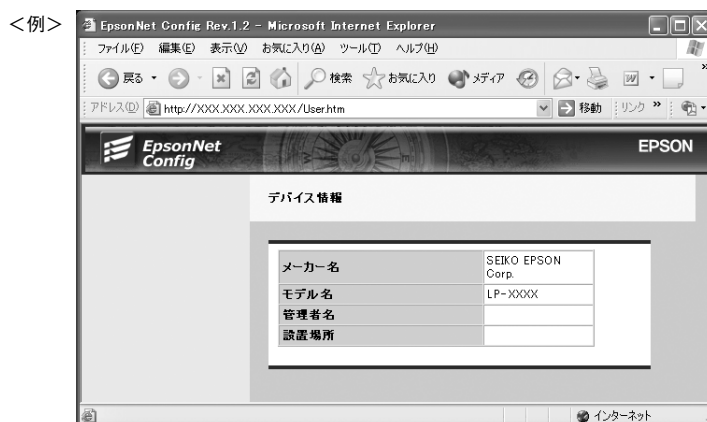
プリンタ（ネットワークインターフェイス）をネットワークに接続するだけで、［マイネットワーク］画面にデバイスアイコンが表示されます。

プリンタ情報の表示

自動表示されたデバイスアイコンをダブルクリックすると、プリンタの簡易情報が表示されます。

プリンタの簡易情報表示には、Web ブラウザを使用します。Web ブラウザは、Windows に標準で組み込まれているものをお使いいただけます。

☞ 本書 97 ページ「EpsonNet Config（Web）の概要」

<例>

ネットワークインターフェイス情報の表示

自動表示されたデバイスアイコンを右クリックして［プロパティ］を選択すると、ネットワークインターフェイスの簡易情報（IP アドレスなど）が確認できます。

IP アドレスの自動設定

セグメント内で適切な IP アドレスが自動的に割り当てられる（DHCP サーバまたは UPnP の機能によって、ネットワークインターフェイスの IP アドレスが自動的に設定される）ため、ネットワークインターフェイスの IP アドレス設定が不要です。

ただし、TCP/IP 印刷をする場合は、手動で IP アドレスを設定することをお勧めします。

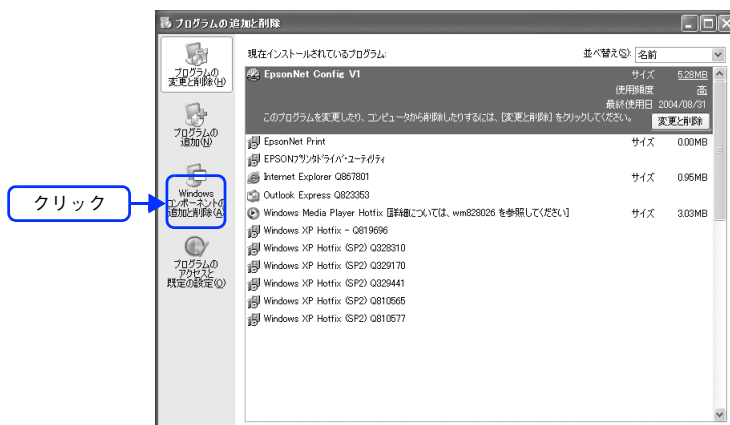
■ ユニバーサル プラグ アンド プレイのインストール

Windows XP/Me を例にして説明します。

1 **［スタート］－［コントロールパネル］－［プログラムの追加と削除］をクリックします。**

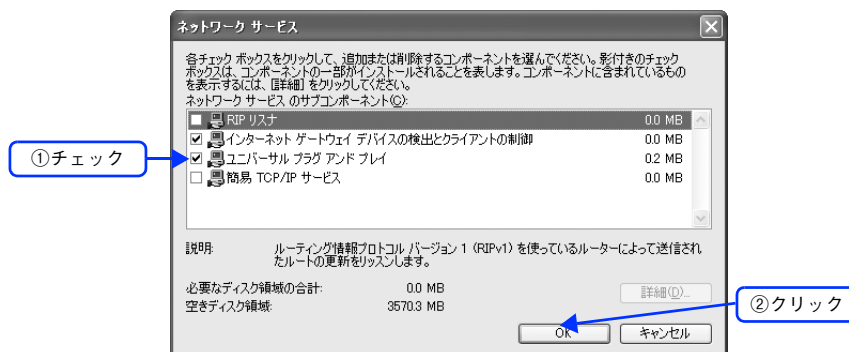
Windows Me の場合は、［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックして、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

2 **［Windows コンポーネントの追加と削除］をクリックします**

Windows Me の場合は、［Windows ファイル］タブをクリックします。

3 **リストから［ネットワークサービス］を選択して、［詳細］をクリックします。**

Windows Me の場合は、［コンポーネントの種類］一覧の［通信］をクリックし、［詳細］をクリックします。

4 **［ユニバーサル プラグ アンド プレイ］または［UPnP ユーザーインターフェイス］をチェックして、［OK］をクリックします。**

チェックされている場合はインストール済みですので、［キャンセル］をクリックしてください。

5 **［次へ］をクリックします。**

Windows Me の場合は、［コンポーネントの種類］一覧で、［OK］をクリックします。
インストールが始まります。

Windows を CD-ROM からセットアップした場合は、その CD-ROM をコンピュータにセットすることを要求するメッセージが表示されます。

6 **インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。**

7 **プリンタのネットワークインターフェイスの設定でユニバーサルプラグアンドプレイ機能を有効に設定します。**

ネットワークインターフェイスのユニバーサルプラグアンドプレイ機能は、初期設定では無効になっています。使用するには、EpsonNet Config（Windows）または EpsonNet Config（Web）から設定してください。
本書 104 ページ「ユニバーサルプラグアンドプレイ設定」

以上でユニバーサルプラグアンドプレイ機能が使用可能な状態になります。

Windows ファイアウォールの例外アプリケーションへの登録方法

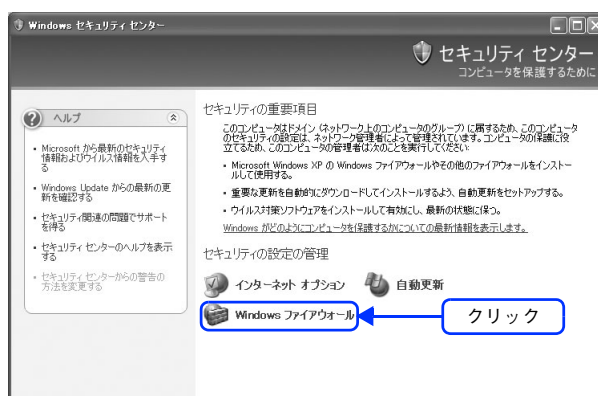
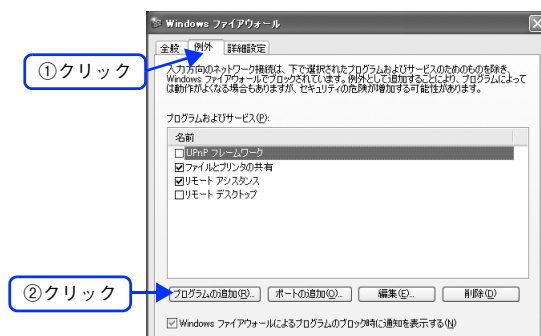
EpsonNet Config（Windows）および EpsonNet EasyInstall（Windows）で設定中に［ブロックする］を選択すると、各設定ツールの画面上にネットワークインターフェイスが表示されないため、設定を続けることができません。

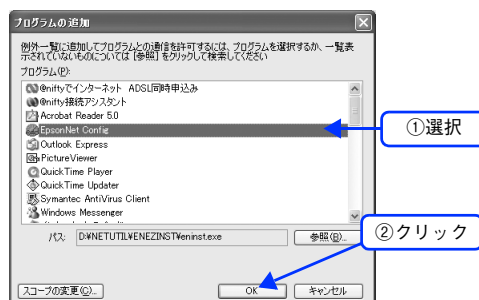
次の説明に従って、「Windows ファイアウォールの例外アプリケーション」として設定ツールを登録してください。

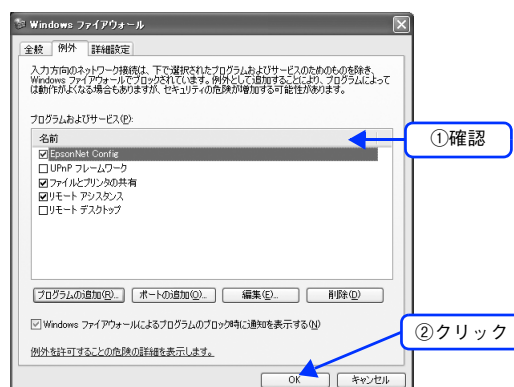
！注意
Windows ファイアウォールに例外登録すると、登録されたプログラムが使用するポートが外部からの通信を受け付けられるようになります。これは、ネットワーク経由の攻撃などセキュリティ上の危険性を高めたポートとなることを意味します。具体的なリスクとしては、コンピュータウィルスの侵入などが考えられます。Windows ファイアウォールの設定変更につきましては、このようなリスクなどもご確認の上、お客様の責任において実施していただきますようお願いいたします。
弊社は、この設定変更によって生じた損害および障害につきましては一切責任を負いません。

1 ［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックします。

2 ［セキュリティセンター］をクリックします。

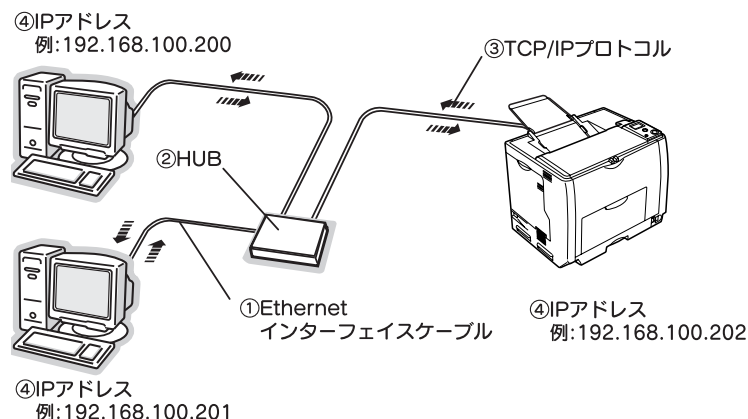
3 ［Windows ファイアウォール］をクリックします。

4 ［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］をクリックします。

5 ［EpsonNet Config］を選択して［OK］をクリックします。

EpsonNet EasyInstall （Windows）の場合は、『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』内の［EpsonNetEasyInstall.exe］を選択する必要があります。『EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM』を参照するには、CD-ROM をコンピュータにセットして［参照］をクリックしてください。

6 ［EpsonNet Config］が［プログラムおよびサービス］に登録され、チェックボックスにチェックが付いていることを確認したら、［OK］をクリックします。

EpsonNet EasyInstall （Windows）の場合は、［EpsonNet EasyInstall.exe］が［プログラムおよびサービス］に登録され、チェックボックスにチェックが付いていることを確認したら、［OK］をクリックします。

以上で登録作業は終了です。

「Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載」をインストールしている環境において、本機を Windows の共有プリンタ接続で使用している場合、EPSON ステータスモニタから利用できる機能に制限が発生することがあります。
制限事項と回避方法の詳細に関しては、エプソンのホームページをご覧ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/

ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識

プリンタのネットワーク共有に必要なネットワーク環境を説明します。

① Ethernet(イーサネット)インターフェイスケーブル

市販の Ethernet インターフェイスケーブル（ストレートケーブル）を使用してください。Ethernet とはネットワークの規格のことで、ケーブルの接続の規格には 10Base と 100Base があります。本製品のネットワークインターフェイスは、10Base-T（テンベースティー）、100Base-TX（ヒャクベースティーエックス）に対応しています。

本製品のネットワークインターフェイスには、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5）を使用してください。

② HUB(ハブ)

Ethernet インターフェイスケーブルを接続するための集線装置です。ネットワーク上のコンピュータやプリンタは HUB を介して接続します。

③ TCP/IP(ティーシーピーアイピー)

ネットワークの通信にはさまざまな規約があり（これをプロトコルといいます）、TCP/IP はその中の 1 つです。インターネット上の通信で使用される、世界的な標準プロトコルです。ネットワーク上のすべてのコンピュータに組み込む必要があります。

④ IP アドレス(アイピーアドレス)

電話機 1 台につき 1 つの電話番号が必要であるように、コンピュータをネットワーク上で使用するには、コンピュータ 1 台につき 1 つの識別子（アドレス）が必要です。この識別子のことを IP アドレスといい、電話番号と同様に数字の羅列（例：192.168.192.168）で表されます。ネットワーク上のすべてのコンピュータやプリンタに IP アドレスを割り振る必要があります。

次ページで IP アドレスを詳しく説明しています。

IP アドレスは何番に設定する？

複数のコンピュータで IP アドレスが重複すると、正常に通信できません。そのため、IP アドレスは世界的な機関で集中管理されています。外部接続（インターネットへの接続、電子メールの送受信など）を行う場合には、日本ネットワークインフォメーションセンター：JPNIC(http://www.nic.ad.jp/) に申請して、正式に IP アドレスを取得する必要があります（通常はインターネットサービスプロバイダ（通称 ISP）が代行します）。

ただし、外部のネットワークに接続しない閉じた環境では、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件のもとに、次の範囲のプライベートアドレスを使用できます。

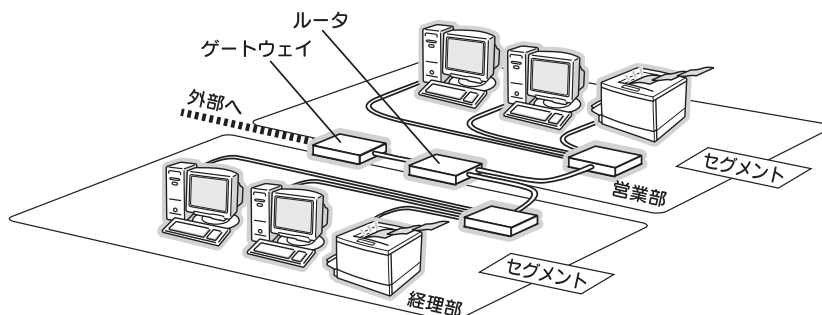
プライベートアドレス	10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
	172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
	192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

！注意 本製品のネットワークインターフェイスの工場出荷時の IP アドレスは［192.168.192.168］に設定されていますが、製品の仕様上、この IP アドレスは初期値のままでは使用できません。この IP アドレスを使用する場合は、初期値を一旦消してから同じ値を IP アドレスとして再入力してください。

IP アドレスの割り振り方

IP アドレスをネットワーク上のコンピュータに割り振る前に、「サブネットマスク」というものを理解しなければなりません。

電話番号に市外局番があるように、IP アドレスにもエリアを示す仕組みがあります。このエリアは、概念的には会社や部門などで分け、物理的にはゲートウェイまたはルータ※と呼ばれる中継器で分けます。

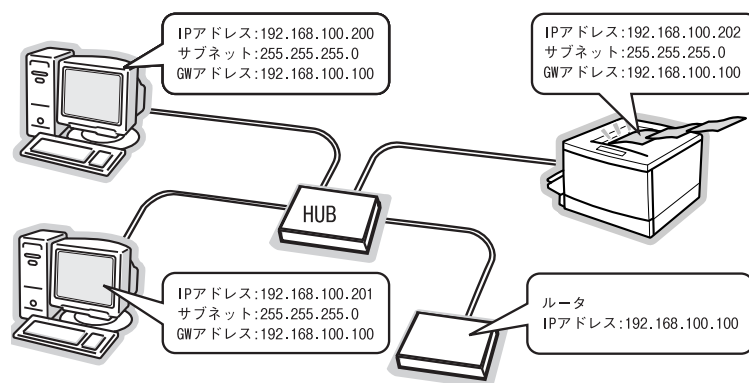
※ ゲートウェイ・ルータとは
同一プロトコルを使用した社内ネットワークで、部門間に設置する中継器をルータ、社内ネットワークと外部（インターネット）との間に設置する中継器をゲートウェイと考えてください。なお、ルータによって分けられるエリアをセグメントと呼びます。

エリアを示す仕組みに利用されるのが、サブネットマスクです。サブネットマスクは、IP アドレスと同様、数字の羅列（例：255.255.255.0）で表されます。

サブネットマスクは、IP アドレスに被せるマスクと考えてください。下表の例では、サブネットマスクの「255」にかかる部分がエリアのアドレス（これをネットワークアドレスといいます）、「0」にかかる部分がエリア内の各機器のアドレスになります。サブネットマスクの詳細な説明は、インターネットなどをご参照ください。

<例> IP アドレスが「192.168.100.200」の場合

プリンタを利用するコンピュータは、IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイアドレスなどを設定する必要があります。以下を参考に設定してください。

IP アドレス	あるコンピュータは 192.168.100.200、他のコンピュータには 192.168.100.201、本製品のネットワークインターフェイスには 192.168.100.202 のように、サブネットマスクの「0」にかかる部分の数値を 1 ～ 254 の間で設定してください。
サブネットマスク	通常は、255.255.255.0 であれば、問題ありません。プリンタを利用するすべてのコンピュータで同じ値にしてください。
ゲートウェイ(GW)	ゲートウェイになるサーバやルータのアドレスを設定します。ゲートウェイがない場合は、設定の必要はありません。

＜例＞

用語集

16 進数
0 ～ 9 の数字および a ～ f のアルファベット。

A

APIPA
Automatic Private IP Addressing。ネットワーク機器に対して IP アドレスを自動的に割り当て、利用するための機能。DHCP サーバが存在しない小規模なネットワークなどで、IP アドレスの割り当てと管理を行う。APIPA を利用することによって、ユーザーはネットワークの IP アドレスを意識することなく、ネットワーク上のほかのクライアント等と通信することができる。

AppleTalk
すべての Mac OS に標準で付属する、LAN システムの規格、もしくはネットワークソフトウェアの名称。Mac OS の標準的なネットワークプロトコルになっている。

ARP
Address Resolution Protocol。TCP/IP プロトコル群に属するアドレス解決プロトコル。ホストの IP アドレスから MAC アドレスを検索するときに用いる。相手のホストが保持している IP アドレスと MAC アドレスの対応法を変更する場合にも使う。

D

DHCP
Dynamic Host Configuration Protocol。コンピュータの IP アドレスやデフォルト・ゲートウェイなどの TCP/IP 関連情報をサーバに問い合わせて自動的に設定するプロトコル。クライアントの起動時に、サーバが空いている IP アドレスを自動的に割り当てる。

DNS
Domain Name System。ネットワーク上のコンピュータ名と、その IP アドレスとの対応付けを行う仕組み。IP アドレスは 4 桁の 8 ビット単位での数値のため、人間にとっては覚えにくい。そこで、人間が覚えやすいような名前（ドメイン名）との対応を保存しておき、必要に応じてドメイン名から IP アドレスへの変換を行う。変換を行うサーバを DNS サーバという。

E

EtherTalk
Mac OS 用の LAN を実現するためのシステムの 1 つ。Ethernet のケーブルを使って運用する AppleTalk ネットワークのこと。Ethernet インターフェイスを接続し、コントロールパネルで EtherTalk を選択すればよい。

F

FQDN
Fully Qualified Domain Name。インターネットやイントラネット等の TCP/IP ネットワーク上でホスト名に続けてドメイン名まで省略せずにすべて指定した記述形式のこと。

例えば「LP-XXXX-XXXXX.epson.co.jp」のようにホスト名（LP-XXXX-XXXXX）、ドメイン名（epson.co.jp）のすべてを指定した形式のこと。

H

HUB
ネットワークを構築する際に必要な集線装置。複数本のシールドツイストペアケーブルを RJ-45 モジュラージャックで接続し、スター型 LAN を構築する。

I

IPP
Internet Printing Protocol。IPP を使うことにより、インターネットを経由しての印刷が可能となる。

IP アドレス
IP による通信でネットワーク内の各コンピュータに割り振られる番号（アドレス）のこと。国内では日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）が IP アドレスの登録手続きを代行しており、ここから世界的にユニークな IP アドレスを取得できる。

L

LPR
Line Printer Daemon Protocol。BSD UNIX で使われてきたリモート印刷プロトコル。TCP/IP 上で動作する。

M

MAC アドレス
Media Access Control アドレス。ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレス。

MIB
Management Information Base。ネットワーク管理のための SNMP（Simple Network Management Protocol）マネージャと SNMP エージェントとでやりとりされるネットワーク管理のための一種のデータベースで、100 以上のオブジェクト（管理対象）を含むテーブルになっている。管理対象となる機器ごとに MIB を持つ。

N

NetBEUI
通信プロトコルの 1 つ。ネットワーク・アドレスの設定が不要だが、ルータを越えての使用はできない。

P

PING
TCP/IP が実装されたコンピュータ間で送受信テストを行い、接続の確認に使用するコマンド。LAN 環境もしくはコンピュータ自体の設定に障害が発生している場合、障害箇所を特定する際に、まずローカル・ホストに対して ping コマンドを実行し、正常に TCP/IP が実装されているか確認する。

PS
PostScript。アドビシステムズ社が開発したページ記述言語。高品位の印刷ができるため、DTP 用のレイアウトソフトがこの形式を採用している。文字・図形・画像などと、これらの属性とページ内での位置を指定することができる。1996 年には PDF 形式への対応などを追加した Level 3 が発表されている。

R

Rendezvous（ランデブ）
Mac OS X v10.2 から採用された LAN 内の通信プロトコル。IETF（Internet Engineering Task Force）で議論されている「Zeroconf」という技術がベースになっている。TCP/IP ネットワーク上で動作し、IP アドレスの自動割り当て、IP アドレスに対するサービス名の割り当て、LAN 内の Rendezvous 対応機器の認識という 3 つの作業を自動で行う。

S

SNMP
Simple Network Management Protocol。TCP/IP ネットワーク管理の標準プロトコルで、ネットワークの構成や、HUB、ルータなどのネットワーク機器に関しての管理情報のやり取りに使用される。ネットワーク管理システムは「マネージャ」、ネットワーク機器は「エージェント」などといわれる。

T

TCP/IP
Transmission Control Protocol/Internet Protocol。インターネット標準の通信プロトコル。RFC（Request for Comments）の形で公開されているため、広く普及している。

U

UPnP
Universal Plug and Play。Microsoft の新技術で、Windows Me で機能が提供されている。Web ベースのプロトコルを使って各種のデバイスが互いに存在を確認しあい、やり取りできるようにするもの。例えばプリンタをネットワークに接続するだけで、ネットワーク上でプリンタを認識することができる。

い

インターネット印刷
Windows 2000 以降 の OS に実装されている機能。Web ブラウザから、ファイアウォールを越えた先にあるプリンタへ印刷することができる。

え

エンティティタイプ
オブジェクトのタイプ。これにより、オブジェクトが正当なものであるか否かを識別できる。

け

ゲートウェイ
クライアントのアクセスを代行する代理サーバ。企業では一般に社内 LAN とインターネットの間にゲートウェイ・サーバを設置し、社内 LAN からはゲートウェイ・サーバ経由でインターネットへアクセスする。異なるプロトコルのシステムやネットワークを相互に接続する。中継機能専用のコンピュータはルータと呼び、ゲートウェイとは区別する。

さ

サブネットマスク
TCP/IP ネットワークでは、同じネットワーク部を持ったコンピュータ同士が通信できる。したがってネットワーク部とホスト部とを区別する必要があり、その際に使用されるのがサブネットマスク。サブネットマスクは IP アドレス同様に 32 ビットからなり、クラス C では 24 ビット（255.255.255.0）が標準で使用される。

し

シールドツイストペアケーブル
電線を 2 本ずつより合わせて対にしたケーブル。Ethernet や電話のモジュラーケーブル、USB ケーブルなどに使われている。電気干渉に強い構造となっているものを、シールド型と呼ぶ。

そ

ゾーン名
AppleTalk で設定される、サーバやプリンタなどのネットワーク資源を論理的に扱うためのグループ。

た

ダイナミック DNS
IP アドレスとホスト名の組み合わせを動的に更新する DNS 。これにより、ホストの IP アドレスが DHCP によって変わっても、ホスト名は維持される。LAN 内にダイナミック DNS 対応の DHCP サーバが必要。

ね

ネットワーククラス
IP アドレスは、ネットワーク ID とホスト ID の区切り位置によって、A、B、C の 3 つのクラスに分けられる。たとえば、クラス A は、IP アドレスの上位 8 ビットがマスクされている。どのクラスに属するかは、企業などが IP アドレスを取得する際に決定する。

ふ

プロキシサーバ
インターネットと接続する際に、セキュリティを確保するために設置されるサーバ。

ほ

ポート番号
TCP や UDP が備える機能で、複数アプリケーションを同一コンピュータまたはサーバ上で扱うための仕組み。サーバやパソコンは、インターネットから受信したパケットを、ポート番号によって引き渡すアプリケーションを特定する。

ゆ

ユニバーサルプラグアンドプレイ
UPnP（Universal Plug and Play）。Microsoft の新技術で、ネットワーク上のデバイスを自動的に認識する機能。この機能は Windows Me 以降で提供されている。

索引

し

す

せ

た

て

と

ね

は

ふ

ほ

め

ゆ

り

商標

EPSON ESC/Page および ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

IBM PC 、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。

Apple の名称、Macintosh、Mac、Mac OS、Mac OS X、AppleTalk、EtherTalk、Open Transport、Rendezvous、TrueType は Apple Computer, Inc. の登録商標または商標です。

Microsoft、Windows および WindowsNT は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Acrobat Reader、PostScript は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Java およびすべての Java 関連の名称は、米国 Sun Microsytems,Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

This product includes software developed by the University of California, Berkeley, and its contributors.

"EpsonNet Config" and "EpsonNet EasyInstall" incorporate compression code from the Info-ZIP group. There are no extra charges or costs due to the use of this code,and the original compression sources are freely available from http://www.info-zip.org on the Internet.

そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。

② 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

③ 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

④ 運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

⑤ 本機がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。